

令和2年度 市政に関する意見とその回答

No.	意見等の内容	回答
1	町内の高齢化の問題として、個人情報保護法により支援が必要な高齢者の情報が取りにくい ため、ノウハウの提供を行政にお願いしたい。	<p>・身近な支援が必要と思われる高齢者に、インフォーマルな地域の支援をされている場合、聞きにくいこともあるかと思っておりますので、そのような時には、市や地域包括支援センターにご相談いただき、ご本人の同意を得て、お知らせすることもできると考えております。なお、生命の危機に及ぶ場合など内容によっては、緊急を要する場合がありますので、具体的な内容をご連絡いただき、検討させていただきたいと考えております。</p> <p>【いきいき高齢課】</p>
2	空き家(樹木)、空き地の問題が起きている。防犯・防災の面から苦情の対応をお願いしたい。	<p>・空き地の適正な管理につきましては、適正に管理されていない空き地に関する苦情相談が当課にあった場合には、「佐野市きれいなまちづくり推進条例」に基づき、速やかに現地確認を行うとともに、土地所有者を調査し、所有者に対し適正な管理を行うよう文書を郵送し、指導を行っております。【環境政策課】</p> <p>・空き家の問題につきましては、随時空き家対策室へご連絡いただければ、職員による現場確認と所有者への通知をさせていただいております。【空き家対策室】</p>
3	防災無線の内容が聞き取れないため、防災無線の設置数を増やしてもらいたい。	<p>・防災行政無線の設置数を増やすことは難しいと考えます。お手数でも防災行政無線の放送内容が確認できるフリーダイヤル0120-002-220にてご確認願います。また、災害時には、佐野市ホームページや佐野市防災・気象情報メール、佐野ケーブルテレビ、とちぎテレビなど様々な方法で避難情報等の発信をしておりますので、平時よりご確認くださいますようお願いいたします。【危機管理課】</p>

4	<p>町内の伝統行事が年々衰退していく状況にある。市街地の商店の減少、人口の減少による影響があると思われる。行政の力を借り、空き店舗の有効活用、新規開業助成金、物売る場所等々の提供、人の集まる環境作りを推進していただきたい。</p>	<p>・佐野駅周辺の中心市街地のにぎわいの創出を図るため、本市においてはかねてより、「空き店舗活用になぎわい創出事業補助金」を設置しております。対象区域内において空き店舗を活用し、出店を希望する事業者に対し、家賃の1/2以内(上限30,000円×24ヶ月、72万円)及び店舗改装費(上限50万円)の補助金を交付して支援するものです。引き続き、本市ホームページへ掲載するとともに、佐野商工会議所や佐野市あそ商工会とも連携の上、周知を図り、空き店舗を活用した中心市街地活性化を図ってまいりたいと考えております。また、平成30年度に市道1級1号線の拡幅にあわせ整備した「佐野市まちなかにぎわい空間」につきましても、民間事業者による物販やイベント開催等の活用を促進するため、積極的にPRしてまいります。 【産業立市推進課】</p>
5	<p>新型コロナウイルス感染症の発生状況などの緊急情報を町会単位で良いから早急に知らせしてほしい。市民がデマの渦に巻き込まれて、隣人が不信になってしまう。</p>	<p>・感染者の情報は個人情報保護、感染症予防啓発のため、必要最小限の情報のみ提供となっており、感染者の詳しい情報は市には提供されません。そのため、本市では町会単位での感染者を把握できない状況です。そこで本市としましては、県知事に対し、感染者における必要な情報を提供するよう要望しました。今後も状況に応じて、県へ要望してまいりたいと考えております。【感染症対策室】</p>
6	<p>防災行政無線について、音声聞き取れないので、スピーカー調整を要望します。</p>	<p>・住宅環境や社会環境等の変化により、聞こえない、聞き取りにくいなどのご指摘もございます。お昼のチャイムや夕方の音楽等がおかしい場合は、場所等をお知らせいただければ調査いたしますが、ご希望に添えない場合もございます。お手数でも防災行政無線の放送内容が確認できるフリーダイヤル0120-002-220にてご確認願います。また、災害時においては、佐野市ホームページや佐野市防災・気象情報メール、佐野ケーブルテレビ、とちぎテレビなど様々な方法で避難情報等の発信をしておりますので、平時よりご確認くださいようお願いします。【危機管理課】</p>

7	<p>佐野市立地適正化計画20年後の構想もあるようだが、東北・北関東自動車道、国道50号・293号が通る広域道路交通網の要衝でありながら、通過道路に過ぎないようだ。市街地に下りる車が少ない。その要因は接続する市内道路網の整備が不十分であり、観光立市を目指すには早急な方策を立てる必要がある。特に桐生岩舟線の整備は遅れている。県及び市の説明は何回か聞き、数えきれません。しかし、沿線住民は説明会に参加しません。どうせ役所の構想だからの一言です。先日、佐野市のコンパクトシティ構想の話をついて、町内皆様に紹介したところ、佐野市の都市機能誘導構想(空想の誤りではないのか)計画、いまだに完成の見ない計画の早期着工を要望します。</p>	<p>・県が整備を進める県道桐生岩舟線については、本市としても早期の整備に向けてできる限りの協力を行うとともに、市道1号線の整備を推進し、中心市街地の活性化につなげていきます。また、少子高齢化、人口減少社会を見据え、コンパクトシティ構想に基づくまちづくりを推進するとともに、令和3年3月に策定予定の立地適正化計画において、都市計画区域における都市機能誘導等の方向性を示し、今後着実に実行していきます。【政策調整課】</p>
8	<p>高齢社会における福祉について地域福祉の推進・・・老人会、ふれあいサロン等の福祉コミュニティの形成。社会的孤立を防ぐ。福祉サービスを提供していただきたい。</p>	<p>・令和2年度は、単位老人クラブ100クラブ、ふれあいサロン73箇所各町会の協力のもと活動をおこなっております。町会ごとに老人会、ふれあいサロンを設置できるよう、町会や佐野シニアクラブ連合会と協力しながら支援してまいります。【いきいき高齢課】</p>
9	<p>当町会のような高齢者の多い(若者がいない)町会のこれからの運営について、大変心配しております。行政の立場から将来の自治会運営の指針を教えてください。</p>	<p>・少子高齢化や人口減少が進んでおり、町会運営について、担い手不足、役員の固定化又は高齢化は、高砂町だけの課題ではなく、全市的な課題であり、町会、佐野市町会長連合会、佐野市と一緒に検討していく課題であると考えております。【市民活動促進課】</p>
10	<p>今年国勢調査員をやり、担当地域の世帯や居住実態を把握し、その中で、町内会は身近な存在であり、防災・見守り・緊急時の助け合い、市政協力など重要な自治会活動であると再確認しました。</p>	<p>・町会には、防災、防犯、環境の美化、地域の支え合い等、様々な活動をしていただいております。また、佐野市の協働のパートナーとしても重要な役割を担っていただいております。今後とも、町会運営及び市政運営について、ご精励、ご協力をいただきますようお願いいたします。【市民活動促進課】</p>
11	<p>歩道の整備。 ①通学路の車道に歩道の区別を明確にする。 →歩道の拡充 ②歩道にある電柱の移設、地中化等による拡幅</p>	<p>・現在、当該地内におきましては、市道1級1号線と市道佐野57号線について、優先的に整備を実施しております。【道路河川課】</p>

12	<p>女性の活躍と安心して子育てができる環境づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期・・・保育所の待機児童をなくし、希望者は入所できる。 ・学童期・・・祖父母等が居住区域にいても希望者はこどもクラブを利用できるようにしていただきたい。 	<p>・現在、第2次佐野市保育所整備運営計画に基づいた保育所等の整備を行い、市内の保育量の確保に努めております。この結果、令和2年4月1日現在待機児童はゼロとなりました。また、希望者の入所につきましても、就労環境や家庭環境の変化など多様化したニーズに対応し、可能な限り希望に添えるよう努めてまいります。【保育課】</p> <p>・こどもクラブの入所の基準につきましては、具体的な要件といたしましては、「児童が家に帰っても、父母や同居の祖父母等の家族が、就労や疾病のため家におらず、または対象児童の面倒をみられない場合で、その状態が1か月に16日以上、おおむね3か月以上継続していること」としてしております。なお、同居ではないが、同じ学校区にお住いの祖父母が居らっしゃる場合につきましては、現在はこどもクラブ入所の要件とはしておりませんが、入所希望者が多数となった場合の参考にさせていただくため、就労証明書もしくは申出書の提出をお願いしております。その際、就労以外にも様々な事情が考えられますので、就労証明書の提出が困難な場合には、児童の面倒を見ることができない理由等を記載していただく申出書を提出いただくことで対応しております。【こども課】</p>
13	<p>街中の常時賑やかな方策はないのかな。昼の街、夜の街共に人の歩いている姿が見られない。街中で休憩場所の設置又は案内があれば良い。→街に来て歩いても歩いても</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響長期化を見据え、「新しい生活様式」に対応し、いわゆる「3密」を回避するための環境づくりが求められる中、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている飲食店等における「新しい生活様式」の定着を支援すると共に、中心市街地の魅力を高めるため、さのまちづくり株式会社と連携し、駅前通り(一般県道佐野停車場線)のオープンテラス化について、調査・研究してまいります。【産業立市推進課】</p>
14	<p>中心市街地を賑やかにする施策を</p> <ol style="list-style-type: none"> ①町中に商店の集積場所を考えていく。 ②外部からの観光客等への道路案内板の各所への設置等 ③駅近くに物産会館等による事業出張者等の土産品の販売 	<ol style="list-style-type: none"> ①まちなかにある空き店舗や空き家などの遊休不動産について民間主導のリノベーションを促し、魅力的な個店の誘致など地域の価値向上につながる有効活用を図ってまいります。【産業立市推進課】 ②現在市内に95ヶ所ある観光看板・案内看板の設置や修繕及び国際化対応を行っています。【観光立市推進課】 ③クリケットハウスの事業終了を見据え、まちなかにぎわいが喪失されることのないよう、駅前市有地へ店舗を誘致するなど、利活用について検討してまいります。【産業立市推進課】

15	高齢者又は免許証(自動車)返還者に対する交通網の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・市内には佐野市生活路線バスが5路線、デマンド交通が4路線運行しているほか、関東自動車(株)が佐野新都市線の運行を行っています。すべての移動需要に路線バスやデマンド交通で対応することは困難ではありますが、生活の利用実態に見合った交通手段の確保が必要であると考えております。したがって、バス以外のタクシーや鉄道など、他の交通機関との連携を引き続き図っていきたくと考えております。【都市計画課】
16	幸い今年台風による影響はなかったが、コロナ禍でマスク着用や3密防止など生活様式が変わったので、避難所のあり方の見直しが必要だと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所につきましては、平時より自分の住んでいる土地特有の災害や危険性等をハザードマップにより把握していただくことが重要です。安全な場所に住んでいる方は、避難する必要がないことや親せき・知人宅に避難できるよう話すなど、改めて検討していただくよう今後も啓発してまいります。また、避難所に避難される方は、避難経路等を事前に調べておき、避難時の持出品には、衛生用品(マスク、体温計、消毒、手袋)等も含めていただき、感染症の予防にも努めていただければと考えております。【危機管理課】
17	本市の人口の現状という資料で「近年はやや減少の傾向。栃木県の値を下回る」とある。2015年からの第1期戦略期間でも数値は横ばいである。この数値を増加するには第2期、基本目標3でさらに充実した助成制度を設けた。例えば、母親が初めての出産や育児で悩むことのないように、出産後デイサービスやショートステイのようなシステムで母親への育児指導や母子をサポートする場所ができれば不安感を解消できると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・母親への育児指導や母子をサポートする場所については、本市におきましても、令和2年度より産後ケア事業を開始いたしました。ご家族の支援が受けられず、育児や健康上の不安がある方を対象に、宿泊または日帰りで、保健指導、授乳指導、育児相談、赤ちゃんの体重や栄養状態のチェックなどを行います。実施については、医療機関に委託しています。妊娠届出時の面接やその後のかかわり、また乳児家庭全戸訪問などで、支援者の有無や育児不安の状況を確認し、必要に応じて事業の周知をしております。【健康増進課】
18	産業革命以降、世界では気候変動による災害が多発してきている。今後、被害は大きくなる一方で、昨年の台風19号による豪雨災害もその一つである。抜本的な対策が必要である。用地・コストの問題もあるが、遊水地・貯水池などの設置は考えられないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、国、県、市、地域住民等が一体となって流域治水について考える必要があると考えております。【危機管理課】
19	佐野市有地(本町・元足利銀行佐野支店跡地＝現在遊休地)の利用計画はあるのでしょうか。計画が決まっていたら教えてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・佐野駅から佐野厄よけ大師の間の回遊性向上を図り、中心市街地活性化につながる利活用ができるよう、民設民営によるにぎわい創出拠点の整備に向け、さのまちづくり株式会社とともに検討しています。民間活力を活用し、市民は勿論、来街者等に対しても移住・定住を喚起するような魅力的なテナントを誘致するなど、土地の有効利用を図ってまいります。【産業立市推進課】

20	佐野市コンパクトシティ構想に賛成だ。佐野は道路の便は良く、鉄道も通っている。「子育て支援」を基本に人口の安定化を図ってほしい。	・コンパクトシティ構想に基づき、拠点における生活利便性を向上させ、子育てしやすいまちづくりに取り組んでいきます。【政策調整課】
21	「佐野らーめん予備校」は良かったと思う。引き続きこういうものを策定したらいかがですか。	・本事業は、本市最大の観光資源である佐野らーめんを魅力ある「しごと」と捉え、「佐野らーめん」店の創業、事業承継をサポートするプログラムを準備することで「仕事・職」へのニーズに対応し、本市への移住を促進しようとするものでございます。また、同時に、佐野市の財産である「佐野らーめん」の知名度をさらに高め、佐野らーめん経済の拡大、ひいては佐野市の活性化にもつながることを目的としています。まずは、本事業を着実に実施することにより、移住者の増加を図り、そのうえで、ほかの地域資源活用による移住促進策も検討してまいりたいと考えております。【総合戦略推進室】
22	雨水幹線等の浸水対策について、エトワール天神付近の雨水幹線は、大雨時に水門が閉じたとき、大町付近の水路に流れてくるため、内水氾濫が起ることが予測される。対策を検討されたい。	・内水氾濫対策として、エトワール天神水門付近に排水ポンプ設置を計画しています。令和3年度は、排水ポンプ設置に向けた現地調査をおこなっていきます。【下水道課】
23	当町内においても、人口減少と急激な高齢化が進んでいる状況である。「人口減少克服と地方創生に挑戦する4つの基本目標」に基づき進めていただきたい。	・人口減少問題は、一朝一夕で解決できるものではありませんが、佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた4つの基本目標に基づき、着実かつ息の長い取組を実施することにより、人口減少に歯止めをかけられるよう努めてまいりたい。【総合戦略推進室】
24	特にコロナ対策については、佐野市からはコロナ感染者は出さない等積極的な取組をお願いします。	・本市が積極的な取組を行ったものとして、市民への周知目的でのチラシ全戸配布、感染者のいる公立学校名や公立保育園名の公表、集団生活において感染拡大の懸念がある場合の行政検査以外の抗原検査の実施、今回の緊急事態宣言下での貸館施設及び集客施設の全館休館（県や他市は図書館や美術館等は開館）など、一歩踏み込んだ感染防止対策を講じております。今後も、状況を見ながら感染拡大防止のために取り組んでまいります。【感染症対策室】

25	<p>防災対策。市内各自治会防災活動への支援等を要望します。</p>	<p>・各町会等への支援としては、防災講話等の開催や避難訓練等への支援、資器材の整備などを実施しております。防災講話や避難訓練等を実施する場合、当課にお声がけいただければ対応させていただきます。資器材の整備については、自主防災組織立ち上げ時においては、モデル町会指定により資器材を貸与しております。また、自主防災組織立ち上げ後については、自治総合センター助成金を活用し、活動実績等を踏まえ、資器材整備の支援をしておりますので、当課にご連絡ください。【危機管理課】</p>
26	<p>子育てしやすい環境づくりを要望します。</p>	<p>・本市には、4つの児童館(南・東・西・田沼)とこどもの国があり、多くの方にご利用いただいております。この5施設では、各種講座や相談事業などを行っており、今後も引き続き実施していきます。その他、同じこども課所管施設として、佐野駅前交流プラザぱるぼーとの中に、子育て支援まちなかプラザ(ゆめぼけつと)がありますが、こちらでは、乳幼児の一時預かりや親子で遊べるふれあい室を設置しているほか、保育士資格を有する職員が、子育ての悩み相談やアドバイスなどを実施しており、こちらも引き続き実施していきます。また、仕事と子育ての両立を支援するため、こどもクラブの充実に努めてまいります。【こども課】</p> <p>・民間保育所特別保育運営支援事業及び私立幼稚園支援事業を活用した、保育施設等の施設整備や職員研修費用の一部補助を実施するなど、市内保育施設に対する支援を行っております。また、市内の保育需要を把握し適正な保育量の確保を行い、保育環境の整備に努めてまいります。【保育課】</p>
27	<p>人口減少への取組。転出の多さ。魅力あるまちづくり。少子化対策を要望します。</p>	<p>・人口減少問題は、一朝一夕で解決できるものではないが、佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた4つの基本目標に基づき、着実かつ息の長い取組を実施することにより、人口減少に歯止めをかけられるよう努めてまいりたい。本市においては、出生数にも影響を与える若年女性の転出超過傾向が顕著ですが、将来にわたり持続可能なまちを形成するためには、女性にとって魅力ある仕事を増やすこと、そして仕事を続けながらも安心して出産や育児ができる環境をつくり、女性に選ばれるまちづくりを進めることが重要であると考えております。【総合戦略推進室】</p>

28	佐野市内回遊を促す策として、実験的に「マイクロモビリティ」の導入を考えていただきたい。すでに取り組んでいる市もあります。参考例として「マイクロカー」「電動キックボード」等へ	・次世代モビリティについて、検討の必要性は感じていますが、本市の地形や流動性、道路環境等の様々な観点から、導入できるエリアも限定されることが予想されます。今後調査研究を進めてまいりたいと考えております。このほか、市内を運行する鉄道会社やバス会社とも、市民や観光客の移動環境向上に向けて連携を図っていききたいと考えております。【都市計画課】
29	IT化に向けた環境整備。各公共施設のWifiの導入を要望します。	・市立の小・中学校及び義務教育学校については、現在児童生徒が授業で活用するために、校舎内にWi-Fiを設置してあります。今後そういった学校が避難所となった場合、避難者が自身のスマホ等でインターネットに接続して情報を得られるように、設定変更しWi-Fiを一般開放できるようにする予定です。まずは避難所となる施設を中心に取り組んでいききたいと考えております。【情報政策課】
30	地域医療の充実を要望します。	・市民の皆さんが健康で安心して毎日を暮らせるように、救急医療体制を確保するため、休日・夜間緊急診療所や二次救急医療輪番制病院への支援を行ってまいります。また、日頃から健康相談のできる「かかりつけ医」をもつよう普及啓発を行い、各医療機関と連携し、医療を受ける機会の充実を図ってまいります。【医療保険課】
31	困りごと等の総合的な窓口の設置	・本市では、市民(外国人含む)、消費生活等の相談窓口を常設しているほか、弁護士無料相談、交通事故相談、宅地建物相談、行政相談等といった専門家による各種相談窓口についても定期的に設置しています。また、毎月の「広報さの」巻末に「各種相談ガイド」を掲載しておりますので、こちらをご参照ください。【市民生活課】
32	道路上の歩道の段差の解消	・具体的な要望箇所があれば、予算の範囲内で対応します。【道路河川課】
33	高齢者福祉タクシー券の利用範囲の拡大	・令和3年度より、用途を通院以外に商業施設(買い物)、公共施設又は金融機関への利用も対象とするよう見直しを検討してまいりたいと考えております。また、利用回数の制限解除、タクシー券でなく後期高齢者医療被保険者証の提示など利用方法についても、見直しを検討してまいりたいと考えております。【いきいき高齢課】
34	就学前から義務教育までの教育の質の充実とICT化の整備	・現在、ギガスクール構想において、各学校のインターネット回線や児童生徒が利用する一人一台のパソコンの整備を進めております。今年度中に整備が完了する予定です。【教育センター】

35	子育て応援のための学童保育の条件の緩和	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもクラブにつきましては、利用ニーズの高まりに応じて施設の整備を進めてまいりましたが、限られた受け入れ枠の中で、必要な方にサービスを提供するためには、現在の条件を緩和することは難しいものと考えております。【こども課】
36	学童保育への企業参加で働く場所の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・民間の学童保育所は市への届出で開設できるものとなっておりますので、今後開設を希望する事業者が現れた際には、関係法令等を遵守したうえで、適切に運営されるよう指導してまいりたいと考えております。【こども課】
37	市内バス路線の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、市内には佐野市生活路線バスが5つの路線（植下高萩線、田沼葛生線、運動公園循環線、犬伏線、足利線）と4つのエリア（葛生エリア、田沼エリア、赤見エリア、吾妻エリア）でデマンド交通の運行を行っています。また、関東自動車株式会社が佐野新都市線の運行を行っているところです。全ての移動需要に路線バスで対応することは困難ではありますが、今後はタクシー、鉄道など他の移動手段と連携しながら、市内の公共交通ネットワークを形成していきたいと考えております。【市民生活課】
38	秋山川左岸での当町会地内の水門のところに排水機の設置を強く要望します。	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、県で河川改修を進めており、現在よりも秋山川の流量が増えます。それに伴い、水門から秋山川に放流しても余裕ができます。また、エトワール天神の水門を閉じたとき流れてくる雨水も、排水ポンプが付くことにより、上流から流れてくる雨水量も少なくなると推測されます。エトワール天神付近水門のポンプ設置後の状況等を確認したいと考えています。【下水道課】
39	秋山川の復旧(安心安全な対策)を最優先にお願いしたい。令和2年は台風が来ませんでしたので、被害は出ませんでした。異常気象の折ですので、もし来ていたらと思うと不安が募ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木県にて、計画的に実施しています。本市としては、可能な範囲で事業に協力させていただきます。【道路河川課】

40	<p>一つ希望があります。現在、毎日正午と午後5時に「愛の鐘」が市内全域に流されています。お昼は鐘のみですが、夕方5時にはドボルザークの「新世界」第2楽章からの「家路」のメロディーが聞こえて心が和みます。一日に朝昼晩があり、人には朝食・昼食・夕食が繰り返されています。ぜひ朝も7時に鐘(あるいはメロディー)を流してください。1日の始まりの合図にもなりますし、人それぞれ1日の活動開始の合図、しいては佐野市民の一人として力も湧いてきます。ぜひ実現の方向に進めていただければと思います。大きな予算もかからず、喜んで怒る市民はいないと考えます。</p>	<p>・ご提案、ありがとうございます。運用当初も1日3回ということを検討した経緯はございますが、各種団体等のご意見・ご要望により、防災行政無線の作動状況の確認や子どもたちの帰宅呼びかけなどに活用する現在の運用形態となりましたので、ご理解をお願いいたします。今回頂戴いたしましたご意見を参考にさせていただきながら、防災行政無線を有効に活用できるよう研究してまいりたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。【危機管理課】</p>
41	<p>新型コロナ感染対策について ①当町会での外国人の方の居住が増えてきております。増加している地域の把握は追跡しているのか。 ②外国人の方々に対する指導等(ルール等)は適切に実施しているのか。</p>	<p>①当室では、どの地域で外国人の方が増加しているかは把握しておりません。しかし、本市にどこの国の方が居住されているかは把握しております。【感染症対策室】 ②広報紙やホームページ、市民への周知のチラシ等、従来の日本語だけではなく、外国人のための多言語を表記し、注意喚起を行っています。また、9月に市独自の緊急事態宣言を発出した際は、多言語のチラシを外国人世帯に直接郵送を行い、感染症対策を行ったところ です。【感染症対策室】</p>
42	<p>河川災害について ①豪雨時の山間地小河川(普通河川)の監視等の河川保全委員の設置と通報のシステムについて ②渡良瀬川の水位の上昇により市内一級河川の水位状況についての通報について</p>	<p>・風水害等の災害時においては、消防署及び消防団(水防団)により、河川水位の状況などを偵察し、逐次情報の入手をしております。また、国管理の渡良瀬川や県管理の一級河川等については、各管理者と情報を共有し、水位の状況を監視しております。【危機管理課】</p>
43	<p>魅力度ランキングで栃木県が最下位となった。どのような形で佐野市の魅力度のアピールを考えているのか。</p>	<p>・ご指摘の通り、昨年の調査では、栃木県が最下位となり、大変残念に感じております。一方、本市につきましては、魅力度ランキングはここ5年間では最高の順位となりました。これは、さのまるを活用し、東京圏を中心に継続的にPR活動を行い、企業・団体と連携した企画などを実施し、民間の方々にも主体的に本市のPRを行っていただき、広く情報発信ができた結果だと捉えております。今後も栃木県や近隣市町と連携し、それぞれの持つ情報発信媒体などを有効活用し、より効果的に本市および栃木県の魅力をPRしていきたいと考えております。【都市ブランド推進課】</p>

44	<p>住みよい街づくり達成のため、市長さん、職員の方々のご努力にはいつも感服しております。何もなければ住みよい街づくりの基本目標に沿った施策が成功していたと思いますが、今回の災害、コロナ等の一大事が起きてしまい、これを含めた戦略が問われることとなります。この資料を含めた決意を市長さんよりお聞かせください。</p>	<p>•これまで経験をしたことがない大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症への対応を行う中で、様々な課題が浮き彫りとなりました。市民の皆様の安全安心や本市の将来を展望し、防災・減災への取組の強化をはじめ、新型コロナウイルス感染症拡大下における「新しい生活様式」の確立、また、情報技術の活用といったスマートシティの取組とともに、「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを全力で推進していきます。【政策調整課】</p>
45	<p>当町会では、東日本台風による直接の被害はありませんでした。むしろ市街地では、集中豪雨の方が脅威であり、数年前、夕立が30分降り続くと道路は冠水し、通過する車の水しぶきとなって民地側へ押し寄せ、床下浸水が起きました。予防対策として側溝内に溜まった土砂等の撤去、蓋、グレーチングの清掃をすることにより流水断面を確保する。何でも新設するのではなく、使用可能なものは維持修繕することによりコストの縮減を図る。</p>	<p>•具体的な側溝清掃箇所があれば、予算の範囲内で対応します。ただし、交通量が少ない道路の側溝清掃は、地元町会での対応をお願いしています(土砂上げを地元町会、土砂回収を市で対応)。【道路河川課】</p>
46	<p>防災無線が聞き取りにくい。もっと時間差を設けて放送したらどうか。</p>	<p>•お昼のチャイムや夕方の音楽は、1回の放送で流しておりますが、文章による緊急放送や注意喚起の放送は、なるべく近くのスピーカー同士が干渉しないよう、3回に分けて放送をしております。また、放送内容の確認については、お手数でも防災行政無線の放送内容が確認できるフリーダイヤル0120-002-220にて確認できますのでご利用ください。【危機管理課】</p>
47	<p>当町会は、居住世帯が120戸ほどで、他に空き家が10戸ほどあるという現状です。高齢者のみの世帯が120戸のうち50戸ほどあり、空き家が激増するのは時間の問題です。諸般の事情により空き家そのまま放置された場合、安全上、環境上、治安上で重大な懸案事項になると思われます。このことは佐野市全体に当てはまる問題だと思いますので、財源等困難な課題が多い事業ですが、長期的な視点で対策に取り組んでいただきたいと思います。</p>	<p>•空き家バンクや空き家に対する補助事業を周知し、活用していただくことにより空き家の抑制に努めていきたいと思っております。【空き家対策室】</p>
48	<p>災害復興ネットワークについて、ネットワークは災害後にあっても意味をなさない。災害発生前にネットワークを活用し、情報伝達・収集する必要がある。それがそのまま生かされていけば良いのではないかと。</p>	<p>•現在、行政を含めた民間団体同士が情報共有できる体制の構築を進めています。ご意見の通り情報伝達・収集は重要であると考えております。【危機管理課】</p>

49	<p>避難所について、昨年5月の公民館運営委員会で公民館が避難所になっており、ハザードマップを合わせると水が出るエリアにあるところが多い、対応・検討のお願いをしたが、対応なし。西中の話も同時にしている。新型コロナウイルスにより避難所の受入数も半分以下に、また感染症対応避難所が作られ、受入対応人数がより少なくなっております。幾度も危機管理課に対策を聞きますが、満足のない回答なし。学校の教室を開放するという話を聞きますが、教室の中でどのように具体的に対応するのか、高齢者が多い中、問題が多数想定されます。</p>	<p>・避難所については、災害対策基本法において定めのあるとおり、安全な構造であることや想定される洪水等の水位以上の高さに居住者等受入用部分があることなどが規定されており、地域に偏りが出ないように、各地区にまんべんなく避難所の指定を行っているところです。また、本市の地形から、佐野地域の複数地区においては、旗川、秋山川、三杉川、渡良瀬川の浸水想定区域内に位置する状況であり、このような状況から洪水等の水位以上の高さを確保でき、多数の避難者を受け入れ可能な建物は限られていることから、現在の避難所を指定しております。避難所における新型コロナウイルス感染症対策として、非接触型体温計や消毒液、除菌シートやペーパータオルなどの消耗品のほか、避難者同士が接触をさけるためのワンタッチパーテーションや段ボールベッドなどを全避難所に配備しました。有事の際は、これらを使用し避難所運営を行っていくほか、避難所内は間隔を広くとる必要があり、避難者の受入れ人数が少なくなることから、市内のホテル旅館組合と協定締結に向けて調整を進めているところです。【危機管理課】</p>
50	<p>緊急事態宣言が出ているのに、自分の部署がどのように対応したら良いかを考えない。 【例1】交通安全週間に3密＋高齢者が啓蒙活動を行う→中止していただいた。 【例2】市の管理している公民館、武道館等が通常に対応で行われていた。 市の職員が他人事でしか考えられない。自分の仕事に置き換えができない。1つのことが起こったら、自分の部署でどうなのか想定ができない。全部ではないですが、特に災害以降気になります。この緊急事態宣言が良い例です。市長が緊急事態宣言を発令したわけですから、部長以下が自分の部署はどう対処すべきか考え、課長以下に指示をする。下に行けば行くほど具体的になる。</p>	<p>・9月15日に発令された緊急事態宣言におきましては、市新型コロナウイルス感染症対策本部において、「緊急事態宣言の発出に伴う市有施設の使用制限は行わない」との方針であったことから、市有施設は通常対応となったものでございます。そのような中で、国・県の基準に基づき、各部署において感染拡大防止を考え、イベント等の中止や延期などを判断してまいりましたので、ご理解をお願いいたします。【行政経営課】</p>

51	<p>今年度4月より町会長の特別職がなくなりました。今まで以上に町会長の町会に対する存在価値を発揮できるようになり、「市・市議会・町会の役割分担」を明確にする必要性が出てきます。もともと明確でないはずなのですが、町会の問題は町会で検討し、町会長が責任をもって市と協力し解決していく。この方式が明確になれば、町会長が町会をまとめるという責任が出ます。任期1年・2年という短期の町会長が減少するのではと思います。市議は、町民からの依頼があった場合は町会長に相談する。直接市には行かない。市の職員も町会のことには町会長からでしか受け付けません。このようにすることで、市・市議・町会の役割が明確化します。3つは等しい関係にあり、相互扶助だと思います。</p>	<p>・佐野市自治基本条例にあるとおり、町会、議会それぞれの役割を認識していただいで自治を推進していただくことは、重要なことでございます。また、町会に係る佐野市への要望を、町会長の役割として一元化することは、情報の集約化が図れ、大変、意味があることだと思います。しかしながら、佐野市は、どのような立場の方からの要望があっても、これまでどおり、対応させていただきたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。【市民活動促進課】</p> <p>・市民の皆様から市議会議員への依頼等については、地域や町会における課題等のほか、税や教育をはじめ、医療・福祉、道路、農業関係など、個別の要望や相談もあり、人権や個人情報などに配慮しながら、直接、市の担当とやりとりを行い、迅速に対応することも必要になります。市議会議員に町会に関する依頼や相談があったときは、各町会の考え方を尊重しつつ、その内容に応じ、当該町会長に相談したり、市の担当課と協議したりするなどして対応してまいりたいと考えています。【議事課】</p>
52	<p>コンパクトシティ構想について、国の考え方に沿い進めているのは理解できますし、進めていかなければならないことも理解していますが、足元を見てください。大変なことが起きているのです。少子高齢化・過疎化ということで、167町会の約半数が町会の役員がいない。運営が難しくなっているという現状です。このまま検討を進めていくと町会がなくなります。検討するのであれば、多方面から進めていくべきです。町会がなくなれば、行政が稼働できなくなる部分が発生すると思います。</p>	<p>・コンパクトシティ構想は、今後さらに進行していく少子高齢化や人口減少への対応を見据えたものです。なお、町会の運営については、市としても各町会からの相談に応じながら、柔軟に対応していきます。また、各町会の負担をできる限り軽減できるよう、市としても検討を行っていきます。【政策調整課】</p> <p>・少子高齢化や人口減少に伴い、町会運営について、担い手不足、役員の固定化又は高齢化が進んでおります。これは、全市的な課題であり、町会、佐野市町会長連合会、佐野市が共に検討していく課題であると考えております。【市民活動促進課】</p>

53	<p>中心市街地の活性化について、市の表玄関となる佐野駅を中心とする市街地の活性化については、これまで道路の拡幅整備、電線地中化等のハード面、街づくり会社の設立等の諸施策を展開しているようだが、コロナ問題の影響もあり、相変わらず空き店舗が目につく。また、人の流れも少ない現状を今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。</p>	<p>・佐野駅周辺の中心市街地のにぎわいの創出を図るため、対象区域内において空き店舗を活用し、出店を希望する事業者を対象とした「空き店舗活用にぎわい創出事業補助金」の周知に努めるとともに、まちなかにある空き店舗や空き家などの遊休不動産を民間主導のリノベーションを促し、地域の価値向上につながる有効活用を図ってまいります。また、新型コロナウイルス感染症の影響長期化を見据え、「新しい生活様式」に対応し、いわゆる「3密」を回避するための環境づくりが求められる中、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている飲食店等における「新しい生活様式」の定着を支援すると共に、中心市街地のにぎわい創出に資するため、さのまちづくり株式会社と連携し、駅前通り（一般県道佐野停車場線）のオープンテラス化について、調査・研究してまいります。【産業立市推進課】 ・道路整備については、計画的に実施してまいります。【道路河川課】</p>
54	<p>(国道50号線沿線開発構想についての要望書に記載)産業団地に高付加価値企業の誘致</p>	<p>・本市への将来の貢献度がより高い企業を選考しながら誘致を進めていく予定です。立地企業単体のみではなく、取引先として周辺の企業に影響を与える企業や、周辺の企業との協働による新製品開発や販路拡大が図られるような企業の誘致を検討していきます。【政策調整課】</p>
55	<p>(国道50号線沿線開発構想についての要望書に記載)産業団地に隣接して飲食店街(佐野ラーメン、新鮮野菜・特産品など)</p>	<p>・構想を推進する中で、柔軟な発想で様々な検討を行ってまいります。【政策調整課】</p>
56	<p>当町会区域内の住民のうち、植野町地番の住民は植野小学校に行き投票しているが、次の理由により、第四投票区(天明小学校)で投票できるよう改善してほしい。①距離的に天明小学校が近く、利便性が図れる。②区域内の子どもは、全て天明小に登校している。③投票区の投票立会人の選定枠が広くなり、その推薦がより容易になる。</p>	<p>・現在の投票区については、1市2町の合併時に旧市町の投票区をそのまま引き継いでいます。投票所入場券を作成する際に使用している選挙システムでは、各住民の居住している町名のデータはありますが、入会町会のデータはないため、把握できない状況です。このため、投票所の変更は難しいと考えています。【選挙管理委員会】</p>
57	<p>(国道50号線沿線開発構想についての要望書に記載)イオン、アウトレット付近の渋滞が激しく、通勤時間帯や帰宅時間帯には、周辺の道路への影響も大きい。道路の拡幅や右折レーンの新設が早期に望まれる。</p>	<p>・国道50号沿線開発の計画において、開発に伴う周辺道路への影響も検討する必要があります。検討結果により、道路拡幅や右折車線の設置が必要になることも想定しています。【政策調整課】</p>

58	(国道50号線沿線開発構想についての要望書に記載)産業団地周辺に有力な企業の誘致や商業施設の出店等、雇用の拡大や昨今のテレワーク需要の高まりによる移住者の誘致に有力な手段となる開発をお願いしたい。	・産業団地に企業が立地することにより、関係人口の増加やそれに伴う消費拡大等の波及効果が期待されますので、その効果が市全体に行き渡るような取組を推進していきます。【政策調整課】
59	佐野市を活性化するには、仕事の創生が最も重要な課題だと思います。仕事があれば人が集まり、市の人口も増加いたします。	・新たな産業団地を造成し仕事のやりがいや安定した雇用形態を提供できる魅力的な企業を誘致するほか、各種補助金等による事業拡大の支援及び制度融資による経営基盤の強化等の支援により地域企業の成長化を助長しながら、今後も雇用拡大の創出を図っていきたく考えています。【産業立市推進課】
60	(国道50号線沿線開発構想についての要望書に記載)市、特に植野地区の活性化につながる良い案と思います。	・地域の発展に貢献できるよう、今後の調査や検討などを進めていきます。【政策調整課】
61	(国道50号線沿線開発構想についての要望書に記載)開発に伴い、道路の整備や街路灯等安全に対する考慮をお願いします。	産業団地の造成を予定している地区には、細い道路や河川などが混在しているため、大型車両も通行が可能となるような、区域内を東西南北に往来できる幅員の大きな道路や橋梁などを整備するとともに、周辺の防犯にも配慮し、一定間隔で街路灯を設置することを検討していきます。【政策調整課】
62	佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標が記されていますが、その施策の規模や期待される効果を明確にした方が、市民が理解しやすいと思います。	・佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、2060年に85,000人の人口維持を目指すべく、4つの基本目標を掲げ、それぞれに数値目標を設定しております。市民の皆様によりわかりやすい表現方法につきましては、今後研究してまいりたいと考えております。【総合戦略推進室】

63	<p>足利市・栃木市の間にあって、先輩方は、市の発展を目指して工業団地を造成したり、高速道を通しインターチェンジを誘致したりと施策を打ってきました。近年では、佐野新都市造成、B級グルメ、さのまる、車検場誘致など知名度UPも含め活性化の動きを継続しており、将来の計画も作られています。</p> <p>私は、自然豊かでのんびりとした佐野市が好きですが、高齢化・人口減少の見通しではジリ貧感はありません。佐野市の強みは、山あり・川ありで自然豊かで、水が良く、お米がおいしく、野菜もほとんど自給でき、また、高速道路・鉄道が南北・東西に通り、人・物の移動の便が良いこと。さらには古代から近現代までの史跡があり、人形・鋳物・陶芸などの工芸、美術館も多いことです。そんな中、時代はコロナ、IT化で都会から地方への流れが出てきており、上記本市の強みが生かせるかと思えます。南部では南とのつながりを強くする道路建設の計画があり、現代風の活性化が期待されます。弱みは、上記強みが点在しており、うまくアピールできていないことかと思えます。そこで、それぞれの強みを点から線にする拠点として、例えば宿泊できる古民家のテーマパークを北部に造成して、寺社巡り・工芸巡り・お花見巡りとかの提案をし、アピールしたらどうかと思えます。それにより、地域の現存する宿泊施設・飲食店への波及とか新規参入なども図れるのではないかと思います。空き家活用になる転入促進へのイメージアップにもなるかと思えます。強みの活用について、さらなるご検討をお願いいたします。</p>	<p>・環境・食・文化等、本市の強みが発揮できるよう、ご提案を参考にさせていただき、空き家等の様々な資源を活用しながら、人の流れを創造する取組を進めていきます。【政策調整課】</p> <p>・ご指摘のとおり、先人が築き上げた本市の強み、本市ならではの特徴を活かしたまちづくりを進めることにより、人口減少社会の克服に挑戦してまいりたいと考えております。【総合戦略推進室】</p>
64	<p>敬老会について、現在は75歳以上の全員が対象となっていますが、毎年増加する一方であり、例えば対象を77歳や88歳などに絞ることにより、記念品が充実することになるのではないかと考えます。現在は、記念品を受け取りに来る対象者が少ないため、町会で配布しているのが負担感があります。</p>	<p>・敬老会の対象年齢につきましては、現在、75歳以上としておりますが、高齢者人口の増加に伴い、対象年齢を見直すよう、今後検討してまいります。また、併せて記念品の配布方法等についても、見直しを検討してまいります。【生涯学習課】</p>
65	<p>空き家の大きくなった樹木の迷惑条例の制定を急いでください。相続人が不明で市の方へ調査依頼に伺っても個人情報で教えてもらえない。樹木管理を相続人へ市の方から強力に指導してほしい。</p>	<p>・空き家とその敷地(立木も含む)の適切な管理については、空家法により所有者の責務として定められております。随時空き家対策室へご連絡いただければ、職員による現場確認と所有者への通知をさせていただきます(過去にご相談いただいた空き家でも、再度現地確認・通知させていただきます。)。【空き家対策室】</p>

66	<p>ごみ屋敷の迷惑条例の制定を急いでください。当町会区域内のごみについては、ご承知のことと思いますので、省略します(市、警察、町会と当事者と話し合ったが進展していない。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本市におきましては、既に、いわゆる「ごみ屋敷」について「佐野市建築物等の適切な管理による生活環境の保全に関する条例」が令和2年7月1日に施行されております。おっしゃっている案件の状況につきましては、当課におきましても、関係部署からの情報提供により、把握はしておりますが、同条例の内容に当てはまらない案件であり、ごみ屋敷としての対応が難しいものと思われまます。【環境政策課】 ・行為者とこれまでのやり取りの中では、行為者が扱っている物はごみ(廃棄物)ではなく古物(有価物)であると主張しているため、ごみとして廃棄物処理法による指導は難しいと考えております。古物営業法を所管している佐野警察署及び県・市の関係部署と連携して適正な管理がなされるよう対応してまいりたいと考えております。【クリーン推進課】 ・引き続き、所有者に対し、撤去の指導を実施してまいります。【道路河川課】
67	<p>地域に空き家が多くなった。2年も経つと空き家はボロボロになってしまう。働く場所を紹介して住んでもらうなど、うまく再利用ができないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクという制度により、空き家を売りたい・貸したい方と買いたい・借りたい方の結び付けを行うことで、再利用に努めていきたいと思ひます。【空き家対策室】
68	<p>(国道50号線沿線開発構想についての要望書に記載)市道1号線の拡張工事について、影沢医院より南の方が非常に狭く、歩道に電柱があり、歩きにくい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、県道桐生岩舟線～旧影沢医院までの約220mの整備を進めています。旧影沢医院～市道1級3号線までの間には、東武佐野線の踏切があり、都市計画決定では立体交差の計画となります。整備を進めるためには、周辺地権者、東武鉄道、関係機関との調整に多くの時間を要することから、現在の整備を進めながら、次の工区の整備計画、整備方法等の協議・検討を進めていきます。【政策調整課】
69	<p>市民の命を守るため、二次救急を充実してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県では、県内を10の救急医療圏に区分し、救急医療体制を整備しており、本市と足利市で構成する両毛救急医療圏では、病院群輪番制病院として足利赤十字病院、佐野厚生総合病院が、また、救急告示医療機関として佐野市民病院を含む8医療機関が二次救急医療に対応しております。【医療保険課】
70	<p>(国道50号線沿線開発構想についての要望書に記載)台風19号の災害が多発したが、その後秋山川の改修が進み、今後また同じようなことが起きないよう、50号沿線開発に合わせて垂直避難ができるよう、避難タワーを作ってもらいたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各地に浸水想定区域があり、そのすべてに避難タワーを設置することは現実的ではありません。また避難タワーを設置しても、周囲が水没してしまうと孤立した状態となってしまう。台風の情報は事前に分かることが多いので、本市としては様々な方法で早めに避難情報を発令します。皆様には、避難所への早期避難にご協力をお願いします。【政策調整課】

71	<p>若宮球場がもうすぐ使えなくなる見込みで、近場でお年寄りがグラウンドゴルフができなくなかなかねない。都市公園法の改正により「児童公園」が「地域公園」となって久しい。地域の近隣でグラウンドゴルフができるよう、条例・規則を整備してほしい。</p>	<p>・若宮球場については、栄球場をはじめ複数の野球・ソフトボール関連施設において復旧工事が進められ利用できないため、令和3年度も引き続き施設を貸し出したします。また、近隣の公園のグラウンドゴルフの利用につきましては、関係課と協議してまいります。 【スポーツ立市推進課】</p> <p>・比較的面積の大きい公園において、公園利用届を市に提出して他の利用者の支障にならない範囲でグラウンドゴルフを行っている団体が複数あります。お住まいの付近の公園でも条件に合えば同様の扱いが可能と思われます。【都市整備課】</p>
72	<p>(国道50号線沿線開発構想についての要望書に記載)開発想定エリア1及び開発想定エリア2の中間部分の国道50号北側と県道佐野環状線(高萩村上線)までの区域について、沿線開発区域の想定エリアに加えて整備をお願いします。</p>	<p>・まずは構想に示した各エリアについて、その特徴や課題を整理・検討した上で開発を進めていきます。その他の区域については、開発の状況をみながら必要に応じて検討していきます。【政策調整課】</p>
73	<p>(国道50号線沿線開発構想についての要望書に記載)国道50号以南の市道1号線の延長路線について、早期に都市計画決定して、事業着手を要望する。</p>	<p>・南部幹線は、渡良瀬川等への新たな架橋を含め、栃木県、群馬県、埼玉県を跨ぐ広域幹線道路であることから、整備主体は県となります。南部幹線については、これまで、館林市や羽生市等の関係市町と整備実現に向けて協議を進めてきました。今後さらに各市町における新たな政策や土地利用計画における本路線の必要性を明確にし、引き続き栃木県等へ整備の要望を行い、早期実現に向けた取組を進めていきます。 【政策調整課】</p>
74	<p>(国道50号線沿線開発構想についての要望書に記載)整備方法については、土地区画整理事業を要望する。</p>	<p>・各エリアの特徴や課題を整理し、開発手法の検討なども行います。【政策調整課】</p>
75	<p>国道50号沿線開発について、地区内各町会の関心は非常に高く、よりよい計画となるよう、地元として全面協力したい。当地区では10年もすると農業の担い手がいなくなってしまう。国道50号沿線開発は、最後のチャンスと考えている。</p>	<p>・国道50号沿線開発構想を具現化する中で、農業の振興につながる整備手法や誘致する企業などの検討を行っていきたいと考えています。【政策調整課】</p>

76	<p>よく国会中継を見ますが、与野党の論戦舌戦が見られますが、当の佐野市議会においても論戦が繰り広げられる場合は、毎回とはいいませんがあるのでしょうか。もちろん、議題にもよりますが。平穩無事もいいですが…。</p>	<p>・一般質問(市政全般にわたり、市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問したり、報告や説明を求めたりするものです。)や常任委員会(一定部門の議案等を詳しく審査します。)の質疑においては、論点や争点を明確にし、市民の皆様により分かりやすくするため、「一問一答方式」を採用しています。また、市長などの執行機関は、議員からの質疑や質問に対し、その趣旨や内容を議員に問い返すことができ、不明確なまま議論が進まないようにしています。本会議(議案の説明、質疑、採決や一般質問など)、常任委員会、予算や決算を審査する特別委員会の様子は、市役所に足を運んでいただくかなくても、インターネット中継により、パソコンのほか、スマートフォンやタブレットを使ってご自宅などでリアルタイムに、また、後日いつでも好きなときに会議をご覧いただくことができます。【議事課】</p>
77	<p>(国道50号線沿線開発構想についての要望書に記載)植下町、若宮下町より国道50号との交差点。道路の拡幅、右折レーンの設置。朝夕渋滞を招いている。大原の交差点も右折車が多い。</p>	<p>・市道1級5号線と国道50号との交差点部の対応としては、信号の切り替え時間調整や右折矢印信号の設置などが考えられますが、交通管理者(警察)との協議が必要となります。道路拡幅や右折レーンの設置は、国道50号沿線開発の計画策定にあたり、周辺道路の交通状況も考慮した上で検討していきます。【政策調整課】</p>
78	<p>(国道50号線沿線開発構想についての要望書に記載)越名止まり(丁字路)のイオンから南下している道路(高萩町立体交差)を延伸し羽田工業団地(船津川日通ターミナル入口)へ直結させる東西道路新設(直結)する。</p>	<p>・南部道路は、国道50号の交通量を緩和する目的から平成9年策定の道路網整備基本計画に位置付けた構想路線です。平成23年に北関東自動車道が全線開通したことにより、国道50号の交通量が減少していることから、今後は国道50号沿線開発構想に基づく土地利用を踏まえて、南部道路の在り方を検討していきます。【政策調整課】</p>
79	<p>新型コロナウイルスに感染しないことが一番大事であることはいうまでもないわけですが、残念ながら9月にクラスター感染が発生しました。これを機にそれこそオール佐野、ワンチームでしっかり意識し、お出かけ、帰宅、目的地着く、入る、部活、会合、見学等のルーティンがあるわけなので絶対忘れない。そして守ることの呼びかけを徹底してもらいたい。</p>	<p>・おっしゃるとおり、おひとりおひとりの感染予防策の徹底をしていただくことで、感染拡大が少しでも防ぐことができるものと思います。そのため、緊急事態宣言のチラシの全戸配布や防災無線、防災メールの活用、広報車巡回による呼びかけなどを通して、注意喚起を行っております。今後も、市民のみなさんが安心して生活できるよう、感染予防の呼びかけを行ってまいります。【感染症対策室】</p>

80	(国道50号線沿線開発構想についての要望書に記載)現在のイオンから足利への2車線を4車線へ拡幅する。高萩町、旧高田屋酒店、赤坂南交差点の渋滞が激しい。海陸橋西詰～赤坂価値南交差点ともに拡幅が難しければ新たにもう1本新設する。	・県道佐野環状線は栃木県の管理となっています。今後の交通状況を勘案しながら、栃木県と調整を図っていきます。【政策調整課】
81	令和2年8月20日に市長に秋山川河川改修に伴う堤脚道路に関するお願いをした件ですが、このままの状態ですと、来年整備される側道が完成しても通行ができないばかりか、接道する他の道路が行き止まりになる可能性もあり、こうなると最悪の状態になります。また、国土交通省の方のお話ですと、道路の端には防草シートを敷き詰めるなど、後の負担を少しでも和らげるよう努力するとのことでした。当町会の住民の総意として、市長への要望となりますので、通行が可能となるようお願いいたします。	・国土交通省渡良瀬川河川事務所と堤脚道路の移管協議中であり、未確定です。町会の要望どおり堤脚道路が移管されると、今後、占用条件としての除草範囲が拡大するため、現予算の除草費用では対応が困難となります(防草シートは、数年で劣化します。)。【道路河川課】
82	(国道50号線沿線開発構想についての要望書に記載)南部道路建設地は非常に湿地の多い田園地帯です。この地域の地権者は、高齢化問題や後継者のいない等の問題を抱えています。この先耕作放棄地が増えることが予想されます。「その先」までを考慮し、大規模な暗渠工事を伴う排水事業が必要不可欠になると思います。加えて南北に交差する道路が十数本あります。様々なご配慮をお願いします。	・南部道路の整備にあたっては、交差する用排水や道路について、地元や土地改良区との調整が必要となります。道路計画の段階になりましたら、協議させていただきたいと考えています。また、農業者の希望により、土地改良事業などを実施することができます。【政策調整課】
83	魅力ある企業がないと、若者は佐野市に残らない。	・毎年、佐野地区雇用協会を通じて求人情報誌を作成し、市内の大学・高校に加え、北関東の主要な大学や県内の高校等にも配布し、市内の魅力ある企業について情報発信してきました。今後も引き続き市内の優良企業の情報について積極的に発信していくとともに、併せて若い世代の方にも魅力的に感じるような企業も新たに誘致できるよう、取り組んでまいります。【産業立市推進課】
84	基本目標1のためには、国道50号沿線開発構想の実現が重要と思います。市政の重点施策として位置づけていただきたい。	・本市の全施策について、優先度の評価や取組方針の検討などを毎年実施し、その結果に基づき重点施策を決定しています。重点施策への位置付けにかかわらず、構想の実現に向けた調査や関係機関との協議などを着実に進めていきます。【政策調整課】

85	<p>全体的に絵に描いた餅のような気がする。「安定した仕事をつくり支える人材を育てて活かす」といっているが、安定した仕事は何で、その事業をするために何をしているのか。その人材を育てるために何をしているのか。具体的に話を聞きたい。「地場産業や農業の成長産業化」も同様にどのようにして成長産業化するのか聞きたい。</p>	<p>・本市では、仕事へのやりがいや安定した雇用形態を提供できる働き口を確保するため、既存の産業用地への企業立地誘導や新たな産業団地の造成について検討を進めています。また、地域産業の成長化にあたりましては、「佐野市内に立地する企業が、今後も地域に根ざし、成長を続けていける」よう、販路の拡大や産業財産権の取得などに対する各種補助金の交付などを通じた事業拡大の支援や、市独自の融資制度による経営基盤の強化支援など、市内の事業者あてにさまざまなメニューを用意し、これらの制度の積極的な活用促進を図っています。【産業立市推進課】</p> <p>・農業の成長産業化では、水稻・麦など土地利用型作物に対する持続的な生産振興を促すとともに、ネギ、かき菜などの露地野菜の生産拡大を図ってまいります。そして、特に、いちごをはじめとする園芸作物では「スカイベリー」や「とちあいか」などの新品種を推奨し、品質向上とともに生産拡大を図る計画です。なしなどの果樹でも新品種導入を推進するとともに、新たな品目としてイチジクの生産振興を図るなどしてまいります。こうした米麦などの持続的な生産振興や主要な野菜や果樹などの生産拡大に対応するため、農地中間管理事業等による担い手への農地の集積、集約化を促進し、スマート農業に代表される生産技術の革新を支援するとともに、馬門、赤城地区での圃場再整備などの基盤整備を実施するなど、関係機関と連携して各種補助事業を活用し、都市型農業を推進することで農業経営の安定と、発展を図る計画です。【農政課】</p>
86	<p>50号沿線開発に期待したい。50号北側も開発地域に入れてほしいと市の方をお願いしたところ、農地法の絡みがあるので今のところ除外しているとのこと。田島では農業をしている人の高齢化が進み、農業ができない人が増えている。そういう農地を工業団地に利用してほしい。農地法で転換ができないなら、どうやって農業の成長参加するのか、真剣に考えてほしい。</p>	<p>・農振法や農地法を始めとする関係法令や各計画との整合や関係機関との調整を図りながら、構想の実現に向けた検討を進めていきたいと考えています。また、国道50号沿線開発構想を具現化する中で、農業の振興につながる整備手法や誘致する企業などの検討を行っていききたいと考えています。【政策調整課】</p>

87	<p>(国道50号線沿線開発構想についての要望書に記載)佐野市より国道50号開発の話があつてから1年が過ぎましたが、あまり進んでいないように思います。できるだけ早く開発を進めていただきますよう、よろしく願いいたします。</p> <p>また、田島地区では最近50号南部開発といわれるように聞こえます。50号の南部・北部を含めた開発ではなかったでしょうか。50号北部開発も入れていただきたい。</p> <p>昨年の台風19号では水害にあった地域です。防災対策も考えてほしい。工業団地で働く人たちが南中学校に避難しろではなく、工業団地会館のような施設をつくり、普段は工場の人たちが会議や娯楽で使え、非常時は避難場所になるような施設はどうでしょうか。屋上にヘリポートがあれば、非常時でなくとも少し裕福な社長のヘリコプター移動などに使用しても良いのではないのでしょうか(3階以上の建物が望ましい。)</p>	<p>・産業用地の基盤整備に際しては、地質調査、地盤改良などにより基盤を強化するほか、盛土等により造成高を上げることにより、災害に強い基盤を造成します。また、産業団地内に区画道路や調整池、公園等の公共施設を適切に配置し、災害時の備えとします。加えて、各企業間を繋ぐ組織の設立を提案し、災害時の対策を講じていただくよう働きかけをしたいと考えています。【政策調整課】</p>
88	<p>昨年の台風では、早期対応により水害を免れることができた。スーパーの屋上に避難・駐車し、自衛隊のボートで避難した。</p>	<p>・令和元年東日本台風を教訓にし、屋上・立体駐車場の使用に関する災害協定を佐野アウトレット様やイオン佐野店様と締結し、台風等の風水害時には、使用できることとなっております。今後におきましても、屋上・立体駐車場がある民間施設等を活用させていただけるよう協議してまいります。【危機管理課】</p>
89	<p>市の公園をなかば独断で災害ごみの仮置き場とさせていただいた。市長からもお見舞いいただき、自衛隊の協力で早期にごみ撤去もできた。</p>	<p>・町会の判断により仮置き場として活用していただいたことにより地域における早期復旧が図られたと考えております。【危機管理課】</p>
90	<p>地元は植野小の通学区域だが、天明小にも70人くらい通っている。所管は警察になると思うが、子どもたちが道路の横断に難儀しているので、信号機付横断歩道の設置を天明小に要望しておいた。</p>	<p>・信号機、横断歩道等設置に関しましては警察署所管となります。なお、通学路の安全性の確認を教育委員会でも定期的に行っておりますので、本件に関し情報共有させていただきます。【市民生活課】</p>
91	<p>秋山川の災害工事について、海陸橋付近で土砂を20数台のトラックで運搬している。通学路も近いので、ガードマンによる交通整理をお願いした。</p>	<p>・工事の主体は栃木県となります。本市としては、可能な範囲で事業に協力させていただきます。【道路河川課】</p>
92	<p>県土木の説明会によると、工事の進捗は順調のようだ。しかし、河川内の立木や土砂が越水の一因となったと考えているので、継続してこれらの除去を行っていただくようお願いしたい。</p>	<p>・工事の主体は栃木県となります。本市としては、可能な範囲で事業に協力させていただきます。【道路河川課】</p>

93	渡良瀬川の新たな架橋を含む南部幹線等の整備の実現を早急に希望します。	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな架橋を含む南部幹線については、広域幹線道路であることから、整備主体は県になるかと考えられますが、これまで、館林市や羽生市等の関係市町と整備実現に向けて協議を進めてまいりました。今後は、更に各市町における新たな政策や土地利用計画における本路線の必要性を明確にし、引き続き栃木県等へ整備の要望をしていくなど、早期実現に向けた取り組みを進めてまいりたいと考えております。【都市計画課】
94	当町会の65歳以上高齢者も年々増加して、現在170人ほどとなり、自動車運転免許返納すべき年齢の人も多くいます。ふれあいバス開通の予定はないのでしょうか。アグリタウン・馬門線が当町会の公民館にも乗り場を希望します。	<ul style="list-style-type: none"> ・市としても、植野地区南部及び界地区南部は、バスや鉄道が利用できない公共交通空白地域であることは認識しているところです。今後は移動のニーズを把握するため、アンケート調査による移動需要調査等を行い、移動需要に適した生活交通導入の検討を進めてまいりたいと考えております。【市民生活課】
95	引き続き、大雨に強い河川の改修をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ・本市が管轄する河川につきましては、必要に応じて対応してまいります。【道路河川課】
96	今後とも若者が安定して働ける企業を誘致して、家族が安心して生活ができ、また子育てができるまちづくりをお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ・本市には、4つの児童館(南・東・西・田沼)とこどもの国があり、多くの方にご利用いただいております。この5施設では、各種講座や相談事業などを行っており、今後も引き続き実施していきます。その他、同じこども課所管施設として、佐野駅前交流プラザぱるぼーとの中に、子育て支援まちなかプラザ(ゆめぼけっと)がありますが、こちらでは、乳幼児の一時預かりや親子で遊べるふれあい室を設置しているほか、保育士資格を有する職員が、子育ての悩み相談やアドバイスなどを実施おり、こちらも引き続き実施していきます。また、仕事と子育ての両立を支援するため、こどもクラブの充実に努めてまいります。【こども課】 ・民間保育所特別保育運営支援事業及び私立幼稚園支援事業を活用した、保育施設等の施設整備や職員研修費用の一部補助を実施するなど、市内保育施設に対する支援を行っております。また、市内の保育需要を把握し適正な保育量の確保を行い、保育環境の整備に努めてまいります。【保育課】 ・若者・女性が安定して働ける場の確保と移住・定住の促進を図るために造成・分譲を進めていました本市の産業団地は、現在、すべて完売しているため、新たな産業団地の候補地を選定し企業誘致を進める必要があります。産業団地への企業誘致にあたりましては、企業誘致方針を決定し、その方針の優先度に沿って企業を誘致していくこととなりますが、今後も、若年層の方が仕事へのやりがいを感じ、安定した雇用形態のもと本市で安心して暮らすことができる企業を優先的に誘致していきたいと考えております。【産業立市推進課】
97	河川の堆積物(砂利、土砂)、河川敷の雑木などの除去をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ・本市が管轄する河川につきましては、必要に応じて対応してまいります。【道路河川課】

98	<p>高齢化が進み、運転免許の返納も多くなるため、郊外にも医療体制(診療所など)を整えてほしい。</p>	<p>・県策定の栃木県保健医療計画における両毛地域医療構想では、在宅医療の基盤整備を促進するなど医療体制の整備を推進しているところです。本市では、高齢者の通院に係る交通手段を確保するための対応としまして、タクシーを利用して医療機関等へ通院する場合に、その料金の一部を助成することにより、高齢者福祉の向上を図っており、また、通院以外の用途も助成の対象となるよう制度の見直しを検討してまいりたいと考えております。【医療保険課・いきいき高齢課】</p>
99	<p>空き家・空き地対策を強化してほしい。</p>	<p>・空き地の適正な管理につきましては、適正に管理されていない空き地に関する苦情相談が当課にあった場合には、「佐野市きれいなまちづくり推進条例」に基づき、速やかに現地確認を行うとともに、土地所有者を調査し、所有者に対し適正な管理を行うよう文書を郵送し、指導を行っております。【環境政策課】 ・随時、地域の方からご相談をいただき、所有者に適正な管理をお願いする通知をさせていただいております。今後も空き家の所有者に対する通知や空き家バンク制度、各種補助事業等活用し、空き家対策に努めていきたいと思っております。【空き家対策室】</p>
100	<p>インフルエンザの流行期を控え、今年は新型コロナウイルスとの症状の判別が難しいとのことで、予防接種の希望者が増えています。しかしながら、かかりつけ医をもたない方(特に若い世代や外国人在住者)が予防接種を受けられないという状況があります。町内の30歳代の夫婦は、安足健康福祉センターから7つの病院を紹介されましたが、全ての病院から断られるか、または通院患者優先のため、1か月後に再度連絡という対応であったと困っていました。県の管轄かもしれませんが、市としての対応を望みます。</p>	<p>・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ワクチンの需要が例年に比べ集中し、接種開始当初から一時的にワクチンの不足が生じたため、市民の皆様にはご不便をおかけしました。11月に、市内の医療機関に問い合わせたところ、かかりつけでない方でもインフルエンザ予防接種を受け付けている病院があることが確認できました。希望された時期にインフルエンザ予防接種をできなかった方には大変ご迷惑をおかけしました。【健康増進課】</p>

101	一人暮らしの高齢者対策を充実させてほしい。助けてほしい人が簡単に発信できるような、一人暮らし高齢者専用の対応窓口を設けてほしい。	・一人暮らしの高齢者対策につきましては、緊急通報や乳酸飲料の配布の他、地区社会福祉協議会による家庭訪問などの施策がありますが、対象者の声を聴き、状況にあった施策を検討してまいりたいと考えております。現在、高齢者実態調査の中で、一人暮らしの高齢者を民生委員児童委員の方に毎年調査訪問していただいておりますので、身近な相談としては、民生委員児童委員様、高齢者全般の相談窓口として地域包括支援センターを位置付けております。今後ご意見をお聴きし検討してまいりたいと考えております。【いきいき高齢課】
102	今年度の国勢調査員の依頼は大変困難であった。集合住宅が増加して、町会に加入せず、調査に非協力的な世帯が多くなっていて、調査員の業務の大変さは年々増している。今年度は何とかお願いできたが、5年後はもう難しいかもしれないと感じている。	・調査員確保の面を含め、現行の調査手法(調査員が直接配布し、回収する。)が年々困難になっていることは国でも把握しており、全国的な課題となっております。また、同様のご意見が他町会及び調査員からも寄せられておりますので、ご意見を踏まえて、今回調査の実施状況を県を通じて国へ報告いたします。【政策調整課】
103	佐野市では車が欠かせないが、高齢者の事故の増加から、免許の返納者も増えると予想される。高齢者のためにバス路線を充実させてほしい。必要な時に利用できるオンデマンドバスを街中でも利用できるようにしてほしい。	・現在、市内には佐野市生活路線バスが5つの路線(植下高萩線、田沼葛生線、運動公園循環線、犬伏線、足利線)と4つのエリア(葛生エリア、田沼エリア、赤見エリア、吾妻エリア)でデマンド交通の運行を行っています。また、関東自動車株式会社が佐野新都市線の運行を行っているところです。デマンド交通では、自宅で乗降が可能なことからタクシーと競合するおそれがあるため、現在はタクシーの利用が比較的困難な中山間地域等を中心に運行を行っています。全ての移動需要に路線バスやデマンド交通で対応することは困難ではありますが、今後はタクシー、鉄道など他の移動手段と連携しながら、市内の公共交通ネットワークを形成して行きたいと考えております。【市民生活課】

104	<p>懇談会資料によると、人口減少を危機ととらえて、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を立て、何とかして市の人口を増加(減少幅を少なくする)の方向にもっていくための方策を検討していると理解しました。人が佐野市に住みたくなるような魅力ある街づくりとして、仕事づくり、子どもを産み・育てやすいように結婚・妊娠・出産の支援や、子育ての環境、女性が働きやすい環境を作るとしています。</p> <p>しかし、資料では、高齢者についての対策がほとんど述べられていません。若い人、子どもへの対策はもちろん重要ですが、高齢者が住みよい町となるのが今の高齢者社会では大切だと思います。住み続けるためには、高齢者のための施策が充実していることが大きな魅力となると思います。</p>	<p>・高齢者が、いくつになっても、住み慣れた地域で自分らしく安心して過ごしていただけますよう、地域包括ケアシステムの充実と介護予防の啓蒙を進めているところでございます。高齢者のことを我が事として、地域で支え合い生きがいを感じるような仕組みづくり、地域づくりを地域の方々と共に、情報を共有し、一緒に考え、進めていければと考えております。【いきいき高齢課】</p>
105	<p>町会への依存を減らしてほしい。町会の役員、特に町会長の引き受け手がなくなっている。以前は60歳くらいで仕事を辞めて、町会の役を引き受ける余裕のある人がある程度いたが、今では、70歳くらいまで仕事を続ける(続けざるを得ない)人が増えている。市からの要請があまりにも多く、体力がなくては務まらないし、若い人が仕事をしながら役員を務めるのは今の状態では無理である。</p> <p>昔ながらの町会という組織を今後どのようにしていくかは大きな課題であるが、災害などに備えるためには地域のつながりは大切だと思うので、役員の負担が大きくならないよう、多くの人々が町会に参加できるようなあり方を市として考えてほしい。</p>	<p>・町会には、防災、防犯、環境の美化、地域の支え合い等、様々な活動をしていただいております。また、佐野市の協働のパートナーとしても重要な役割を担っていただいております。生活環境の変化やライフスタイルの変化に伴う地域負担の増は、佐野市、佐野市町会長連合会、町会が共に検討していく課題であると考えております。【市民活動促進課】</p>

106	<p>長く消防団に入っていた。団員がなかなか辞められずに困っている。他地区は分からないが、良い方法があれば考えていただきたい。</p>	<p>・本市の消防団員数につきましては、佐野市消防団条例により各分団等の定数が定められており、団員数の確保について、地域の分団、町会等にも大変ご協力いただいているところでございます。地域の皆様のお力添えにより、その充足率は高い水準で推移しております。昨年度、本市に甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風の際も多くの消防団員が出動し、避難誘導・水防活動・がれき撤去等の「地域を守る災害活動」を実施いたしました。「団員が辞められずに困っている」とのご意見につきましては、少子高齢化や団員のサラリーマン化等の様々な社会情勢の変化が要因となり、地域における団員数の確保が困難になっている現状が考えられます。今後も円滑な団員数の確保に向けて、消防団員募集について様々な媒体を活用し、継続的な広報を実施するとともに、消防団幹部とも団員確保の方策について検討してまいりたいと考えております。【消防本部総務課】</p>
107	<p>犬伏の道路が非常に混み合うので交通緩和に取り組んでいただきたい。 道路の端が雑草に覆われているので、除草してもらいたい。</p>	<p>・今年度、朝夕の交通渋滞の一要因である工業団地の通勤者に対し、通勤に関する調査を行いました。今後、調査結果を分析し、ハード・ソフト両面から、渋滞緩和に向けてどのような対策がとれるかを検討してまいります。【都市計画課】 ・具体的な渋滞箇所が不明ですが、犬伏街道は県管理です。車両等の通行の支障となる具体的な除草箇所があれば、予算の範囲内で対応します。【道路河川課】</p>
108	<p>新型コロナウイルス感染症対策に市民一丸となって取り組んでいきたい。</p>	<p>・心強いお言葉、ありがとうございます。おひとりおひとりの感染予防策の徹底をしていただくことで、感染拡大を少しでも防ぐことができるものと思います。今後ともご協力をお願いいたします。【感染症対策室】</p>
109	<p>1か月ほど前、コロナ禍において、配布物はやめた方がいいという意見があったが、広報が不十分になってしまうので、広報紙の配布等はやむをえないと思っている。</p>	<p>・市でも同様の意見を頂戴しておりますが、広報紙等の全戸配布物につきましては、やむをえないと考えて継続しております。ただし、多数の方が触れる回覧について、市は行わないこととしました。【都市ブランド推進課】</p>
110	<p>「緊急事態宣言等重要案件」の多言語対応について。国勢調査を実施してみて、町内にベトナム人、ポリビア人、フィリピン人など多くの外国人が一戸建てに居住している事実が判明しました。そのため「緊急事態宣言」など重要な配布文書に「以下の説明について日本語以外の言語を希望する人は右のQRコードをご利用ください」などと表示し、多言語文書を用意の上、緊急時に対応することが望まれます。</p>	<p>・多言語表記についてのご意見ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。【感染症対策室】</p>

111	<p>生活道路沿いの休耕田に繁茂する雑草の草刈りについて。各地で防犯上、いのしし出現など苦悩しています。そこで①所有者に市から草刈りするよう要請。②解決しない場合(遠方に居住や非協力)、町会予算でシルバー人材センターに草刈りを依頼し、半額を町会予算、残り半額を市からの助成金で手当てすることはできないでしょうか。</p>	<p>・佐野市では農業委員会委員や農地利用最適化推進委員の皆様にもご協力いただき、毎年農地パトロールとなる現地調査を実施し、耕作放棄地の所有者に対しては適正な管理をお願いしております。佐野市農業公社においても、耕作放棄地の所有者に対しては草刈りや耕起を依頼する文書を発送しております。所有者が農地を適切に管理できない場合には、賃借権や農地中間管理権の設定などを進めているところであります。農地の適正な管理に対する指導につきましては、関係機関と連携し、今後も継続していきたいと考えております。こうした対応で解決しない場合には、多面的機能支払交付金事業といった地域の共同活動や地域資源を保全するための活動を支援する制度があります。この取組みを行うためには、活動組織を設立し、事業計画の認定を受け、活動を5年間継続する必要などありますが、耕作放棄地の農地維持にも活用できますので、ご希望などございましたらご相談ください。【農政課】</p> <p>・農業委員会では、農地に繁茂する雑草の草刈りについて、所有者等に要請を行っております。今後とも管理が不適切な農地につきまして、ご連絡くださいますようお願いいたします。【農業委員会事務局】</p>
112	<p>過日は新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、当町会でも活動の自粛を行っております。これから冬を迎えますので、3密をさげ、できるだけ会合は少人数で行いたいと思います。</p>	<p>・栃木県において、「緊急事態宣言」が発令されました。こうした状況を踏まえ、町会には、公民館の利用の自粛をお願いしております。今後も、新型コロナウイルスへの対応は、続くと思います。「緊急事態宣言」の解除後、佐野市からの補助金等を活用し、感染症対策を施した上で、公民館での活動を再開していただきますようお願いいたします。【市民活動促進課】</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念されるため、3密を避ける、換気をする、マスクを着用する、手をよく洗う、必要時手指消毒をするなど、おひとりおひとりの感染予防策の徹底をしていただくことで、感染拡大が少しでも防ぐことができるものと思います。町会の活動自粛という中ではございますが、今後ともご協力をお願いいたします。【感染症対策室】</p>

113	<p>女性が輝く地域社会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐野市の女性市議会議員の比率が極端に低い状況である。1/24(4.2%) ・全国市区議会の女性議員比率14.8% ・日本「政治分野における男女共同参画推進法」2018年5月施行 ・候補者男女均等法2018年6月10日 ・クォーター制(割り当て) ・議会選挙の候補者における一定の人数や比率を女性に割り当てる制度 ・現在130以上の国が導入 ・「市民のため」にしっかりと勉強し、行動し、実績を積んでいく。その気持ちをずっと持ち続けていくことが大切である。 ・政策立案や議会運営、議員条例の立案など、女性の視点を入れることが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる分野における政策・方針決定過程において女性の参画が進むことは、急速な少子高齢化、人口減少の進展、価値観の多様化が進む中で、さまざまな視点や立場の意見が確保されることになり、社会の変化に対応できる豊かで活力ある社会を生み出すとともに、あらゆる人が暮らしやすい社会の実現につながります。本市では「佐野市男女共同参画プラン(第3期)」において重点施策の一つとして「政策、方針決定過程への女性の参画」を掲げ推進を図っております。今後も、だれもが生きやすい社会を目指すため、地域活動団体等への啓発や情報提供、各種審議会等における女性登用の促進を図ってまいります。【人権・男女共同参画課】 ・日本での女性議員の占める割合は依然として国際比較の観点から見て、きわめて低く、現状では、日本の女性の政治参画は、世界各国と比べて、遅れていると言わざるを得ない状況です。佐野市議会においては、女性議員が1名であり、比率が低いことについては認識しています。女性議員が増えることにより、女性の視点や意見を市の施策や方針に反映させることができ、多様な方が働きやすい社会、暮らしやすい社会につながるものと考えます。また、女性議員の割合を増やすためには、多様な人材が参画できる職場(議会)や社会の環境整備だけでなく、市民の方々が一定数の女性議員が必要であると認識することも重要なことと考えます。【議事課】
114	<p>外国人との共存については、「佐野市に外国人がこれだけ住んでいる」というところから始めなければならないと思う。太田市のように、ホームページの目立つところに外国人の数を表示すべきだ。また、先進事例として、豊田市などは地域で外国人が共に暮らすためのガイドブックなどを町会に配布するとともに、住民登録に来た外国人に内容を伝えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内在住外国人の表示につきまして、ホームページのデザインの変更が必要です。いただいたご意見を参考に改善を検討します。【都市ブランド推進課】 ・ホームページへの外国人住民人口につきましては、佐野市統計書に国籍別外国人住民人口(毎年12月末の人口)が掲載されております。佐野市に転入した外国籍の方には他課や県などが作成し、配布依頼を受けた案内書などを配布しています。(配布しているもの:ごみカレンダー、佐野市くらしのガイドブック、ハザードマップ、生活・仕事ガイドブックなど)【市民課】

115	<p>時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のクラスターの発生により、多くの市民は安心な暮らしが脅かされました。発生源は外国人によるホームパーティーであり、70名余の感染者がでた。外国人が住む地域で安心な暮らしを守るための地域活動が必須である。 ・どのような地域活動を構築していくか？ <p>。現状町会に対し、外国人の居住情報は一切なしである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人は町会に加入しないことがほとんどである。例)佐野市緊急事態宣言も五か国語で作成しているが、町会が配布したのは日本語のみである。外国人世帯には、五か国語版を郵送した。 ・国際交流協会が協力する話もあったが、どの言語の人がどこに住んでいるのか把握できていない。当然配布は不可能であると推察される。 ・外国人が佐野で暮らすために、必要なことはキッチンと守る(ルールを守る)。そのためには、それぞれの言語で適切な情報が伝えられなければならない。 ・現在市政に関する情報伝達は、町会が担っている。外国人に対する情報伝達をどうするか明確にすることが必要である。 ・犬伏地区は、佐野北中学校が休校1回、犬伏東小学校が休校2回実施した。 ・当町会でも、感染者が発生している。情報は一切なし。 ・安心な暮らしを守るにはどうすればよいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染者の情報は個人情報保護、感染症予防啓発のため、必要最小限の情報のみ提供となっており、感染者の詳しい情報は市には提供されませんので、感染者がどこにお住まいか、日本人か外国人かは不明です。そのような中、9月に栃木県が外国人の感染者について公表したため、本市でも対策を講じることができました。町会に対し外国人の居住情報、国際交流協会の協力、外国人への情報伝達的手段など課題があることは承知しております。問題解決に向け、検討してまいります。【感染症対策室】
116	<p>市道(旧例幣使街道)高速道路東方、唐沢川橋から関川水路橋間は、台風や大雨降水時には岩舟地区からの流水や付近の山、雨水等により道路冠水、通行不可、床下浸水が頻発しており、地域住民の不安が募っております(台風19号により床上浸水の被害世帯が転出した。)。昔から水の出る地域ですので、長期的整備を要望いたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地域の道路が冠水する原因として、大雨時の三杉川の水位上昇に伴い周辺の河川や水路が満水になることが推測されます。長期的整備の要望については、三杉川の管理をしている栃木県をはじめ、下水道課の雨水排水計画見直し等との調整が必要であり時間を要します。道路河川課としては、当面、道路冠水時に通行止め処置をする等の応急的な安全対策を行ってまいります。【道路河川課】

117	<p>開発道路の寄付行為による市受諾(要望)について</p> <p>【当該地所在】佐野市関川町字井戸尻道南914-1、915-10、918-1ほか</p> <p>【所有者】栃木市箱森町39-55有限会社丸和住宅</p> <p>【経緯・要望】当該地は昭和56年当時民間不動産会社により開発され42世帯が関川町会に加入しております。その後、日本勤労者住宅協会事業として大型住宅分譲団地が開発されたほか民間住宅会社の分譲が行われ、関川町会に加入しております。したがって、現況は整備管理されている隣接の米山南町や後続した日本勤労者住宅協会分譲住宅団地に囲まれた環境にあり、開発道路のため公の管理外にある当該地は、取り残された状況にあります。また、所有者は分譲して年数も経っており道路等の整備管理について応じる状況もなく、住人の管理に委ねられている状況です。今日まで、市担当課との話し合いにより問題点など指摘事項もありますが、転入して40年に及ぶ42世帯の住人は高齢者がほとんどで解決できる状況でなく、市当局の特段のご協力をお願いする次第です。そして、当該地を含めた一体的に整備された環境のベッドタウンとして地域の活性化を目指したいと希望します。</p>	<p>・寄付を受け入れられる状態に修繕を実施していただければ、その協議に応じることは可能です。現在は民有地であることから、本市において、安全対策を講じることは困難です。【道路河川課】</p>
118	<p>住宅関係公園の件について</p> <p>7,8年前公園からの砂が流れてきて、U字溝の中に砂がその下まで流れ、マンホールがつまり、バキューム車にて処理されました。公園の土留しなくてはと、見積を取り、¥300,000が出ましたが、市ができないことということでした。せめて「土のう」を20袋積み上げましたが、2,3年過ぎ袋が破け、また砂が出てきて追加10ヶをしました。H17年ごろ当時の担当者が退職のとき公園できなくてすみませんと去っていきました。以来そのまま・・・施工は？</p>	<p>・土地に勾配があるため土砂が流れ出てしまいますが、水はけ等を考慮すると土嚢での対応が有効であると考えております。今後、土嚢積みや側溝の土砂上げについては適正な管理に努めます。【建築住宅課】</p>
119	<p>町会役員について、町会長の件、管理者、市である方々に入所とし、町会長をお願いしたいと2,3年前話に行きました。入居者はますます高齢と母子家庭、家賃高額者、出て行かなくてはと転居して行ってしまいます。住宅の事を市に話しに行くと変わった方が他の方にもういいですよとか、無責任な事言われます。話し合いたいです。</p>	<p>・少子高齢化や人口減少が進んでおり、町会役員のなり手不足は、全市的な課題であり、町会、佐野市町会長連合会、佐野市が共に検討していく課題であると考えております。【市民活動促進課】</p> <p>・市営住宅入居者に関しては年々入居者が減少していることから、今年度入居要件の緩和を行い入居者の促進を図っております。【建築住宅課】</p>

120	<p>国勢調査について、自分への通知送達が遅れて来た。理由を聞くと、送付漏れだったという。統計係がこの状態で、国勢調査は適切に行えるのか。また、指導員も最悪の人に当たってしまった。職員の採用は、慎重に行ってほしい。</p>	<p>・連絡先として市へ申し出られていたご住所ではなく町会長名簿の住所宛にお送りしてしまい、宛所不明により返送されてしまったという経緯がございました。連絡が遅延いたしましたこととお詫び申し上げます。また、指導員への指導が行き届かず、調査業務にご負担をおかけいたしましたことにつきましても、あわせてお詫び申し上げます。事業執行にあたりましては、適切な対応を図ってまいります。【政策調整課】</p> <p>・採用された職員につきましては、佐野市職員として市民から求められる職員像(市民の立場に立って考える事ができる職員や、高い使命感を持ち、市民から信頼される職員など)を理解し、職場内外の研修などを通して適切な対応ができるよう育成に努めたいと思います。【人事課】</p>
121	<p>当町会内の公民館前の道路(たぶん市道)を、一方通行にして限定をかけてほしい。大きい車通り危険である。かたくりの無料駐車場の所からの道路を開通させてもらいたい。</p>	<p>・交通規制に関しましては、警察署が所管しております。一度ご相談ください。道路の開通に関しましては、地権者の協力が得られれば可能性はあるものと思われれます。【市民生活課・道路河川課】</p>
122	<p>台風等により大雨が降ると越水するのが三杉川ですが、その水が旧50号、犬伏街道へ通ずる道路が不通になる。その対策を講じて欲しい。</p>	<p>・具体的な箇所が不明ですが、現時点においては、通行止めでの対応となります。【道路河川課】</p>
123	<p>学歴重視の現在では、仕事無いから。皆行くから大学に行く。世の中の流れかな。現在は、女性も同等に働き生きていける。「女性が輝く地域社会をつくる」とは。意味が違うのではないか。現在、女性は何を求めているのか。</p>	<p>・社会において各種制度を整備してきた結果、あらゆる分野への女性の活躍が進んでいます。しかしながら依然と、家庭では家事の大部分を女性が担っていたり、働く場では管理職の割合や正規雇用の比率が男性に比べて低い状況となっています。このような中、特に人口減少や少子高齢化が進む社会で、豊かで活力ある地域社会を作るには、多様な視点や立場の意見を取り入れることが必要で、特に女性の参画が重要です。女性が参画しやすい環境を整えることは、女性だけでなく男性や子ども、高齢者などあらゆる人にとって生きやすい社会につながることから、引き続き男女共同参画や女性の活躍について啓発支援をおこなってまいります。【人権・男女共同参画課】</p>

124	<p>現在は、高校を卒業しても自分がやりたい職種も少ないし、とりあえず大学に行く、専門技術・知識を身に付けるためか、色々あると思われま。この年齢が、本市の人口減少になっているとも見えますが、帰ってきて、さて仕事をとなるとどのくらい希望に叶う職種があるのかなと思う。近年は、企業の募集もすくなくあるのは介護系・運転手系・新規農業と若い世代が好んで職種に選ぶのは難しいが無いら行っている現実と思う。一度早期退職すると、難しい現実にあったことを思い出す。</p>	<p>・ご指摘のとおり、若者は進学の際に、より高度で専門的な教育環境を求め、また、就職の際には、職種の選択肢が幅広く、賃金、福利厚生面などにおいて、より質の高い就労条件を求める傾向が強いことから、東京一極集中が進んでいるものと認識しております。こういった状況に対応するため、佐野市に定住したまま、東京圏への通学・通勤を促す「東京圏通学・通勤者支援事業」を創設しました。また、進学や就職を控えた高校生に対して、郷土愛の醸成を図る「高校生地域定着促進モデル事業」もスタートしたところです。このほか、市内での起業・創業を後押しする特定創業者フォローアップ事業や起業家支援事業を着実に実施するほか、多様な就職先の確保に向けた新たな産業団地造成の検討、コロナ禍を踏まえ、リモートワークや未来技術を活用した新しい生活様式に即した「しごとづくり」の環境整備にも注力してまいりたいと考えております。【総合戦略推進室】</p> <p>・本市の産業団地は、現在すべて完売しているため、新たな産業団地の候補地を選定し企業誘致を進める必要があります。産業団地への企業誘致にあたりましては、企業誘致方針を決定し、その方針の優先度に沿って企業を誘致していくこととなります。若年層の方が仕事へのやりがいを感じ、安定した雇用形態のもと本市で安心して暮らすことができる企業を優先的に誘致していきます。更に、新型コロナウイルスの感染拡大を機に、在宅でのテレワークや地方にサテライトオフィスを設置する企業も増えていきますので、大都市圏の事務系企業の市内立地による現地採用者の増加を図るなど、近年の若者が望む事務系(オフィス系)企業の誘致にも取り組んで生きたいと考えています。また、就職にあたり業界や企業情報を調べるうちに、新たな関心や適性を見出せる職種の発見もありますので、本市で佐野地区雇用協会を通じて作成している求人情報誌につきましても引き続き、市内外の学校や大学等に配布し、市内の魅力ある企業について情報発信していきたいと思ひます。【産業立市推進課】</p>
125	<p>昨年は、東日本台風の甚大な災害(少なからず、土砂のかき出しに参加した)に、ほっとしない間に本年度は、新型コロナウイルスが。感染予防対策に市長はじめ皆さまの大変なご苦勞に感謝しております。今後、起こりえる豪雨災害の対策と、未知のウイルスのワクチン早期開発を心より願っています。</p>	<p>・令和元年東日本台風を教訓に、佐野市地域防災計画も改訂し、市民の皆様へ寄り添える対応ができるよう整備しているところです。今後の様々な災害についても、市一丸となって対応してまいります。【危機管理課】</p> <p>・心強いお言葉、ありがとうございます。様々な感染防止対策を講じてまいりますので、今後ともご協力をお願いいたします。【感染症対策室】</p>

126	<p>市民向け文書作成について 最近の文書、全てワープロ(手書きがないせい か)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字の間違い ・恒例的に行われている文書。前回の文書利用することにより、年度、期日、時日の間違い ・私書、市民向けの文書は小学生でも理解できる文書が優と指導しております。市民が折り返しTELすることがないように！ ・文書の欠如により、市民に弊害を与える文書。最近のこと(所轄を特定して申し訳ない)所轄課には言っておきました。広報紙で周知、また、該当者に通知。 <p>高齢者肺炎球菌ワクチン接種の通知文書 市～市民(該当者)～かかりつけ医～ワクチンなし～家に戻る 市にTELし医師と相談してほしいとそっけない返事だった!!怒り!! 例えば末尾に全国的にワクチン不足の旨の一行付け加えれば市民に手間をかけないで済むこと!! 文書作成は決裁が基本と思います!!担当◎主任◎係長◎課長等。誰かが気付いてほしい!!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワープロを使っただけのご指摘のような注意点につきましては、折々に注意喚起をしましたが、依然として発生しているようですので、改めて注意喚起をしたいと思います。併せて、文章についても、誰もが理解できるように分かりやすく書くよう、また、決裁の過程において誤字脱字はないか、分かりやすい文書となっているかなども留意することを周知したいと思います。【行政経営課】 ・新型コロナウイルス感染症流行の影響によるものと想定される肺炎予防に対する意識の高まりを受け、高齢者肺炎球菌ワクチンの需要が昨年度を上回る量で推移している状況です。そのため、ワクチンの出荷量の調整が行われております。厚労省より、高齢者肺炎球菌ワクチンの出荷調整が行われる通知が届く以前に、高齢者肺炎球菌ワクチン助成の通知を発送していたため、ワクチン不足の文面を掲載することができませんでした。市民の方には、ワクチン不足によるご不便、ご心配をおかけしていることをお詫び申し上げます。また、高齢者肺炎球菌予防接種の助成期間の延長について、現在協議を行っております。決定次第、周知いたします。【健康増進課】
127	<p>窓口事務について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員は公僕。承知のことと。ややもすると忘れがち ・市民に対しては、常に親切、丁寧、簡易、迅速の鉄則あり ・面接に当たっては、市民が何を訴えているか。察知するノウハウ開発してほしい ・職員レベルの対応では、市民は満足しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から「市民志向」の姿勢を持って、市民に対して好感の持てる態度や言葉遣いで誠実に対応し、市民が何を望んでいるか汲み取る能力や、市民の立場になって考え、積極的に行動できる能力の育成に努めたいと思います。【人事課】

128	<p>市全体の予算執行について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会を迎え、時代は変化しております。 ・歳入に対し、歳出が膨らむ時代。例えば①生産年齢の減少により稼働年齢層の減少による収入減、②児童福祉、高齢福祉、社会保障の増、③最近のコロナからの影響からくる産業収入の減など。歳入に対し、歳出は膨らむばかりで、執行部は大変なご苦労されていると思う!! ・そこで職員もご存じの財政課だけが声を大。職員も全庁的に視野に立って。①予算執行の基本。執行に当たっては、②緊急性・必要性、そして行政効果、③執行に当たっては、公平、公正性、少子高齢社会に対応するためには、受益者負担の原則を職員は身に付けてほしい!! <p>例えば、それも所轄を特定し申し訳ない。公有財産適正化配置計画の例。土地、建物、無償譲渡しOK。解築同様に払い下げない?! 計画を掛けている。12町会有、他の155町会は町会長を以って運営。アンバランスの点指摘しておきました。所轄課にすればサービスを心掛ければ事業の進捗がよくなる心はあると思うが。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる選択と集中の視点に立った施策や事業の執行とともに、受益者負担の適正化に向けた取組等の推進により、効率的な行政経営に努めていきます。【政策調整課】 ・一般会計予算で申し上げますと、歳入につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、市税の大幅な減収を見込んでおり、その後は生産年齢人口の減少に伴う市税の減収は避けられないものと考えております。一方で、歳出につきましては、少子高齢化の進行に伴う社会保障経費といった義務的経費の負担の増加が見込まれるとともに、新型コロナウイルス感染症による感染防止対策や経済支援対策など緊要な経費による増加が見込まれております。さらには、市有施設の老朽化の進行など多くの課題が山積しております。今後も持続可能な財政運営を行うため、受益者負担の適正化などの見直しと併せて、企業版ふるさと納税制度やネーミングライツといった新たな歳入の確保に努めるとともに、行政評価による事務事業の見直し、業務改善計画による行政改革や定員適正化計画に基づく職員数の削減などを進めることが必要であると考えております。予算の執行につきましては、「最少の経費で最大の効果」を出すことを念頭に、効率的で効果的な質の高いものとなるよう、全庁的に努めてまいりたいと考えております。【財政課】 ・(市有施設適正配置計画に関して)町会等が使用する公民館は町会等が維持管理すべきという考えから、町会等が主に使用している市有施設について、町会等の皆様と意見交換を行い、合意形成を図った上で当該町会等へ条例に基づき無償譲渡する取組を進めております。譲渡後一定期間は自治公民館として安全に使用していただくために、破損箇所に対する最低限の修繕を行った上で譲渡したいと考えておりますので、ご理解をよろしく願います。【行政経営課】
129	<p>以前から、当地域では道路新設を要望していますが、現状を考えると不可能なのか判断が難しいと思うが現在は直線がなく曲がりくねり狭隘で交通量は多く、流通関係大型・中型トラック・通勤車両等が、朝夕と激しく通行している状況で安心して安全を願うことから不可能であれば既存の道路で安全策を考えて頂きたい。例えば、交通規制・道路標識の増加・ガードレール設置・危険個所の絶無等。緊急車両がスムーズに通行できる道路等。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道路新設については、今のところ計画はございませんので対応は困難です。既存道路の安全対策については、予算の範囲で対応します(交通規制は、警察署の所管となります)。【道路河川課】

130	<p>産業や社会生活の基盤となる施設。道路・鉄道など専門基盤の社会資本、および学校・病院・公園・社会施設等の生活関連の充実を図る。今では、想定外のことが多く発生している、時代にあった地域づくりでは、安心して安全な生活はどうだろうか、先の先を読み取り考えていく必要がある。また、これからは、外国人人口が増加する状況で、これもひとつの課題ではないだろうか。</p>	<p>・医療・福祉、商業、教育等の都市機能の拠点への集積を促進し、そこへアクセスする公共交通を軸としたネットワークを形成することで生活利便性の向上を図りたいと考えています。また、併せて災害の危険性が少ない地域への居住の誘導を進めるなど、安全・安心で災害に強いまちづくりに取り組んでいきます。外国人の増加については、多言語に対応した市政情報の発信など、外国人の方も同じ市民として安心して生活できるような環境整備を進めていきたいと考えています。 【政策調整課】</p>
131	<p>昨年の台風19号は、私たち佐野市民にとって、忘れる事のできない悪夢でした。当町会の中にも、親族や友人達が台風被災を被った方が複数おりました。菊沢川の氾濫で床上浸水を受けた人、また、秋山川越水により全ての家財道具が水に浸り廃棄し、途方に暮れる人も居たと聞いております。</p> <p>このように大きな被害を受けた人の中には、今もなお、心の傷が癒えず体調を崩し、不自由な生活を強いられている人がおります。</p> <p>一方行政では「佐藤さんゆかりの地」聖地プロジェクト・「佐野ラーメン移住プロジェクト」など企画し活動を展開しており、また令和2年度予算では「クリケットタウン佐野プロジェクト事業推進のため、に約一億三千万円もの大金をつぎ込み、事業展開しているのが現状です。</p> <p>しかし、佐野市民としては、台風19号で被災された方々の心情を察すると、現在、行政が推進する事業には疑問が残ります。佐野市民が果たして「何を望んでいるのか調査」何を最優先すべきか？」再検討を頂きたい。</p>	<p>・ご指摘のとおり、市民の生命・財産を守ることは行政の根幹であり、市民の皆様の安全・安心を守ることを最優先に市政運営に取り組んでおります。令和元年10月の東日本台風では、甚大な被害により、市民の皆さまに多大なご苦勞をお掛けしてしまいましたが、町会長の皆様をはじめ、多くの市民の皆様に、様々な面において、ご支援ご協力をいただきながら、復旧・復興に向けた取組を進めてまいりました。一方で、人口減少社会を克服し、将来にわたり持続可能な佐野市を創り上げるためには、市民の安全・安心を守る施策と並行し、様々な施策を展開することにより、魅力あるしごとをつくり、新しい人の流れを生み出していかなければなりません。ご指摘の事業につきましても、こういった目的のもとに実施をしておりますので、ご理解をいただきたいと思ひます。なお、「佐藤さんゆかりの地」聖地プロジェクトにつきましては、全国の「佐藤さん」が、本市を知り、訪れるきっかけとなり、本市との関係性を深め、繰り返し訪問していただくことで、全国の佐藤さんと市民の皆さんが、お互いが支え合い、助け合いできるような、いわば「親戚」のような関係性を築くことができると考えております。令和元年10月の東日本台風の際には、鈴木姓発祥の地として連携をしている和歌山県海南市より、約5万点にもものぼる支援物資をいただき、被災された方々にもお配りさせていただいたところがございます。 【総合戦略推進室】</p> <p>・現在進めている「クリケットタウンさの創造プロジェクト事業」は、単に競技スポーツとしてクリケットの振興を図るものではなく、クリケットをきっかけとして、国内外から大勢の人が本市を訪れる集客波及効果により、飲食や宿泊をはじめ本市の地域経済に良い影響をもたらす、地域に賑わいをもたらすことを目的としております。しかしながら、国の補助があるとはいえ、事業は大きな予算を伴っており、令和元年の台風被災により市の財政がひっ迫していることも事実です。令和2年度で国の補助金を活用した事業としての建付けは終了いたします。令和3年度からは、大幅に予算を縮小し、これまでの経過を踏まえて地域経済の活性化に有効な事業を絞り込んで実施する考えです。 【スポーツ立市推進課】</p>

132	<p>佐野市は他の市町村に比べて、大きな公園や駐車場を完備した公園が非常に少なく感じます。子供達が安心して走り回れ、ある程度の遊戯設備を整え、ファミリー層が楽しめる公園づくりが必要かと思えます。</p> <p>幼児期に屋外遊びをする事は、好奇心が培われると言われているそうです。そう云った意味からも、公園の存在は非常に重要だそうです。将来の佐野市を担う子供たちのためにも、今後は設置個所を増やして頂きたい。</p> <p>幸いにして、新都市周辺の「旧高萩球場跡地」に新公園を造成中です。是非、芝生があり幼児が走り回れて、「例えば、タコ滑り台」のような目玉となる遊戯施設を設け、ファミリー層が楽しめる公園造りをお願いしたい。</p> <p>新都市周辺は更なるイメージアップが図れ、転入者の誘致にも寄与でき、佐野市の人口増加にも貢献できると思えます。</p>	<p>・現在市内には172の都市公園が整備されている他に、ご意見の中にあるように現在新都市地域の新しい景観のシンボルとして、また災害時の一時避難所として防災機能を併せ持つ(仮称)高萩中央公園を整備中です。身近なスポーツを中心とした幅広い利用に対応した広い多目的広場(芝生)を主体に、奥行き感を加えるために築山を導入し周辺を見渡せるようにし、さらに市民がイベントを開催できるようステージを設置した交流広場を設けて、複合遊具などの遊戯施設などをバランスよく配置した公園として計画しました。【都市整備課】</p>
133	<p>本市の人口の現状</p> <p>・県内と比較して出生率が低いのは、子育て世代が不安を抱く要因があるからではないでしょうか。現状では、共稼ぎを希望する夫婦が入園申込みしても、母子家庭や諸事情を抱えた人が優先され、また祖父母が学区内に在住している場合、なかなか希望が叶わないと言われています。</p> <p>市としては大変難しい問題と思いますが、まず、受け入れ人数の増員などの検討や規制の緩和を実施、待機児童ゼロを構築して頂きたい。</p>	<p>・現在、第2次佐野市保育所整備運営計画に基づいた保育所等の整備を行い、市内の保育量の確保に努めております。この結果、令和2年4月1日現在待機児童はゼロとなりました。今後も就労環境や家庭環境の変化など多様化したニーズに対応した、保育環境の整備に努めてまいります。【保育課】</p>
134	<p>最近、三轟山でイノシシの目撃情報があります。個体が増えてからでは手が付けられなくなります。実態を調査して、早期に対処していただくことはできないでしょうか？</p>	<p>・近年、三轟山でもイノシシが生息し、掘り起し等の農作物被害や目撃情報が増加しております。三轟山近辺においても、猟友会へ委託し、捕獲をお願いしておりますが、今後も捕獲圧を高め個体数の管理を強化してまいります。【農山村振興課】</p>

135	男女共に生涯独身の子が増える傾向にあるようですが、市として、婚活を支援する活動にもう少し力を入れてはどうでしょうか？	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化対策の第一歩として、婚姻数の向上を図ることは重要なことであると認識しております。現在、「まちなか婚活推進事業」、「佐野市農業後継者結婚推進協議会運営支援事業」を実施しておりますが、民間事業者においても結婚支援事業の動きがあるようですので、こちらの動きも注視したいと考えております。また、国の交付金を活用した「結婚新生活支援事業」について、実施を検討しています。【総合戦略推進室】 ・産業立市推進課では、中心市街地のにぎわいを創出しながら結婚願望のある男女に出会いの場を提供するため「まちなか婚活推進事業」を実施しております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、令和2年度の婚活イベントの開催は見送っておりますが、例年2回開催しており、毎回2～3組程度のカップルが成立しているところです。新型コロナウイルス感染症の終息を見据え、中心市街地の活性化につながるような魅力的な婚活イベントが実施できるよう、引き続き調査・研究してまいります。【産業立市推進課】 ・農業委員会では、農業後継者の育成確保を図るため、農業後継者結婚推進協議会を支援し、協議会主催の婚活パーティーが開催されております。しかし、近年では参加者が少なく、開催方法等再検討が必要となっております。【農業委員会事務局】
136	鷲の宮神社西の道路ですが、先日水道山八幡宮神社の6町内会集まりの席で私(戸賀崎神主)は道路工事させませんから、ご了承くださいの話。拡張工事アスファルト崩れの状態危険もありますので、強制お願いの町内会願望よろしく願います。	<ul style="list-style-type: none"> ・地権者の協力が得られないと対応は困難です。【道路河川課】
137	東日本台風復興に新型コロナウイルス対応と災害発生しますが、市民生活安心な暮らしをこれまで同様引き続き継続お願いする次第です。市政頑張ってください。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も令和元年東日本台風の災害からの復興に全力を挙げるとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止、市民や事業者のための経済対策に万全を期していきます。【政策調整課】 ・令和元年東日本台風を教訓に、佐野市地域防災計画も改訂し、市民の皆様に寄り添える対応ができるよう整備しているところです。今後の様々な災害についても、市一丸となって対応してまいります。【危機管理課】 ・心強いお言葉、ありがとうございます。様々な感染防止対策を講じてまいりますので、今後ともご協力をお願いいたします。【感染症対策室】
138	新型コロナ対策では、町会への消毒液の配布や補助金交付等も含め、きめ細かい対策を行っていることに感謝します。それでもクラスターが発生したのは、ルールを守らない一部の外国籍の人達で、特別な対応が必要(専門部署設置を)	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございます。今後も、感染拡大防止策を講じてまいりますので、ご協力をお願いいたします。【感染症対策室】
139	「危機管理監が配置され強固な体制を整えた」とのことだが、整った内容や動きを市政日より等でアピールすると共に本人からも聞きたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講話の要請をいただければ、危機管理監本人が出向き、様々なご質問等にお答えさせていただきます。【危機管理課】

140	<p>企業誘致や地場産業支援と並行して、知的産業・先端企業や各種研究機関等の誘致で、若き人材の転出を減らすと共に各地から優秀な人達を集めることができ、新しい人の流れがつかれる。ぜひ、今後の戦略に入れてほしい。</p>	<p>・基本目標4では、「時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る」として人口減少社会であっても持続可能なまちづくりを推進すべく、コンパクトなまちづくりやSDGsの取組やスマートシティの導入可能性などを検討することとしております。さらに、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、コロナ禍がもたらす社会変革や行動変容を念頭に、先進的技術の活用により、都市や地域の機能やサービスを効率化・高度化し、急速な高齢化、多発する災害などといった地域課題の解決を図るとともに、快適性や利便性を含めた新たな価値を創出する取組を検討し、交通弱者問題、健康・医療の担い手不足、災害対策の遅れなどといった地域格差に対し、IoT・ビッグデータ等の先進技術の活用による解決を図ってまいりたいと考えております。【総合戦略推進室】</p> <p>・本市の産業団地は、現在すべて完売しているため、本市のさらなる産業の活性化を担う企業が集積する新たな産業団地の候補地を選定し企業誘致を進める必要があります。産業団地への企業誘致にあたりましては、企業誘致方針を決定し、その方針の優先度に沿って企業を誘致していくことになります。最先端技術・ノウハウを持っている企業の誘致につきましては、ご指摘のとおり魅力ある雇用の創出や地域企業への波及効果も期待できることから、優先的に誘致していきたいと考えております。【産業立市推進課】</p>
	<p>コロナで大きなクラスターが発生したのは外国人グループと聞いています。佐野市にはどれくらい外国籍の方々がいるのですか。そして、その人たちへの支援や教育は整っているのでしょうか。彼らを市民としての取り込みを行政はもちろん、雇用主そして市民も積極的にすべきと考えます。そうやっていけば、コロナ対策の啓発や啓もうも容易だったのではないかと考えます。</p>	<p>・住民基本台帳における外国人住民人口は、3か月を超える在留資格のある方のみとなり、令和2年12月1日現在、2,873名です(短期滞在等3か月以下の在留資格の方は人口に含まれません)。【市民課】</p> <p>・感染拡大防止の注意喚起は、多言語版のチラシを配布するなど商工会や宗教団体等のご協力をいただき、各関係団体等に周知いたしました。感染者の情報は個人情報保護、感染症予防啓発のため、必要最小限の情報のみ提供となっており、感染者の詳しい情報は市には提供されませんので、感染者が日本人か外国人かは不明であり、個人や事業所を特定しての対策が取れないのが現状です。広報紙やホームページ、市民への周知のチラシ等、従来の日本語だけではなく、外国人のための多言語を表記し、注意喚起を行っておりますが、今後も外国人を含めた市民への周知方法について、検討してまいります。【感染症対策室】</p>

141		<p>・本市では、毎年、雇用者側に同和問題や外国人労働者への偏見、男女差別等、様々な人権問題について正しい理解と認識を深めてもらうために、市内企業を対象にした企業人権啓発懇談会を開催しております。また、すべての人々の就職の機会均等を保障し、公正な採用選考システムを確立してもらうため、従業員30人以上の企業を対象に「公正採用選考人権啓発推進員」の設置をお願いさせていただいております。今後、労働人口の減少に伴い労働力不足が生じ、外国人労働者を雇用する機会が増えると想定されますので、引き続き市内企業へのこうした啓発の取り組みを実施してまいりたいと考えております。【産業立市推進課】</p> <p>・本市における外国人児童生徒への教育につきましては、市内の小学校4校と中学校1校を拠点校として外国人児童生徒への教育、支援を行っております。外国人児童生徒への日本語指導の他、学校から保護者への通知の翻訳などを行っており、外国人児童生徒及びその家族が、日本の学校に適應することができるよう支援を行っております。今後もこの取組を継続し、充実に図ってまいりたいと考えております。【学校教育課】</p>
142	<p>台風19号では想定外の被害となりました。河川整備は計画的に推進していたのでしょうか。また避難所に指定されていた所には必需品が常に備蓄してあったのでしょうか。今後災害は多発すると思われます。しっかり整備・準備、そして教育など先をみずえて推進してください。</p>	<p>・これまでは、防災備蓄倉庫がない避難所は、後から配送する考え方でしたが、令和元年東日本台風以降、飲食料については、避難所開設担当者が開設時に持ち込むこととし、毛布等については、避難所に準備しました。今後も避難所毎に備蓄することを目標に、計画的に進めてまいります。【危機管理課】</p> <p>・本市が管轄する河川につきましては、計画的に実施してまいります。【道路河川課】</p>
143	<p>自分の町会の構成を知りたいと思います。住民数・軒数・年齢構成等や全国・県内との比較等を知ることができますか？</p>	<p>・市民課で算出している人口は「町別人口」「行政区別人口」であり、町会の管理をしていないため、町会ごとの人口は把握しておりません。行政区人口が町会の人数に近い数値かと思われますので、行政区ごとの人口、世帯数、年齢別人口につきましては、市民活動促進課を通じてご依頼いただければ随時ご提供いたします。【市民課】</p> <p>・市民活動促進課においては、4月に各町会からいただく、町会加入世帯数のみ把握している状況でございます。町会の人数、軒数及び年齢構成は、把握しておりません。【市民活動促進課】</p>

144	町会や町民は市から発信される情報をどのように得られるのでしょうか？緊急情報は何を見たり、聞いたりすればいいでしょう。避難情報が出たら、町会は何をすべきでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> 市からの情報は、広報紙やホームページを用いて発信しておりますので、ご利用願います。また、緊急情報に関しては、事前に登録(フォロー)しておくことで、スマートフォン等に自動で通知を受け取れるTwitterやLINEといったSNSが非常に効果的なので、佐野市でも活用しております。【都市ブランド推進課】 避難情報等については、防災行政無線や佐野市ホームページ、佐野市防災・気象情報メール、佐野ケーブルテレビ、とちぎテレビなど様々な方法で避難情報等の発信をしておりますので、平時よりご確認くださいませようお願いします。避難情報の発表時は、避難行動要支援者の避難支援や安否確認などを手分けして行い、避難先では、安否確認や避難所運営(できる範囲で)をお願いいたします。【危機管理課】
145	敬老会の記念品について、対象年齢の見直し(引き上げ)を行ってほしい。400人位対象者がいても半分くらいは取りに来ない。他市では80歳以上を対象としている例も聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 敬老会の対象年齢につきましては、現在、75歳以上としておりますが、高齢者人口の増加に伴い、対象年齢を見直すよう、今後検討してまいります。また、併せて記念品の配布方法等についても、見直しを検討してまいります。【生涯学習課】
146	外国人への緊急事態宣言の配布物について、ベトナム語も考えてもらいたい。	<ul style="list-style-type: none"> ご意見ありがとうございます。参考にさせていただきます。【感染症対策室】
147	避難所が不十分と感じる。駐車場の広い県庁安蘇庁舎やこどもの国も一時的避難所として活用できないのか。この2か所は、ハザードマップでも安全なエリアに属している。	<ul style="list-style-type: none"> 堀米町(朱雀)町会は、秋山川が近く、台風等の風水害が発生した場合の避難場所として、城北小学校、北中学校、犬伏小学校、犬伏地区公民館などをご利用ください。また、県安蘇庁舎やこどもの国も浸水想定区域内に位置しておりますので、状況によっては活用できない場合もあります。【危機管理課】
148	コロナ禍における交付金には、非常に助けられている。他市ではなかなかないので、さらなる有効活用を考えたい。	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、新型コロナウイルスへの対応は、続くと思えます。佐野市からの補助金等を活用し、「緊急事態宣言」の解除後は、感染症対策を施し、活動を再開していただきますようお願いいたします。【市民活動促進課】
149	避難所の確立が不十分。避難所開設は良いが、多く避難者が押し寄せたら、3人程度の職員でさばけるはずがない。町会役員も高齢者が多く、戦力になるかは疑問。あらかじめ避難の区分けをしておいた方が良い。	<ul style="list-style-type: none"> 避難所につきましては、平時より自分の住んでいる土地特有の災害や危険性等をハザードマップにより把握していただくことが重要です。安全な場所に住んでいる方は、避難する必要がないことや親せき・知人宅に避難することも考え、改めて検討していただき、避難所には真に避難が必要な方が行けるよう啓発してまいります。また、避難所運営については、できる方ができることをするなど、やれる範囲での支援をお願いいたします。【危機管理課】
150	秋山川の復旧工事に関し、工事のコンセプトは原状回復なのか、強化なのか。もちろん後者を望む。	<ul style="list-style-type: none"> 工事主体は栃木県となります。本市としては、可能な範囲で事業に協力させていただきます。【道路河川課】

151	<p>昨年の台風19号の復興工事が(河川)いろいろなところで行われていますが、この河川を利用した施設・運動場などの遊び場を今以上に増やして、休日は家族で出かけたくなる様な場ができれば市政の活性化にもなるのではないのでしょうか？(特に旗川沿いは、大人・子どもが遊べる場所が少ないように思われます)</p>	<p>・現在市内には河川敷地にある公園(緑地)も含め172の都市公園が整備されております。散歩、休憩、子どもと遊ぶ、運動を楽しむなど利用目的にあった公園をご利用くださるようお願いいたします。【都市整備課・道路河川課】</p>
152	<p>福祉車両の月使用回数限度2回を4回程度に増やしてほしい</p>	<p>・現在は月3回までの利用です。令和3年度より、高齢者福祉タクシー券の用途が通院以外に増え、さらに利用回数の制限解除の見直しがされているところであります。本事業につきましては、利用者が減少傾向にあることもあり、見直しを検討しているところであります。【いきいき高齢課】</p>
153	<p>クリーンセンター200円/10kgを無料にし、ごみ搬入届出証をなくし、免許証確認にしてほしい(小山参考)。一般のごみ搬入が増え、業者の収集量が減る？(産廃は除く)</p>	<p>・受益者負担適正化のため、無料化は考えておりません。また、免許証確認を計量でやっているのと時間がかかるのに対し、カードだと1度作成すれば時間はかからず、集計がしやすいというメリットがございます。【クリーン推進課】</p>
154	<p>佐野市市有施設適正配置計画等に基づき、旗川地区の特性をいかしたまちづくりの観点から、既存施設の安全かつ効率的な管理運営が推進されますよう今後ともよろしくお願いたします。</p>	<p>・市全体の人口減少に合わせて税収の減少が見込まれる中、全ての施設を維持管理していくことが困難な状況となっているため、旗川地区においても、地区内に2つある集会所の統合が予定されております。また、今後も継続して利用する施設については、ライフサイクルコストを意識した計画的な予防保全を実施し、改修や更新に係る費用を縮減してまいります。【行政経営課】</p>
155	<p>子育て環境のより充実</p>	<p>・本市には、4つの児童館(南・東・西・田沼)とこどもの国があり、多くの方にご利用いただいております。この5施設では、各種講座や相談事業などを行っており、今後も引き続き実施していきます。その他、同じこども課所管施設として、佐野駅前交流プラザぱるぼーとの中に、子育て支援まちなかプラザ(ゆめぼけっと)がありますが、こちらでは、乳幼児の一時預かりや親子で遊べるふれあい室を設置しているほか、保育士資格を有する職員が、子育ての悩み相談やアドバイスなどを実施おり、こちらも引き続き実施していきます。また、仕事と子育ての両立を支援するため、こどもクラブの充実に努めてまいります。【こども課】</p> <p>・老朽化した公立保育園は、第2次佐野市保育所整備運営計画に基づいた民間移管、施設整備を行い公立保育園と民間保育園等をバランス良く配置し、保育環境の整備に努めてまいります。【保育課】</p>

156	市西側地区への大型店舗の誘致	<p>・本市の土地利用につきまして、都市計画法上の規制により、郊外における大型店舗の新設は制限されております。また、大型店舗の出店は地域の活性化に繋がる一方で、騒音や交通渋滞等による周辺の住環境への影響も大きいことから、敷地面積や店舗の建築面積に応じて市街地の適切なエリアに誘導することになります。今後も大型店舗の出店にあたりましては、市内の適切なエリアへの誘導を図っていききたいと考えております。【産業立市推進課】</p>
157	<p>市の将来を担うべき少子化問題は、持続可能なまちづくりを推進するうえでゆゆしき問題である、と考える高齢者の一人です。基本目標3「結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、女性が輝く地域社会をつくる」とありますが、身の回りにも男性を含め未婚者の数は相当あり、大きな要因の一つではないかと感じております(成人して結婚・出産・育児・親の介護などは当然の事と考えますが)そこで、未婚者に対するアンケート調査などを実施したことはあるのでしょうか？いずれにせよ、未婚者の結婚不安等に対する認識をつぶさに調査した上で、未婚率の減少に向け、ある意味情操教育的な内容も含め、積極的な施策を展開していただきますよう要望させていただきます。</p>	<p>・ご指摘のとおり、少子化対策の第一歩として、婚姻数の向上を図ることは重要なことであると認識しております。未婚者に限定したアンケート調査は実施したことはありませんが、少子化の進行は若い世代での未婚率の増加や晩婚化に伴う第1子出産年齢の上昇、就業状況の変化に伴う結婚・出産・子育てに対する経済的負担感や子育てと仕事の両立のしにくさなどの要因が複雑に絡み合っていると認識しており、地域や企業など社会全体として、男女ともに結婚、子育て、仕事をしやすい環境整備をしなければならないと考えております。女性が持てる能力を發揮し活躍できる社会の実現を目指し、地域や企業をはじめとする社会全体として、男女ともに、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方の普及を図ることにより、結婚や子育て、仕事をしやすい環境を整備し、若年層が「結婚は素晴らしい」、「子育ては楽しい」ということが容易にイメージでき、結婚・出産・子育てといったステップが憧れとなるようなライフプランを示せる施策を展開してまいりたいと考えております。【総合戦略推進室】</p>
158	市の現状人口推移と年齢別の転出先(女性)とありますが、資料の作成は国勢調査をもとにしたなら男性の調査もしたかと思しますので、男女を比較した資料もあった方が良いかなと思しました。	<p>・女性をはじめとする若年層の転出が人口減少の大きな要因であるため、このような資料を掲載をさせていただきました。今後、資料の作成においては、比較検討等、皆様を知りたい情報を掲載するよう努めます。【政策調整課】</p>
159	令和元年東日本台風による旗川被災箇所を整備事業について、旗川地区町会長協議会より県安足土木事務所に対し要望・協議を重ねておりますが、佐野市の絶大なるご支援をお願いいたします。	<p>・栃木県が実施する事業に対しましては、可能な範囲で、支援してまいります。【道路河川課】</p>

160	<p>当町会を南北に走る市道22号線の速度規制はできませんか？ この道は、対面すれ違いに苦勞する狭い道で、当然センターラインは有りません。標識はなく表示もカーブ注意のみです。 しかしながら、朝夕通勤時にはフルーツラインのバイパスとして自家用車バイクに利用されています。日中でも営業車等の通行が有り40km/h以上で通っていきます。僅か200mを30kmで走って煽られた経験が何度もあります。自宅の出入りで危険を感じます。高齢化が進み散歩している人もいます。何か対策は有りませんか。</p>	<p>・交通規制や交通標識等設置に関しましては、警察署が所管しております。一度ご相談ください。【市民生活課】</p>
161	<p>コンパクトシティー構想について 市街中心部の空洞化問題は理解いたします。しかし、農村部はどうでもよいと感じました。説明会に参加しましたが、この点が理解できません。市は都市部と農村部で成り立っているわけで、都市部に人口集中させれば農村部は今以上に疲弊します。コンサルタントは理想は素晴らしいのですが現実、事態の把握は？</p>	<p>・コンパクトシティ構想は、少子高齢化や人口減少の加速する社会を見据えて策定したものです。都市機能を誘導するエリアなどを定めていますが、農村部の生活利便性が低下しないよう、住み慣れた地域での暮らしを支える生活支援機能や交通手段の確保を図りながら、コンパクト・プラス・ネットワークの取組を進めていきたいと考えています。【政策調整課】</p>
162	<p>一級河川旗川(少なくとも当町会西側で寺並橋から堰の間)の川底を掘り下げて下さい(土手を高くするのは疑問です)。 県会議員様より、彦間川と野上川の合流下流の渥戸橋から1kmの範囲の川底を掘削する資料が届きました。何故？台風19号で被害の無い地点を、税を使って工事するのですか？この地点を掘り下げていけば中妻町会での越水が抑えられた、寺並橋下流右岸の越水が抑えられたとお考えですか？下流の流れが滞るので越水するわけです。足利市寺岡町で工事していますので、次は小野茂木町会内で越水するかと危機感が募ります。</p>	<p>・栃木県の管轄となります。本市としては、可能な範囲で事業に協力させていただきます。【道路河川課】</p>
163	<p>早急な河川改修をお願いします。当地域は西側に旗川が控えており、以前より水害の恐怖にさらされております(大雨、長雨、台風等)。特に危険なのは、寺並橋の南からJR両毛線の間です。具体的には、川幅が狭く、且つ蛇行しており、長年の砂利等の堆積から川底も浅く常に危険な状態にあります。今年の台風19号による甚大な被害も佐野市に大きな爪痕を残しました。安全、安心な生活ができるよう重ねて早急な対策をお願いします。</p>	<p>・栃木県の管轄となります。本市としては、可能な範囲で事業に協力させていただきます。【道路河川課】</p>

164	<p>新型コロナによって、テレワークやWEBの活用など仕事や生活スタイル、人々の意識などが大きく変わってくると思う。これをチャンスと捉えて、変化に対応し活かすことで佐野市の発展につなげていっていただきたい。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症は、人々の意識やライフスタイルに大きな変化をもたらしました。感染拡大の防止に全力を挙げるとともに、テレワークなど新しい生活様式に対応した働き方やデジタル化を推進し、関係人口の創出に努め、本市の発展につなげていきたいと考えています。【政策調整課】</p>
165	<p>「第2期佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の具体的な事業も、今後、これからの変化を考慮した内容に、臨機応変に修正しながら実施していくことが必要になるのではないかと思います。</p>	<p>・ご指摘のとおり、市政を取り巻く環境の変化に臨機応変に対応することが重要です。個別の具体的事業として掲げられているものは、第2期総合戦略策定時点で実施計画事業の中から、人口減少対策に直接的効果が見込まれるものを中心に記載したのですが、人口減少対策は、ここに記載されたものだけでなく、複合的に取り組むことにより効果を得られるものと考えており、ここに列挙されているものがすべてではありません。第1期総合戦略においても、社会情勢の変化や本市を取り巻く状況に応じて、当初は記載されていなくても、新規事業として実施してきた事業もあり、第2期戦略においても、コロナ禍も踏まえ、人口減少対策に有効な施策があれば、追加して実施してまいりたいと考えております。【総合戦略推進室】</p>
166	<p>市政の情報や計画などは広報紙や市のHPで知ることができるが、特に、将来を担う若者や女性に、身近なものとして知ってもらい、様々な意見を気軽に届けてもらうことが大切だと思う。高齢者などはこれまでのやり方で良いと思うが、若者などに届きやすい情報発信の手法や、若者などがアクセスしやすい意見の吸い上げ方法について、工夫いただけたらと思う。</p>	<p>・本市においては、SNS等を積極的に活用し、若年層などへの積極的な情報発信に努めているところでございます。【都市ブランド推進課】</p>
167	<p>第2期佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略はよくできた計画だと思います。しっかりと現状分析をした上で、将来を見据え具体的に今、何に取り組んでいかなければならないかということがよく分かります。この計画に向かって、それぞれの目標を着実に実行していくことが大切だと思います。絵にかいた餅とならないよう、しっかりと成果をあげられるよう取り組んでいただきたいと思います。 市政については、現状コロナ禍で何も言えません。</p>	<p>・ご指摘いただきましたとおり、市民の皆様とともに、しっかりと成果をあげられるよう取り組んでまいりたいと考えております。【総合戦略推進室】</p>

168	<p>アベノマスクを付けている人をほとんど見たことがない。小さいマスクは、やはり良くないのか。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の発生した当初、店頭のマスキ不足の問題があり、国が感染予防策の一環としてマスクの配布事業を行いました。企業努力により、現在は店頭に多くのマスクが売られておりますので、他のマスクが手に入りやすくなったものと思われます。 【感染症対策室】</p>
169	<p>特に女性の願うことは、子どもが過ごせたり遊んだりスポーツをしたりする施設が豊富なことと思います。大きな公園、スポーツクラブの充実が望まれます。</p>	<p>・佐野市には、様々なスポーツができる公園(運動公園)として、佐野市運動公園、田沼グリーンスポーツセンター、中運動公園の3つあります。現在、運動公園では新たに人工芝球技場の整備やアリーナたぬまでは床改修を実施する等の施設の充実を図っているほか、昨年の台風で利用できなくなった栄球場、中運動公園野球場も年度内に復旧工事を完了し、芝養生期間後に利用の再開を予定しております。コロナ禍で施設の利用を制限させていただきながらではありますが、市内スポーツ団体、スポーツ施設を管理運営している事業者と連携し、様々な形(スポーツイベント、スポーツ教室等)でスポーツを提供し、ご家族でスポーツを楽しむ環境を実現していきたいと考えております。【スポーツ立市推進課】</p> <p>・現在市内には172の都市公園が整備されております。また、令和6年度の開園を目途に、高萩地区に面積約3.2ヘクタールの(仮称)高萩中央公園を整備中です。【都市整備課】</p>
170	<p>佐藤の会について、始まった経緯が市民にとってはちんぷんかんぷん。どういう経緯で取組を行っているのか、市民に説明してほしい。</p>	<p>・平成29年度に唐沢山城跡で開催された「全国山城サミット」を単なるイベントとして終わらせることなく、持続的なまちづくりに活かすため、まちづくりの新たな視点である関係人口の創出・拡大に着目いたしました。そこで、全国最多で200万人がいるとされる「佐藤姓」の由来は「佐野の藤原秀郷」であるとの説があることに着目し、全国の佐藤さんを本市の関係人口と位置づけ、佐藤姓の祖とされる藤原秀郷に光を当て、ゆかりの唐沢山城や天明鑄物を活用したまちづくりを推進することにより、全国の佐藤さんに本市との関わりを深めるきっかけをつくり、一過性の交流人口としてだけでなく、継続的に本市との関係を保ち、将来的には移住に結びつけることを目指すものです。【総合戦略推進室】</p>
171	<p>自然災害やコロナウイルスなどを防ぐ強く安全な市をつくることを目標としていますが、この原因はCO2の増大による気候変動です。CO2削減を進める世界の諸都市と同じ目標に立ち、例えば太陽光などのエネルギーや緑の木を増やすことが大切と思います。SDGsとの連携強化、気候非常事態宣言への参加を要望します。</p>	<p>・本市は、国民運動である「COOLCHOICE」を推進し、CO2削減のための啓発等を行っています。SDGsとの連携強化、気候非常事態宣言への参加を要望しますが、今後、調査・研究をして検討したいと思います。【環境政策課】</p> <p>・適切な森林経営管理に関しましては、平成31年4月から森林経営管理制度が始まっておりますので、本制度に佐野市としても取り組んでまいります。【農山村振興課】</p>

172	<p>旗川近くでは、水害の再発が懸念される。県土木には、河川改修計画の立案を要望した。川の掘下げ、川水の逃げ場作り、田んぼダムの活用などを盛り込み、改修の早期着工を目指してもらいたい。</p>	<p>・田んぼダムにつきましては、貯水機能を持つ田んぼの活用が、豪雨時の河川の洪水被害を軽減させるうえでも有効な手段の一つであるとも言われております。この田んぼダムの取組にあたっては、災害発生時の検証や、田んぼの所有者等の協力が必要不可欠です。また、地域によって有効な災害対策も様々かと思われまますので、今後、関係部署とも連携を図り、地域の防災・減災を考える上での検討材料の一つとさせていただきます。【農政課】 ・栃木県の管轄となります。本市としては、可能な範囲で事業に協力させていただきます。【道路河川課】</p>
173	<p>交差点付近に家があって歩道や自転車道を広げられないということで、事故が起きないように手立てを考えてほしいです。</p>	<p>・道路交通法に基づく表示等を警察署が所管しています。また、県道や市道の道路管理者で対応できるかもしれません。一度ご相談ください。【道路河川課】 ・具体的な場所をお示しいただければ、状況を確認させていただきます。【市民生活課】</p>
174	<p>旗川流域は、水害の再発が心配されています。県や市との連携が進んでいますが、川の掘り下げ、堤防のかさ上げ、川水の逃げ場などをつくるなど、手立てや改修の早期着工を願います。</p>	<p>・栃木県の管轄となります。本市としては、可能な範囲で事業に協力させていただきます。【道路河川課】</p>
175	<p>小中町、旗川橋、東十字路の歩道がない所の整備。</p>	<p>・今のところ、当該箇所の歩道整備の計画はありませんので対応は困難です。【道路河川課】</p>
176	<p>市議会議員の定数削減をお願いいたします。</p>	<p>・地方議会の議員定数は、各地方公共団体の条例によって定数が定められており、議会によって異なります。佐野市議会の議員定数については、合併後の平成17年4月の市議会議員選挙において32名、平成21年4月の改選から28名、平成25年4月の改選から26名、平成29年4月の改選から24名と、議員定数の削減を行ってきました。議員定数については、議会の役割と機能を損なうことのないよう、委員会審査の充実、市長等に対する監視機能、評価機能及び政策提言機能の実効性、地域の多様な民意の市政への反映(人口規模と市域)、市の財政状況など、様々な視点から検討して定めることとしています。【議事課】</p>

177	<p>ごみの不法投棄問題 個人的にごみの回収(主に道路)をボランティアで行っていますが、空き缶、空きビン、燃えるゴミなど不法投棄が目立ちます。行政側として不法投棄の監視、罰則強化などを望みます。</p>	<p>・道路などの不法投棄ごみの回収をしていただき、ありがとうございます。本市における不法投棄対策の監視につきましては、廃棄物監視員によるパトロールや監視カメラの設置等を行っております。不法投棄されやすい場所につきましては、環境衛生委員さんを通して、不法投棄箇所届や監視カメラ設置要望書を提出していただければと考えております(監視カメラは3台保有しており3か月ごとにローテーションしているため、すぐに設置できない場合もあります。)。罰則強化につきましては、不法投棄の行為者が特定できた場合、警察が行為者に罰則(罰金)を科しております。具体的な罰則(罰金)の内容は情報提供していただけません、厳正な金額であると聞き及んでおります。当面、現在の罰則(罰金)の範囲で厳正に対処していただければと考えております。【クリーン推進課】</p>
178	<p>R50号の高橋町立体交差付近の空缶等の不法投棄対策</p>	<p>・最近、当該地に国道事務所が設置したものと推察される不法投棄防止用の啓発看板が、複数枚数設置されていることを確認いたしました。今後も国道事務所等に情報提供等を行い、当該地の不法投棄防止を図ってまいりたいと考えております。【クリーン推進課】</p>
179	<p>吾妻小学校より旧50号までの県道の改善要望 交通量の増加により、住民の居住性、児童の交通安全確保のために、スピードの取り締まり等による改善を要望</p>	<p>・県道の道路管理は安足土木事務所が、交通規制、取締りに関しましては警察署が所管しております。一度ご相談ください。【市民生活課】</p>
180	<p>イノシシが出没しています。農作物の被害が発生。旗川と出流川の土手付近に出没しています。対応を検討ください。</p>	<p>・河川の藪化がイノシシ等の野生獣の住処となり移動経路となっているものと思われます。まずは、河川管理者により、原因となる藪の刈払い等の環境整備が必要と考えます。またイノシシによる農作物被害を軽減するためには、電気柵を設置することが有効です。市有害鳥獣被害対策協議会で電気柵設置助成を行っておりますのでご相談ください。さらに、市といたしましては捕獲による個体数調整を進めてまいりたいと考えております。【農山村振興課】</p>
181	<p>県道223号線は大型トラックの走行車が激増しており、道路の陥没、騒音、大きな揺れなど、近接住民からの苦情が相次いでいます。</p>	<p>・県道223号線における大型トラックの走行による「騒音」や「大きな揺れ」の発生が確認されるのことでございますが、現在の状況では、騒音や振動に関する法令には適用されないことから、騒音や振動の原因と思われる大型トラックの通行規制についてはお手数でも、道路交通の所管であります栃木県警にご相談していただきますようお願いいたします。【環境政策課】 ・栃木県の管轄となります。本市としては、可能な範囲で事業に協力させていただきます。【道路河川課】</p>

182	<p>佐野市がこれから発展するためには、安定した職場を確保することが基本と考えられます。そのためには、誘致企業へのさまざまな優遇策をとることが必要といえます。私も実体験として佐野に新規に工場を立ち上げた経験があります。工場用地の確保の困難さ、機械設備の導入の際は動力電源が入らず大変な思いをしたことがあります。また、税制面のことも考慮すべきかと考えます。</p>	<p>・工場用地を新規につくるためには、相応の時間と経費がかかるため、候補地を選定しながら計画的に整備を進めてまいりたいと考えています。なお、産業団地を造成する際には、事前に東京電力などの電力会社との供給電力についての協議を行っていますので、市が開発主体となる場合は、電力や水等の需要に応えられるかと思えます。また、本市では、企業立地の促進と雇用機会の拡大を図るため、対象となる産業団地等へ立地した企業に、固定資産税及び都市計画税の合計額に相当する額を5年間にわたり奨励金として交付しております。また、佐野田沼インター産業団地、佐野AWS産業団地及び佐野インター産業団地(第2期)に立地した企業に、佐野市民の新規雇用者数に応じて奨励金を交付しております。今後につきましても、対象企業への効果的な優遇措置を検討しながら企業誘致に取り組んでいきたいと考えております。【産業立市推進課】</p>
183	<p>空き家対策</p>	<p>・空き家の問題につきましては、随時空き家対策室へご連絡いただければ、職員による現場確認と所有者への通知をさせていただいております。また、空き家バンクという制度により、空き家を売りたい・貸したい方と買いたい・借りたい方の結び付けも行っております。【空き家対策室】</p>
184	<p>吾妻小学校西の道路の改善の要望 輸送の大型車両化、県外の利便性による交通量の増加。これにともない、住民の居住性・児童の交通安全の確保を保つため、改善を要望します。 ・大型車のすれ違いができず、ガードレールが出てる(ミラーも)←写真添付</p>	<p>・栃木県の管轄となります。本市としては、可能な範囲で事業に協力させていただきます。【道路河川課】</p>
185	<p>近年異常気象が続く今日この頃、一番身近な被害が台風19号による上流部の大量の降雨による河川の決壊及び予測不能な被害の発生・低い土地(災害時冠水する)への対応。中小河川の総合的見直し・被害が出る前の高齢者への対応・避難所の誘導・世話人の確保等、いつくるかわからない災害のための早期対応をお願いします。</p>	<p>・いつくるかわからない災害に備え、避難所への備蓄や新型コロナウイルス感染症対応の物品などの対策を進めておりますが、高齢者に対する様々な避難対応を市のみで対応することは非常に困難であることから、町会、自主防災組織、民生・児童委員も含めた対応策を検討することも必要だと考えております。避難する際も、高齢者等に対し町会内においてできる範囲での支援をお願いいたします。【危機管理課】 ・本市が管理する河川につきましては、必要に応じて対応してまいりますが、長期的展望が必要です。【道路河川課】</p>
186	<p>人口減少による空き家対策はどのように考えていますか。</p>	<p>・空き家バンクや各種補助事業等活用し、空き家対策に努めていきたいと思っております。【空き家対策室】</p>

187	当町会区域の水害による避難所として工業団地を利用できるよう、まずは市と企業で話し合いを持ってもらいたい。	・昨年度、市と工業団地の代表者において、複数回協議させていただきましたが、工業団地内の各企業が水害時の避難所となる場合、多くの課題があるものと認識しております。今後ご要望がございましたら危機管理課へご相談ください。【危機管理課】
188	今年度4月に開通したデマンド交通(吾妻フルーツライン)の利用者が増えない。市としての対策は考えていますか。	・デマンド交通(フルーツ吾妻線)の利用状況について、令和2年12月25日に吾妻地区の町会役員の皆様と情報共有・意見交換を行ったところです。今後は町会等と連携し、地域にデマンド交通が定着するよう、説明会を開催するなど、周知を図りたいと考えております。【市民生活課】
189	毎年のように大型台風が来たときの才川(県河川)の越水による水害対策は。	・栃木県の管轄となります。本市としては、可能な範囲で事業に協力させていただきます。【道路河川課】
190	佐野市の福祉課は生活保護の審査が甘いので偽装生活保護者が多く税金のムダ、従来の保護者のチェックを強化せよ。	・生活保護の要件・運用は国が生活保護法に基づき統一的な基準を設けており、本市と他市とで審査基準が違うということはありません。また、生活保護世帯については、不正受給等がないよう、日頃から実態把握に努めておりますが、市民の皆様から情報提供をいただいた時には、さらに踏み込んだ調査を実施し、そのような事実が確認された場合は、生活保護の廃止や保護費返還などの対応を行っています。今後も、生活保護世帯の生活状況について十分把握しながら、適正な保護の実施に努めてまいります。【社会福祉課】
191	下羽田工業団地のとなりに高橋町内の畑地(4ha)に産業団地の造成はどうか。	・国道50号沿線開発構想に基づく調査や検討の中で、ご提案の事項も検討したいと考えています。【政策調整課】 ・本市では平成31年3月に国道50号沿線開発構想を策定し、優先的に土地利用の転換を検討するエリアとして開発想定エリアを位置づけております。このエリアの1つとして、既存羽田工団と隣接した区域が挙げられ、産業機能を集積することで本市における産業機能の役割強化が期待できるとしております。具体的な事業区域や事業手法等につきましては、事業の実現性や採算性等を勘案し検討していくこととなりますが、今後もこの構想に基づいた沿線開発を優先的に取り組んでいきたいと考えております。【産業立市推進課】
192	旧吾妻中学校を全国より農業希望者を募集し農業研修所に変更したらどうか。	・貴重なご意見、ありがとうございます。しかしながら、旧吾妻中学校は現在、教育センターとしての利用のほか、適応指導教室、こどもクラブや埋蔵文化財の収蔵庫などとして利用されており、今後も現在の利用方法を継続する計画となっています。このため、現在の利用計画を見直す状況が生じた場合などに、頂戴したご意見を含め検討させていただきます。【農政課】

193	<p>佐野市コンパクトシティ構想を進めるとほかの農村地域が過疎化して将来的には財政負担が高くつく。それよりも市街化調整区域、農業委員会の見直しをすべき。</p>	<p>・コンパクトシティ構想は、少子高齢化や人口減少の加速する社会を見据えて策定したものです。都市機能を誘導するエリアなどを定めていますが、農村部の生活利便性が低下しないよう、住み慣れた地域での暮らしを支える生活支援機能や交通手段の確保を図りながら、コンパクト・プラス・ネットワークの取組を進めたいと考えています。【政策調整課】</p> <p>・人口減少、少子高齢化が進む社会情勢下においても、将来にわたり本市が存続するためには、駅やバス、道路等のインフラが一定程度整っていて、居住者も多いまちなかを中心としたエリアに、居住人口を維持していく必要があります。薄く広がった市街地のまま低密度化が進むと、商業施設や病院、福祉施設など生活に必要な様々な施設が撤退したり、電車やバス等の公共交通の存続が危ぶまれるためです。また、周辺地域や中山間地域の方も、まちなかに買い物する場所や大きな病院が存続すれば、引き続き利用することができます。このため、市街化調整区域の建築制限等は引き続き必要であると考えますが、同時に、周辺地域や中山間地域の方々の生活利便性を将来にわたり確保していくため、必要な方策について地域の皆様とよく話し合うことが重要であると考えます。【都市計画課】</p> <p>・農業委員会所管の農地転用許可制度につきましては、農用地や10ha以上の集団農地において、許可基準が厳しくなっております。この基準の見直しにつきましては、農地法等の改正を要しますので、国の動向によることとなります。【農業委員会事務局】</p>
194	<p>記載された基本項目について是非とも進めて戴きたい。 個人的知見からのお願い。 将来を考えると、学校教育の社会若しくは道徳の授業を通して子供たちに地域への仕組みや理解を図って戴きたい。</p>	<p>・学校教育では、小学校の社会科や生活科、総合的な学習の時間などで地域について学習しております。具体的には、小学校1・2年の生活科で、学校や学校のまわりの地域について学習します。小学校3年の社会で市の施設や仕事等を学習し、小学校4年の社会で地域(市や県)の偉人や行事、伝統文化などを学習します。その他、道徳科においても「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」の育成を図っております。今後も、地域についての学習を進め、地域理解の充実を図ってまいりたいと考えております。【学校教育課】</p>
195	<p>市政・市役所に於ける業務運営が過剰な縦割りとなっていると思われまます。住民からの諸々の依頼や問い合わせも解決まで多くの時間を必要としています。「すぐやる課」の新設を検討していただきたい。直接対応した方がベターな案件や苦情・急ぎの案件等、まず現場(お客様)に出向き住民の話を聴くことから住民の不安や要求を素早く解消できるのではないのでしょうか。内容を確認し当該課で可能な案件の速やかな実施、主管課への情報提供を行うことにより、依頼内容が的確に把握でき、効率的な運用が可能と思われまます。</p>	<p>・本市では、市民の皆様からの苦情等につきましては、内容が多種多様にわたるため、内容に精通した部署において迅速に対応することとしております。これは、本市が総合庁舎方式を採用しており、苦情等に迅速に対応できる部署を案内することができることや、1つの部署(すぐやる課)においてそれぞれの事例にあった対応が難しく、その都度、主管部署へ確認が必要となるなどの業務の重複や煩雑さを招いてしまうことと考えているためです。それぞれの部署が「すぐやる課」である意識を持って、市民の声をお聴きし、よりよい市政運営に努めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。【行政経営課】</p>

196	<p>基本対策を進めるうえで、全ての項目に関わる大切な要素、それはそこに暮らす住民です。今、市内のどの地域も一部を除いて地域コミュニティ充実が求められています。老人会の解散・PTA組織すら拒絶反応が表面化の様相・町会や自治会役員の役員の引き受け手すらない状況にあります。今の時代、生きる事・自分ファーストへの傾向が随所に見られます。時代に合ったコミュニティについても行政のもう一步踏み込んだ方策を提示いただきご指導のほどよろしくお願いいたします。</p>	<p>生活環境の変化やライフスタイルの変化に伴い、町会役員のなり手不足は、全市的な課題であると考えております。町会、佐野市町会長連合会、佐野市が共に検討していく課題であると考えています。【市民活動促進課】</p>
197	<p>下水道新規設置後の本管との接続に関して ①当町会の位置する地域については下水道工事が昨年終り下水道に接続された家庭については下水道を有効利用しておりますが、まだまだ接続されている家庭が少ない様に見受けられます。(数字的根拠がなく感覚での判断)つきましては下水道法で定められている通りすみやかな本管との接続について進捗状況を数字的に把握し積極的に取り組んでもらいたい。特にアパート等の大型物件(交渉については管理会社との交渉が必要) (理由) (ア)下水の放流先が農業用水等の水路を使用しており水質悪化及び汚泥について毎年水路組合の方が農業用水路確保から清掃を行っており清掃作業等の軽減につながります。 (イ)河川の水質向上 (ウ)下水道設備の有効利用(下水道設備は稼働割合が少なくても陳腐化します)</p>	<p>・下水道への接続促進につきましては、未接続の住宅等を台帳化し、公共下水道につなげていない住宅(アパートなどは所有者)や事業所に対し、計画的に訪問をし、接続をお願いしております。また、ダイレクトメール送付、受益者負担金説明会や下水道工事説明会での接続のお願いなどを行っております。しかしながら、工事に費用がかかるなどの理由ですぐに公共下水道に接続をしていただけない場合もあり、継続的に訪問、ダイレクトメールの送付を行っております。また、費用負担軽減のため、金融機関から融資を受け、くみ取り式トイレ又は浄化槽を廃止して公共下水道に接続工事を実施する方へは、融資あっせん制度(市と契約のある金融機関から融資を受けた金額に対する利子を市が負担する制度)を行っております。【下水道課】</p>
198	<p>市職員によるTQC運動 市政懇談会での佐野市の総合戦略と基本目標は大変素晴らしい内容ですが、(しかし、数字での目標達成事項が少ない?)私見としては今後総合的な戦略を実践してゆく上で、具体的な仕事のやり方等を見直し、現場(一般市職員を中心に)レベルで活動するTQC運動を活用し、前例の業務内容にとらわれない自由な発想のもと改善活動をすべきと考えます。関係職員で小グループをつくり、具体的な数字目標を設定し、目標に向かい改善活動の推進と数字目標の達成に向かい実際にやって成果を確認してゆく。また管理職等については、より高度な業務改革事項として「佐野市の総合戦略」に則った数字目標の達成状況については年1回程度事例発表会等を開催。</p>	<p>本市では総合計画に定められた将来像や基本方針を達成するための取り組みを行うとともに、財源確保や歳入に見合った歳出構造に転換する取り組みを通して、将来に負担を残さない行政経営を行うことを主眼に、平成15年度から行政評価に取り組んでいるところでございます。行政評価では、個別事業の評価はもちろん、総合計画の進捗管理として、施策、基本事業においても、毎年評価を実施し、事業のやり方改善や次年度の事業方針、予算等に反映しております。また、中長期的な視点から、職員が担う業務について、質、量の適正化並びに財政負担の軽減を図るため、令和元年度に「業務改善計画」を策定し、業務改善に取り組んでいるところでございます。人口減少、少子高齢社会において、日頃からの業務改善は必要なものと考えており、今後も、行政評価や業務改善計画等により、業務改善を図りながら、総合計画、総合戦略の目標達成に向けて取り組んでまいります。あわせて、市民サービスの向上、事業の効果、効率の向上等を図るための職員提案制度を活用した業務改善等も図ってまいりたいと考えております。【行政経営課】</p>

199	赤見城保育園跡地有効利用について ①先日赤見城保育園等統合についての実施事業者が決定したとの通知を頂きましたが、問題は赤見城保育園等の統合後の跡地の有効利用に関しては保育園の統合と併せて推進してゆくべき事項であり佐野市としてどのような考えを持っているかご教示願います。	・赤見城保育園等の閉園後のあり方につきましては、市有施設適正配置計画に基づいた整備を行ってまいります。また、保育園の跡地利用につきましては、設置地区ごとの環境に併せた有効活用に努めてまいります。【保育課】
200	出流原サービスエリアにスマートIC設置予定の現状はどのようになっているのか。	・令和2年度、用地買収が完了し、現在、道路本体の工事に着手しております。令和3年度も引き続き工事を進め、令和4年中の供用開始を予定しております。【都市整備課】
201	国道293沿いのあくと橋付近に水位計とカメラの設置を希望。	・一級河川旗川の水位計及び監視カメラについては、令和2年度において、稲岡橋(並木町)に設置したところでございます。渥戸橋については、十分検討し、必要性があれば県に対し要望してまいります。【危機管理課】
202	運動場に隣接した雑木材の管理について要望。当運動場は町民体育祭の会場として、ソフトボールクラブ、グランドゴルフクラブの場として利用してきました。また昨年の台風19号被害のため、他の赤見地区のグランドゴルフクラブより利用申し入れがあり、毎日のように利用されています。その北に隣接した雑木林の管理が課題です。当地は県より市スポーツ立市推進課をとおして借地していますが、雑木林は一体なので分離借地はできないとの県回答がありました。下石塚町内以外の利用もあり市での管理を要望します。	・佐野市といたしましては、当該運動場については、市が間に入り県から無償で借り、貴町会の管理下のもと貴町会の皆様が利用する施設として認識しています。また、同運動場を市施設として管理するご要望については、直近の施設に市運動公園があること、台風で被災したグラウンドも元どおりに復旧し、市として新たな施設を提供しなくとも市民の利用をまかなえるものと考えており、お応えできない状況です。【スポーツ立市推進課】
203	人口ビジョンによる本市の人口減少は想定内としても、女性20歳代の人口減少が大きな課題である。また20代の転出も圧倒的に多く課題である。	・ご指摘のとおり、本市では20代において、東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県の一都三県のいわゆる東京圏への転出超過傾向が顕著となっております。これは、この世代が進学の際に、より高度で専門的な教育環境を求め、また、就職の際には、職種の選択肢が幅広く、賃金、福利厚生面などにおいて、より質の高い就労条件を求める傾向が強いことによるものと認識しております。また、特に若年女性の転出超過が顕著であることについては、出生数にも影響を与える若年女性の人口が、本市の将来を大きく左右すると認識しております。将来にわたり持続可能なまちを形成するためには、女性にとって魅力ある仕事を増やすこと、そして仕事を続けながらも安心して出産や育児ができる環境をつくり、女性に選ばれるまちづくりを進めることが重要であると考えております。【総合戦略推進室】

204	<p>創生総合戦略、目標1「安定したしごとをつくり、支える人材を育てて活かす。」これを最も重視すべきと考える。職場の安定的な確保なくして本市の創生なしと考えます。目標1を積極的に推進してほしい。</p>	<p>・ご指摘のとおり、魅力あるしごとづくりは、若者をはじめとする定住人口の確保に大きく寄与する要素となるため、工業・農業などの産業振興施策の維持・強化や働きやすい環境づくりに取り組むとともに、新たな技術導入の流れにも対応しうる人材の確保に努めてまいりたいと考えております。【総合戦略推進室】</p>
205	<p>新型コロナウイルス感染症対策を徹底的にやってください。</p>	<p>・ご意見、ありがとうございます。現在、感染状況を見ながらではございますが、チラシの全戸配布や防災無線、防災メールの活用、広報車巡回による呼びかけなどを通して、注意喚起を行っております。今後も、市民のみなさんが安心して生活できるよう、感染予防の呼びかけを行ってまいります。【感染症対策室】</p>
206	<p>佐野市は環境も良く長く住みたい町である。若い人たちが減少していることは問題です。仕事に対して住宅、県営市営住宅の提供。資源を活かした地域産業の振興。災害に強いまちづくりをお願いします。</p>	<p>市営住宅の適正な管理に努めます。また、令和2年度佐野市営住宅条例の改正を行い入居要件の緩和を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単身入居が可能な年齢制限(60歳以上)を廃止 ・連帯保証人の数を2名から1名へ改正 ・意見申出書の期間を収入認定通知から15日以内を廃止し、年度途中でも意見申出を可能とした(所得の減額等による家賃の再計算) <p>【建築住宅課】</p>
207	<p>平屋の住民のようですが、高齢者で一人暮らしの方が多いです。5階建てに引っ越しても階段を上り下りが困難だと思います。県営住宅の方へ移動できるようにしていただければと思います。よろしく願いいたします。</p>	<p>・原則、市営住宅の低層階やエレベーター設備のある住宅をご案内させていただきます。それでもなお困難な場合は、個々の実情を踏まえた上で県営住宅への移転も可能とならないか栃木県と協議させていただきたいと考えております。【建築住宅課】</p>
208	<p>市営団地に住む者です。県営団地に直接入居できるかお願いしたいのです。検討お願いします。</p>	<p>・用途廃止等に伴うもの以外の公営住宅間の移転は原則としてできません。【建築住宅課】</p> <p>《佐野市営住宅等入居事務取扱要綱第7条より》 現に公営の住宅に入居している者からの申込みは、受け付けないものとする。ただし、次の場合は、この限りでない。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)申込みの理由が遠距離通勤であり、入居により通勤時間が30分以上短縮されるとき。 (2)同居している親族が婚姻等により別世帯を構成するに至ったとき。 (3)第9条第2項各号に掲げる事由に該当するとき。

209	<p>市政懇談会の資料を確認させていただき、市政の日ごろの諸活動が多方面にわたり実施されていることがあらためて理解できました。資料の中で若い世帯での転出が多いとのことですが、市としていろいろな対策を考えていることは理解いたしました。当町会でも若い方が人間関係がうまくいかず転出する方も少なくありません。町会としても相談等があれば助言等をしているのですが難しい状況です。今後、町民の皆様が一日でも長く町会に居住していただくよう努力していきたいと思っております。</p>	<p>・町会には、防災、防犯、環境の美化、地域の支え合い等、様々な活動をしていただいております。また、佐野市の協働のパートナーとしても重要な役割を担っていただいております。特に、町会長の皆様には、ご尽力いただいております。今後とも、町会運営及び市政運営について、ご精励、ご協力をいただきますようお願いいたします。【市民活動促進課】</p>
210	<p>コロナ感染対策として現在、当町会ではマスクの着用、消毒、手袋の着用、換気、一定の間を置く等、老人会の諸活動実施に対し徹底しております。ただ、各町会での対策内容にバラツキがあるように思われます。各町会にてできる対策は同一化できないとは思いますが可能であれば市より最低限度の対策指示をより明確化した資料を配布していただければ幸いです(特に人が集まった時の間隔について)。</p>	<p>・統一した見解としては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、3密を避ける、換気をする、マスクを着用する、手をよく洗う、必要時手指消毒をするなど、おひとりおひとりの感染予防策の徹底をしていただくことで、感染拡大が少しでも防ぐことができるものと思います。町会活動の自粛にあたっては、町会ごとの判断により変わってくるものと思われますので、各町会での話し合いにより決めていただきたいと思います。町会の活動自粛という中ではございますが、今後ともご協力をお願いいたします。【感染症対策室】</p>
211	<p>平屋と保育園がいずれ壊される事と思っております。その後は草だらけの土地になりますが町会としては外観が損なわれてしまいます。更地にした後のことをよろしく願いいたします。</p>	<p>・閉園後の取扱いにつきましては適正な維持管理に努め、施設取壊し後につきましても同様の維持管理に努めてまいります。【保育課】 ・現時点で跡地利用の予定はありません。跡地利用が図られるまでは適切な管理に努めます。【建築住宅課】</p>
212	<p>出流原PAのスマートインターが開通すると利用客が増え、弁天池周辺の観光地にも客が増加すると思っております。現在、弁天池周辺の道路は狭く、車は交互通行している状況です。大型観光バスも来ている状況なので道路を拡張してほしいと考えています。また、現在旧式のトイレが1つしかなくトイレの整備もお願いいたします。コロナ禍での市政運営お疲れ様です。今後とも宜しく申し上げます。</p>	<p>・観光客が気軽にトイレや観光案内のために立ち寄ることができる「まちの駅」が当該町会には2ヶ所あります。【観光立市推進課】 ・トイレは地元で賛成と反対があるので、特に何かする予定はございません。道路拡張につきましても予定はございません。【都市整備課】 ・現在のところ、道路拡張も予定はございません。【道路河川課】</p>
213	<p>子育て支援について、当初赤見城保育園と石塚保育園が吉水保育園と統合する計画だったが、用地や業者が見つかり、赤見地区に保育園ができることとなった。赤見地区町会長はみな喜んでおり、子育てしやすい地域にしたいと考えている。</p>	<p>・令和4年4月に赤見城・石塚・吉水保育園統合の民間新園が赤見地区の石塚町地内に開園いたします。開園後も公立保育園の保育理念を継承し運営を行う予定でございます。引き続き公立保育園同様に、赤見地区の皆さまの温かいご支援をお願いいたします。【保育課】</p>

214	北関東道の騒音、大型車両等にての音量調査	<p>・北関東高速道路における大型車両等の走行による騒音(音量)の調査でございますが、当課で所有しております「騒音測定機器」は、測定精度が低いため「参考値」であり、公の場における測定結果の証明とはならないものでございます。寺久保町会として、騒音測定をご希望される場合には、高速道路管理者であります「東日本高速道路株式会社」に直接ご相談いただき、現在の状況等につきまして説明されることがよろしいかと思っております。【環境政策課】</p>
215	<p>地域の立地上、防災無線が外に出てもなかなか聞き取りづらい。 しかし、LINEやメール等により情報収集ができて活用している。 ただ町内には、一人暮らし・高齢者の方も多く携帯電話を持っていない方もいらっしゃると思います。 下野新聞にて(小山市か栃木市)緊急時自動で情報を知らせてくれるラジオ等のようなものが記載されていました。 そのようなものがあれば安全安心の一つになるかと思っております。</p>	<p>・防災ラジオの導入についてですが、現時点では導入の予定はございません。防災行政無線の音量については、平時におきましては音量レベル2での放送を行っておりますが、災害時など緊急性の高い場合には、サイレン音の後に音量レベルを最大音量4で放送させていただきます。また、お手数をお掛けして申し訳ございませんが、聞き取りにくい場合には、放送後、フリーダイヤル(0120-002-220)にお掛けいただきますと、直前の放送内容をご確認いただけます。また、避難情報等については、防災行政無線や佐野市ホームページ、佐野市防災・気象情報メール、佐野ケーブルテレビ、とちぎテレビなど様々な方法で避難情報等の発信をしておりますので、平時よりご確認くださいませようお願いします。【危機管理課】</p>
216	<p>町会活動のデジタル化のための助成(助成金、タブレット等の貸与、アドバイザーの派遣など)をお願いします。 「基本目標」の達成には、町会の活性化が不可欠と考えられます。 田沼本町は戸数(人口)が増加している町会で、転入してくる人たちは子育て中の若い家族が多く、全体として子供から高齢者まで様々な年代の集まりとなっています。 これ自体は好ましいことですが、年代の違いや転入者と旧住民との交流が少ないのが現状です。 当町会は、デジタル化とこれに不慣れな人をサポートしていく体制を整えたいと考えております。 こういった要望書や、市から送られてくる様々な書類、市への提出物などもデジタル化し、懇談会等リモートで行うことが可能と思っております。 すぐには対応できない町会もあるでしょうが、町会役員の中にできる方を選んで頂いたり、市でサポート(PCやタブレットの貸与やアドバイザーの派遣など)するなど検討してはいかがでしょうか。</p>	<p>・タブレット等の情報端末に慣れていただくため、平成29年度及び平成30年度に町会長及び町会役員を対象としたタブレット操作研修会を開催しました。令和元年度及び令和2年度は、台風及び新型コロナウイルスの影響により開催できませんでした。コロナ禍では、様々な場面において、デジタル化が推進されつつあります。町会活動におけるデジタル化は、佐野市町会長連合会、町会、佐野市が共に検討していく課題であると考えております。【市民活動促進課】</p>

217	<p>人口減少、少子化対策について (イ) 移住促進を図る(佐野ら一めん予備校)施策、(ロ) 不妊治療に対する保険適用(国や各自治体)等の施策も必要性を感じるが、(イ)は限られたパイを各自治体で争うだけ、(ロ)はできるかもわからないのに多額の税金を使うことになる。それより、授かった生命をいかに大切に生むかが大事だと思う。 現在、正確なデータはないが、人工妊娠中絶件数は全国で18~20万件と言われている。いろいろな理由によって申請するのだろうが、仮に全員生まれれば特殊出生率も1.36→1.67人に上昇する。せつかく授かった生命を大切に安心して生める環境を作ることが最も人口減少等を解決する方法といえるのではないか。</p>	<p>・佐野市では、子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期から出産、子育て期の切れ目のない支援体制の充実に努めております。妊娠された方が、安心して子どもを産み、育てられる社会環境を整えることが重要であると考えます。</p>
218	<p>高齢者福祉タクシー券について、医療機関へ通院する際に使用できるが、用途を限定するのではなく、買い物等へ出かける際にも使用できるようにしてほしい。</p>	<p>・令和3年度より、用途を通院以外に商業施設(買い物)、公共施設又は金融機関への利用も対象とするよう見直しを検討してまいりたいと考えております。また、利用回数の制限解除、タクシー券でなく後期高齢者医療被保険者証の提示など利用方法についても、見直しを検討してまいりたいと考えております。【いきいき高齢課】</p>
219	<p>高齢者の免許返納後のアフターケアを要望する。例えば、免許返納後は生活路線バス等の無料パスを配布するなどをしてほしい。</p>	<p>・令和元年度の市営バスの収支率(運行経費に対する運賃収入の割合)は19.84%であり、今後持続可能なバス運行や公共交通空白地域の解消などを行う上でも、収入確保は重要な課題として捉えており、無料パスの配付は収入確保にも大きな影響が生じると考えます。こうしたことから、早急な対応は困難ではありますが、高齢者の交通事故も増加していることから、免許返納を促す取組も検討する必要があると考えております。【市民生活課】</p>
220	<p>市有施設の適正配置については、その施設の設置経緯を十分精査し、ただ単にコスト削減だけではなく、地元住民の意向も考慮し実施していただきたい。</p>	<p>・市有施設適正配置計画を推進するに当たっては、施設の設置経緯、地区の実情、類似施設の設置状況などを踏まえながら、地区の皆様との懇談などをおした意見交換を行い、地区の皆様の合意を得ながら進めてまいります。【行政経営課】</p>
221	<p>秋山川は川底がかなり高く、何十年もの間、土砂の浚渫をしていないため、令和元年東日本台風の時のような被害が出ないか心配だ。</p>	<p>・栃木県の管轄となります。本市としては、可能な範囲で事業に協力させていただきます。【道路河川課】</p>

222	<p>吉水駅前の南北の道路において、昔は側道は田畑が多く、雨水を吸収していたが、近年はアスファルトがほとんどとなってしまったため、雨水を吸収できず道路が水没してしまっている状態が3、4年続いている。市の担当者から雨水を逃がす方法として秋山川に流す水路をつくる提案があったため、ぜひ進めてほしい。</p>	<p>・令和2年度から秋山川へ流す水路の詳細設計に着手しました。県(河川管理者)や関係部署との協議を進め、一日でも早く水路が完成できるよう進めていきます。【下水道課・道路河川課】</p>
223	<p>秋山川の河川敷の公園やサッカー場は、水害があると土を入れ替えないといけなくなる。これから大型の台風被害があると毎回修復しなくてはならないため、根本的な改修が必要だ。</p>	<p>・今後頻繁に被災を受けるようになった場合は、今後の河川緑地の在り方を含めて整備内容の検討が必要になると考えます。【都市整備課】</p>
224	<p>40年前に区画整理を実施し、梅林を安く払い下げるなどしたおかげもあり、近年においても新たな家が7件建った。人口減少に歯止めがかからない中、同地区では人口が増えているように感じる。さらに人口増を促進させるため、空き家の取り壊しに、市から2分の1の補助金を出してほしい。また、良い場所には区画整理を実施して小さな街をつくることで、他県から人を呼びこめるような環境をつくってほしい。</p>	<p>・区画整理事業は、まちづくりの代表的事業手法として実施されてまいりました。しかし、近年の人口や経済の規模縮小に伴う土地需要の低下という都市縮減社会の動向を踏まえ、新規で、区画整理手法を取り入れたまちづくりのハードルは非常に高いものとなっております。その代わりに、国では今後の市街地のあり方や市街地整備手法の転換などについて様々な議論がなされています。近年の災害やコロナ禍により財政状況が厳しい情勢ではありますが、本市としましても、そういった動向を注視しつつ、まちづくりに関する様々な制度を活用し、時代や地域のニーズに合ったまちづくりをできる限り推進していきたいと考えております。【都市計画課】</p> <p>・特定空家等を解体する場合には解体費用の1/2、最大で50万円までの補助制度を行っております。【空き家対策室】</p>
225	<p>観光立市について 自然豊かな佐野市。多くのハイカーが県外から訪れています。 多田地区にある諏訪岳(栃木100名山)山腹に太陽光発電工事が進められていますが、自然の景観が台無しです。また、自然災害を助長しないでしょうか。自然の景観を壊すような開発を規制する法整備を望みます。自然を壊すのは簡単です。</p>	<p>・多田地区の太陽光につきましては、平成30年6月より工事を着工されている私有地となります。栃木県からの林地開発の許可を受けており、また、大規模面積での事業になることから栃木県と土地利用についての事前協議も行っております。また、管理や運営、環境や景観の保護についても本市の関係各課と協定を結んでおりますので、災害防止等に必要な対策を講じた上で事業をされていると考えております。佐野市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和条例に基づき、発電事業により、自然環境を損ない、又は災害若しくは市民の生活環境への被害が発生する事態が生ずるような状態となる場合は、当該発電事業を行う土地及び当該再生可能エネルギー発電設備を適正に管理するよう求めてまいりたいと考えております。【環境政策課】</p> <p>・大規模な伐採を伴う林地開発の許可については、栃木県の所管となっております。【農山村振興課】</p>

226	<p>秋山川流域に位置する町会として 昨年台風19号では、栃本地域の秋山川でも 越水寸前の光景を目の辺りにしました。避難場 所を変えなければならないという経験もしまし した。 河川が雑木林化している箇所が多く点在して いる。 立木の伐採は過去に行われているが、数年で 元の状態に戻ってしまう。堆積土砂等の治水 対策は重要であると考えます。 市、県、国が連携し対策を推進していただき たい。</p>	<p>・栃木県の管轄となります。本市としては、可能な範囲 で事業に協力させていただきます。【道路河川課】</p>
227	<p>ハザードマップの改定を積極的に取り組んで いただき、市民に知らせてほしい。</p>	<p>・ハザードマップについては、国、県からの情報を基に 改訂し、令和2年7月に広報さのと同時に全戸配布さ せていただきました。今後もハザードマップについ ては、最新の情報となるよう努めてまいります。【危機管 理課】</p>
228	<p>災害発生時は住民にできるだけ早く情報を伝 えてほしい。</p>	<p>・本市においては、SNS(Twitter、LINEなど)を活 用し、災害や感染症などの情報発信を積極的に行うよ う努めているところでございます。【都市ブランド推進 課】 ・避難情報等については、防災行政無線や佐野市 ホームページ、佐野市防災・気象情報メール、佐野 ケーブルテレビ、とちぎテレビなど様々な方法で避難 情報等の発信をしておりますので、平時よりご確認く ださいようお願いいたします。【危機管理課】</p>
229	<p>安蘇川橋の崩落によって、生活に支障を来し ているため、早期の竣工をお願いしたい。</p>	<p>・栃木県の管轄となります。照会したところ、本年度中 には、供用開始になることが確認できました。【道路河 川課】</p>
230	<p>合併後、市の南部は発展しているように思える が、田沼地区・葛生地区は以前と変わらないよ うに感じる。市全体のグランドデザインを示し、 特に中山間地域の魅力をどう発信していくの か、市としての位置づけと展望を示していくこ とが重要だ。</p>	<p>・本市では、総合計画や土地利用計画などに基づき、 地域ごとの特色を活かしたまちづくりを進めています。 中山間地域における魅力の発信につきましては、様々 な方法、また、あらゆる機会を捉えて行ってきました が、今後も効果的な情報発信や誘客の方策を検討 し、実施していきたいと考えています。【政策調整課】</p>
231	<p>若者が地域に定着するには、仕事、住居等の 要素が重要であると思います。仕事(会社)に関 しては増加しつつあるが、居住面では自由度 がない。生家から独立して暮らしたいとの希望 がかなえられにくい。</p>	<p>・今後も、企業誘致などによる仕事の創出、若者の移 住・定住に向けた施策の実施などに取り組み、本市の 発展につなげていきたいと考えています。【政策調整 課】</p>

232	コンパクトシティ構想説明会や資料から受ける印象が合理的な場所に集中させようとしている誤解をもつ意見が見受けられた。住民は今いる所にいたいものと思います。安心して生涯を過ごすにはジャストオンタイムな移動手段、双方向通信手段の充実でよいのではないのでしょうか。	・コンパクトシティ構想に基づく「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを進めるにあたり、住み慣れた地域での暮らしを支えるための生活支援機能や交通手段の確保などについて検討していきたいと考えています。【政策調整課】
233	野上～三好間の9町会が流域となる旗川そして支流、2019年台風において河床が浅くなっています。今後の越水が必至(ゲリラ豪雨時)と考えます。対策をお願いします。	・栃木県の管轄となります。本市としては、可能な範囲で事業に協力させていただきます。【道路河川課】
234	通行止めとなっている作原沢入線が通行止めとなってから2年くらい経つでしょうか。30～40年もかかって開通した道路がわずか数ヶ月で通行止めになり、2年が経過しております。最近予算がついた、ネットを張って工事するらしい等の噂も聞きますが、現在の状況と今後のスケジュールをお聞きしたい。	・林道の対策工事として令和3年3月末の通行止め解除に向けて、横断排水溝改良工事を発注しましたが、入札不調により解除時期が3か月程度遅れる見込みです。通行止めの早期解除に向けて事業を推進してまいります。また、土砂流出等を抜本的に防止するためには、林道上部の林地崩壊箇所での治山工事が必要であることから、治山工事の実施を栃木県に対して要望を行っております。令和2年度においては、現地調査を実施したとのことです。【農山村振興課】
235	台風19号で流出した「渡戸橋」の復旧工事が今年10月ごろ着工予定であったが、業者が決定に至らず工事が遅延したとのこと。町内にて非常に不便をしているので早急の着工をお願いしたい。	・渡戸橋の復旧については、建設業界の技術者が不足しているため、決定に至らない状況です。令和3年度の予算で対応します。【道路河川課】
236	旧三好小学校跡地について「小さな拠点づくり」という方向性が出されました。公共的な施設として地域と共に利用できるように積極的にリードして対策していただきたい。また、立木等がウソウとしてきているので撤去も含めて検討していただきたい。	・「小さな拠点」づくりを進める際は、地域の課題や将来などについて、地域の皆様とともに話し合いや検討を行っていきたいと考えています。【政策調整課】 ・立木等につきましては現在撤去の実施予定はございませんが、今後の施設維持管理の中で、検討してまいります。【財産活用課】
237	中山間地域では耕作放棄地が増え、害獣の住処と化しています。これを有効利用するための方策を検討していただきたい。	・野生鳥獣の生息区域の拡大は市内、県内ばかりでない広域的な中山間地域での課題と判断されます。野生鳥獣による被害拡大が農村地域の活力低下につながるよう、関係機関、団体と連携しながら、鳥獣害対策による農作物の被害軽減等を効果的に実施できるよう努めてまいります。また、青パパイヤなどの鳥獣害に強い農作物の推進を図っていきたいと考えております。そして、豊かな自然環境における農業生産活動や地域資源が価値あるものと評価される社会の実現を目指してまいります。【農政課】

238	<p>本市には業界を代表するような優秀な企業がたくさんあります。学生、生徒さんが将来は佐野に戻ってこの会社で働きたいと思えるような企業と学生・生徒とのマッチングの機会をぜひ創出していただきたい。</p>	<p>・本市では毎年、佐野地区雇用協会を通じて求人情報誌を作成し、市内の大学・高校に加え、北関東の主要な大学や県内の高校等にも配布し、市内の魅力ある企業について情報発信してきました。また、ハローワーク佐野と合同就職面接会を開催し、市内企業と市内での就労希望者とのマッチングの機会を設けてきました。今後につきましては、地域の魅力ある雇用とそれを担う人材の確保に向け、市内の経済支援機関で構成するネットワークを組織化し、地域雇用の活性化が期待できる各種事業を展開していきたいと考えております。【産業立市推進課】</p>
239	<p>地域コミュニティについて 私たちの地域では、老人世帯が年を追うごとに増えるとともに、死亡や施設入所等により空き家や町会の世帯数が減少してきており、このままでは近い将来地域コミュニティを維持できなくなり、限界集落化が避けられないと思われる。</p>	<p>・少子高齢化や人口減少が進んでおり、地域コミュニティの維持は、長谷場町会だけの課題ではなく、全市的な課題であり、町会、佐野市町会長連合会、佐野市が共に検討していく課題であると考えております。【市民活動促進課】</p>
240	<p>耕作放棄地の増加について 私たちの山間地域では、農地の形状の悪さに加え面積も狭く効率的な農作業が困難な上、担い手の高齢化が年々進み、管理できない農地の増加で耕作放棄地には歯止めがかからない状況である。防災や環境保全の面からも何らかの対策が必要。</p>	<p>・野生鳥獣による被害拡大が農村地域の活力低下につながらないよう、関係機関、団体と連携しながら、鳥獣害対策による農作物の被害軽減等を効果的に実施できるよう努めてまいります。また、農業者と地域が協力した畦畔や水路などの保全活動に対する多面的機能支払制度は耕作放棄地の拡大抑制ばかりでなく、防災や環境保全など農業、農村の持つ多面的機能の維持・発揮にも有効であると期待されますので、当事業の推進を図っていききたいと考えております。この他、個々の農業経営や農地の管理に対する将来的不安への対策としては、地域での合意形成のもとに農業経営を行う集落営農といったものもごございますのでご検討ください。【農政課】</p>
241	<p>市政懇談会の資料は、現状を把握して課題を洗い出し、その対策としての4つの基本目標を掲げており、大変よくできていると感じました。防災行政無線の効果的活用について、音声は出ているが、放送内容までは聞き取れない現状であるので、何か良い方法はないものか。</p>	<p>・住宅環境や社会環境等の変化により、聞こえない、聞き取りにくいなどのご指摘もごございます。お昼のチャイムや夕方の音楽等がおかしい場合は、場所等をお知らせいただければ調査いたしますが、ご希望に添えない場合もごございます。お手数でも防災行政無線の放送内容が確認できるフリーダイヤル0120-002-220にてご確認願います。また、災害時においては、佐野市ホームページや佐野市防災・気象情報メール、佐野ケーブルテレビ、とちぎテレビなど様々な方法で避難情報等の発信をしておりますので、平時よりご確認くださいますようお願いいたします。【危機管理課】</p>
242	<p>スクールバスの運行が開始され(市道215号線はダンプが多いので)児童生徒の安全が確保でき、保護者がとても喜んでいきます。</p>	<p>・今後も安全運転に努めるよう運行会社と協議してまいります。【学校管理課】</p>
243	<p>台風後、主要道路河川の復旧工事を速やかに行って頂きました。</p>	<p>・今後も、予算の範囲内で、順次、対応してまいります。【道路河川課】</p>

244	<p>小さな拠点作りとして、新合保育園跡地の活用が計画されたことが有り難いです。</p>	<p>・「小さな拠点」づくりについては、地域の皆様とともに話し合いを行い、取組を進めていきたいと考えています。【政策調整課】</p>
245	<p>コロナに関して、特定校を公表することは、感染防止に良いことだと思います。</p>	<p>・ご意見ありがとうございます。今後も、感染拡大防止策を講じてまいりますので、ご協力お願いいたします。【感染症対策室】 ・ご理解いただきありがとうございます。佐野市教育委員会では、新型コロナウイルス感染症に関するうわさやデマによる風評被害、人権侵害を防ぐため、学校名までの公表を行っております。ただし、あくまでも本人やご家族の同意が得られた場合に限っての公表となっております。【学校教育課】</p>
246	<p>行政経営に人権の視点を 佐野は人権を大切にする街と宣言していますが、市政運営(政策等決定の進め方)に関しては、市民の思いを大切にしているのか、疑問を感じる点もあります。 ・市有施設適正配置計画の進め方について市の方針で計画を作るのは必要と思いますが、調査は外部委託中心で、Aランクは変更無しと一方的に決めてしまうことには本当に驚きました。 後に頂いた建物評価の詳細資料を確認すると、中山間地域において一律200世帯以下、500人以下の施設は、全てAランクです。この考え方、進め方から中山間地域住民の生活実態に配慮した決定とは思えませんでした。</p>	<p>・市有施設適正配置計画の策定に当たり、基本的な考え方や取組方法などについて専門的な立場からそのノウハウを活用するため、大手コンサルタントに業務委託を行いました。しかしながら、個々の施設の方向性評価に当たっては、施設所管課と計画主管課で施設の状態、利用率、将来需要などについて幾度となく協議を行い、総合的に判断した結果として市の考える取組の方向性をお示したものです。そのため、特にAグループ(廃止・譲渡)の方向性については、計画に定めた取組の目標までの期間を使って、市がお示した評価結果について、地区の皆様との話し合いを十分に行ってまいりたいと考えております。なお、施設評価に当たっては、当該地区の人口や世帯数、中山間地域などの地理的条件を一律に意思決定に反映しているということではなく、あくまで評価基準に基づいた結果として、詳細資料にあるような状況となったものです。市としましても、梅園町をはじめとする中山間地域の多くが人口減少が激しく、地域として譲渡された施設を維持管理していくことに課題が多いことは理解しております。今後も地域の皆様の思いに寄り添い、市のアイデアなどもお示ししながら、不安や疑問を一つひとつ解決して行きたいと考えておりますので、今後ともご理解ご協力をお願いいたします。【行政経営課】</p>
247	<p>・農政協力員の廃止について 突然、文書が届き、廃止を伝えられ、驚きました。どんな理由があったにせよ、紙1枚で町会役員の人事的内容を決定してしまう市の行政経営姿勢に対して、担当者はどんな思いを抱いたのでしょうか？これでは、後味が悪く、今後、市に協力しようという思いは減少するでしょう。役員を大切にする人権的な配慮が感じられません。せめて事前に何らかの方法はなかったのでしょうか？</p>	<p>・農政協力員制度につきましては、毎年町会をはじめ、農業者の皆様にご協力をいただいておりますが、個人情報保護の関係で農家一覧の作成が難しくなっていることや、農業者の減少により地域農家世帯の把握が困難になってきている地区が散見されるなどの理由から、制度の十分な活用が見込めない状況となったと判断したため令和2年度より農政協力員制度を廃止いたしました。ご指摘いただきましたように町会の皆様に対して事前にご理解いただくべきところ、令和元年東日本台風での緊急対応、復旧支援に忙殺されるなど、通常業務が円滑に処理できないなかで年度末に突如通知を差し上げることになったこと、深くお詫び申し上げます。今後は対応方法を改め、事前の周知を図るなどしてまいりますので、本件につきましてはご理解いただきますようお願い申し上げます。【農政課】</p>

248	<p>・公民館事業の主催事業の講師謝礼の減額について 生涯学習の街と宣言されていますが、1事業の謝礼を3万円から5千円にと大幅に減額され、担当者は、主催事業の講師依頼に困難を極めております。市民のささやかな楽しみや潤いが減り、佐野の文化の衰退が懸念されます。</p>	<p>・「各地区公民館市民教養講座開催要項」にて講師謝礼は1回につき5,000円と定められていますが、各地区公民館での、講座の講師依頼をするにあたり、大変苦慮している状況もあり、今後改善を検討できたらと考えております。限られた予算の中でも市民教養講座の内容の充実に努めてまいりたいと考えております。【生涯学習課】</p>
249	<p>・学校配当予算の減額について 以前の話になりますが、前年度と比較し、急に60%程度減額になった年度がありました。何の説明もありませんでした。当時、学校に勤務していた私は、子供たちのことを考え大変困りました。本市は、教育にかける予算が、県内でも低いと聞いております。本市の未来を担う子供たちのためにも学校現場の意見を聞き、十分に配慮して頂けると有り難いと思います。</p>	<p>・近年、学校配当予算におきましては対前年比で大幅に削減することなく予算を配当しております。現在、市の財政もたいへん厳しい状況となっておりますが、今後も学校運営に支障をきたすことのないよう予算確保に努めてまいります。【学校管理課】</p>
250	<p>予算充当は市民の安全安心を最優先に、そして公平に ・クリケット事業 現在、市の財政は、災害復旧やコロナ対策等で厳しいと聞いております。しかし、未だ未復旧の箇所も多くあります。なのになぜ、この時期にクリケットのチャレンジハウスを2千万円も費やし建設したのでしょうか？今後の維持運営費はどの程度必要でしょうか？多くの市民は疑問を感じていると思います。まして、市が中心となり、コロナ対策で三密回避を呼びかけている最中です。昨年度の復興宣言は、単なるセレモニーだったのでしょくか？市民の安全安心を守るための予算充当が最優先と考えます。十分にご一考頂きたいと思います。</p>	<p>・単に競技スポーツとしてクリケットの振興を図るものではなく、クリケットをきっかけとして、国内外から大勢の人が本市を訪れる集客波及効果により、飲食や宿泊をはじめ本市の地域経済に良い影響をもたらす、地域に賑わいをもたらすことを目的にしております。しかしながら、ご指摘のとおり、コロナ禍により市民活動そのものが自粛を求められている状況下において、チャレンジハウスでも十分な感染対策をとり、営業時間を短縮するなどの対応をとっております。国の補助金を活用した事業展開は今年度で終了するため、現在のクリケットハウスは一旦撤去となります。来年度以降は大幅に予算が縮小されますので、これまでの経過を踏まえ地域経済の活性化に有効な事業を絞り込んで実施したいと考えております。【スポーツ立市推進課】</p>
251	<p>・あその学園義務教育学校スクールバス車庫 市の委託業者であるバス会社が、使用車庫は、個人の土地を契約したと聞いております。しかし、委託料を支払うのは市かと思ひます。ならば、何故、民間の土地を借用したのでしょうか？今後、半永久的に借地料を支払うと多くの予算が費やされます。市有地ならば無料です。場所は交通量が多く見通しも悪く、安全面でも不安です。近隣の多くの住民は、何故ここに？と疑問を感じています。</p>	<p>・駐車場の確保に関し、学区内に使用していない市有地がありましたので入札に参加した事業者に対しては情報提供を行いました。駐車場の確保は事業者の責務であり、駐車場用地の選定は事業者が行いました。現在の運行会社との委託契約は令和8年度までとなっておりますので、これ以降につきましては、再度業者の選定を行うこととなります。運行会社が変われば、駐車場も変わる可能性があります。運行に関しては、くれぐれも安全運転に注意するよう事業者には伝えてあります。【学校管理課】</p>

252	<p>・市役所の対応について 電話の対応については、課、係、氏名を明確に伝えて下さい。</p>	<p>・職員の電話対応につきましては、電話対応マニュアルや接遇研修の中で所属と名前を名乗ることを教育していますが、改めて職員に対して指導を行い、誠実に対応できる職員の育成に努めたいと思います。【人事課】</p>
253	<p>市民への対応は、明るく丁寧に分かり易くお願いします。</p>	<p>・日頃から「市民志向」の姿勢を持って、市民に対して好感の持てる態度や言葉遣いで誠実に対応し、市民が何を望んでいるか汲み取る能力や、市民の立場になって考え、積極的に行動できる能力の育成に努めたいと思います。【人事課】</p>
254	<p>町会からの依頼や問合せの返答は可能な限り早めをお願いします。決裁のシステムや縦割りにも問題があるかと思いますが、できることから改善し、早めをお願いします。住民から経過や結果の問合せに困る時があります。 ※ほとんどの方は一生懸命に取り組んでいると思われませんが、時々、返答がないので催促の電話をすると、全く何も対応していない、依頼した内容を忘れていた、等あります。町会役員としても愕然とし意欲を無くします。市民の為、責任感をもち真剣に職務を遂行しているとは到底感じられない雰囲気でした。これではいつになっても町会の課題は解決しません。電話が億劫になったこともありました。</p>	<p>・佐野市職員として、「市民の立場に立って考える事ができる職員」や「高い使命感を持ち、市民から信頼される職員」が求められていると考えています。市民に対して誠実に対応し、業務に対して迅速かつ柔軟に対応していく判断力をもって対応できる職員の育成に努めたいと思います。【人事課】</p>
255	<p>町会との話し合いは、事前に資料を送付し、事後は、議事録を送付して下さい。最近、このような方法で行って頂くことが多くなり、本当に有り難いです。</p>	<p>・町会と市の情報共有は、重要であると考えております。必要な情報の要望等があれば、可能な範囲で、対応したいと考えております。【市民活動促進課】</p>
256	<p>町会への入金(補助金等も含め)の時期を可能な限り早めて下さい。年度早々から事業が開始し、物品の購入が必要な場合があります。このため、立て替えておくこともあります。また、決裁に年度をまたぐ事業もあります。</p>	<p>・町会運営交付金につきましては、可能な限り早く交付するよう努めておりますが、全167町会を取りまとめ、事務処理をしておりますので、ご理解をお願いいたします。【市民活動促進課】</p>
257	<p>文書の作成について ・文字の大きさは、12ポイント程度にして頂けるとありがたいです。 ・文言は、難しい漢字や行政の専門用語は使用せず、易しくして下さい。 ・市民に分かり易く伝えるためにという視点で、十分に工夫をお願いします。高齢者が多く視力が弱く、理解力のある方ばかりではありません。小学4年生程度でも理解できる内容でないと伝わらないと思います。 ※市から伝えたいことが伝わらなければ、住民は大変困ります。頂いた文書では理解ができなくて考え、再作成したことが数回あります。</p>	<p>・市からの文書は、その内容が相手に伝わらなければ意味を成しませんので、ご意見のように読みやすい文字の大きさであるか、レイアウトとなっているか、難しい言葉となっていないか、伝わりやすい文書となっているか、こういったことに留意して相手に伝わる文書を作成するよう周知したいと思います。【行政経営課】</p>

258	<p>提出文書は、簡単に作成でき、提出できるようにお願いします。徐々に改善されていると思いますが、簡略化できるものはお願いします。(年度当初の提出文書、補助事業の書類等)以上、辛口な点や思い違いの点につきましてはお許し下さい。市民の幸せや町会役員の負担軽減の為に、できることから始めて頂けると有り難いです。宜しくお願い致します。</p>	<p>・町会への交付金につきましては、公金からの支出のため、市の補助金等交付規則にのっとり、事務処理をさせていただいており、現在の書類は、必要不可欠なものとなっております。ご理解をお願いいたします。 【市民活動促進課】</p>
259	<p>中山間地においては、シカ、イノシシ、サル、クマなどの農林業被害が多発し、生活環境に大きな影響を及ぼしている現状です。個体数の減少対策を要望します。</p>	<p>・クマ出没の背景には、森林等の生息環境の変化や中山間地域の社会環境の変化があり、直接の要因として堅果類の凶作が作用していると考えております。里山の森林環境の改善、中山間地域の活性化対策が不可欠であると考えます。また、イノシシ、シカ、サル等の野生獣についても、捕獲による個体群の管理を強化してまいります。捕獲だけでは被害軽減に繋がらないことから、防除による被害地管理、環境整備による生息地管理、を総合的にバランスよく実施していくことが重要であると考えております。【農山村振興課】</p>
260	<p>佐野市市有施設適正配置計画について市の将来を担う次世代の負担とならないよう適正に取り組んで欲しい。(新合支所A、新合診療所B、ふれあい館梅の里A等) 市有施設適正配置計画について、新合支所、新合診療所、ふれあい館梅の里はなくなるのか。地元住民の不安は大きい。飛駒や野上の施設は残るのに、新合の施設は廃止や譲渡という方針は、なぜなのか。納得いくよう、理由を明示してほしい。</p>	<p>・ご指摘のとおり、市の将来を担う次世代の負担とならないよう、市有施設適正配置計画の取組を進めてまいります。新合地区は、新合支所、新合診療所、ふれあい館梅の里などの取組対象施設があるため、地区説明会、地区懇談会、町会懇談会などの開催をとおして、この計画の取組や施設評価理由などについて意見交換を行ってまいりました。今後も地区の皆様との意見交換を継続し、不安や疑問を一つ一つ解決しながら着実に進めてまいりたいと考えておりますので、今後ご理解ご協力をお願いいたします。【行政経営課】</p>
261	<p>閉校小学校の地域活用および施設管理について あその学園の10月第4日曜日を「地域に児童生徒を返す日」の設定による地域活動時に外トイレ、外体育器具庫等の鍵の管理を町会に委ねて欲しい。(高齢者等の校庭使用時等も含めて) 閉校となった小学校跡について、鍵の管理が不便極まりない。体育館の鍵だけでなく、外トイレや外体育器具庫等の鍵も町会に委ねてほしい。教育委員会まで借りに行くのは大変だ。</p>	<p>・体育館以外(外トイレや外体育器具庫等)の鍵の管理につきましては、今後該当する鍵の常時貸出しを行い、地域の皆様が利用する際に不便が生じないようにしていきます。【財産活用課】 ・旧戸奈良小学校を除き、閉校となった小学校につきましては、令和3年度に総合政策部財産活用課に移管する見込みとなっております。事務引継ぎの中で要望のあった旨は引継ぎをしてまいります。【学校管理課】</p>

262	<p>閉校小学校の地域活用および施設管理について 現在教育委員会管理課で管理(除草剤散布、遊具施設管理、校舎等の見守り等)している作業内容を町会としても協力したい。 閉校跡の管理について、現在は教育委員会だが、4月からは財産活用課で行うと聞いた。財産活用課で6つの小学校の見回りや管理をできるのか。例えば、除草剤は市で購入し、散布は町会が行うなど、協力する用意があるので依頼をしてほしい。</p>	<p>・ご提案いただいた除草作業等の維持管理につきましては、町会の皆様のご協力が得られるということであれば、具体的な作業内容や維持管理方法等について、今後協議させていただきます。【財産活用課】 ・ご厚意には感謝いたします。令和3年度からは財産活用課の所管となる見込みでございますので、申し出のあることを所管課にはその旨、引継ぎの中でお伝えいたしたいと思っております。【学校管理課】</p>
263	<p>令和元年東日本台風被害に於いて、当町会では山からの土砂流入による水路の埋没で水が氾濫し、付近の家屋や道路に流入した。町会、消防団をはじめ近所の人たちが集まり、応急処置を行った。その後、市の要請を受けた土木業者が整備し、現在は元通りになり、生活に支障はなくなったが、今後も起こらないことでは無い為、危険個所の整備等をお願いしたい。</p>	<p>・森林の管理については、所有者により適切な管理をしていただくこととなります。なお、山地災害箇所については、市から報告するなどして、栃木県と情報共有を図っております。治山事業の実施個所の選定や時期については県で検討することとなります。【農山村振興課】</p>
264	<p>基本目標4(時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る)の内、中山間地域における小さな拠点づくりに取り組む要望。 先に各町会長に明示された、学校跡地の個別活用方針によると、当地における旧飛駒小学校については民間業者への売却等により有効活用を図るとの事ですが、民間活力導入の意義と方法の括りの中に於いて、跡地活用事業者選定に際し下記要望書に謳われた事項の反映を飛駒町会では要望します。 提出日:令和元年10月7日 提出先:財産活用課 書類名:飛駒小学校跡地の利活用に関する要望書 上記との関連ですが、当地に於いては既に3町会を中心に民間業者との会合等が開かれております。年々増加の一途をたどる耕作放棄地や管理の難しい山林などとは違い、146年もの間、地域のシンボリック的存在でありました学校跡地にかかわる事象です。 こと学校跡地に関しましてゴールが見える所迄は、いかに小さな協議であろうとも行政側の仲立ち等をお願い致します。また、それこそが要望書を提出したにもかかわらず、小さな拠点づくりの選定外となった地域への行政サービスと思います。 当飛駒地区も生き残れる中山間地域(消滅しない農山村)を目指し邁進しております。</p>	<p>・住み慣れた地域での暮らしが継続できるよう、学校跡地の活用や「小さな拠点」づくりについて、地域の皆様との話し合いや検討などを行っていきたくと考えています。【政策調整課】 ・旧飛駒小学校につきましては、「あそ野学園義務教育学校及び葛生義務教育学校の開校に伴う学校跡地の個別活用方針」に基づき、民間等施設として有効活用を図っていきます。今後事業者を選定する際には、地域からの要望を踏まえながら、地域利用を取り入れた民間等施設としての活用を具体的に検討してまいりたいと考えております。【財産活用課】</p>
265	<p>昨年の台風19号被害を契機に葛生地区防災計画を策定したいので更なる技術援助と指導を要望します。</p>	<p>・葛生地区防災計画については、本市としても初めての試みとなり、他地区の参考となるよう栃木県と共に積極的に支援してまいります。【危機管理課】</p>

266	当町会の公民館は築56年が経過し、老朽化が著しいので、葛生小学校廃校後は一部の施設については公民館等として利用できるよう要望します。	・葛生小学校につきましては、「あそ野学園義務教育学校及び葛生義務教育学校の開校に伴う学校跡地の個別活用方針」により、民間等施設としての有効活用を図っていきますが、事業者募集の際には、地域利用の要望が反映されるような募集を検討してまいります。 【財産活用課】
267	昨年の台風19号により落橋した市道槐原大沢森線にかかる才神橋の一日も早い橋の復旧を要望します。	・才神橋の復旧は、令和2年9月に地元町会の要望を受けて、令和3年度の予算で対応します。 【道路河川課】
268	新型コロナウイルス感染症対策は緩めることなく、注意、勧告を続けてほしい。	・ご意見ありがとうございます。今後も、感染拡大防止策を講じてまいりますので、ご協力お願いいたします。 【感染症対策室】
269	秋山川河川敷内の樹木、河原に堆積した砂利、砂の定期的な除去、特に大雨後は調査して除去すべき所は早急に除去していただきたい。越水箇所の防止対策をしてほしい。	・栃木県管轄となります。本市としては、可能な範囲で事業に協力させていただきます。 【道路河川課】
270	今後小中学校が廃校になり、災害時の避難所として有効利用をお願いしたい。緊急時のヘリポートとして整備をしてはどうですか。	・現在、市の指定避難所に指定されている施設については、今後も避難場所としての機能を有する施設として利用することになっております。また、現在、飛行場外離着陸場については、各小中学校などが指定されており、廃校後についても飛行場外離着陸場として使用可能であれば指定する予定でございますが、ヘリポートとしての整備の予定はございません。 【危機管理課】
271	防災スピーカーは大雨や風の強い日には聞こえません。このような時こそ正確な情報が必要ですので、各戸に防災ラジオが有ったら良いのではないかと思います。非常事態の時は自動的に電源が入り情報が流されると聞いております。ある自治体では、一部負担して全戸に配布しているところもあるそうですが、こんな提案はどうでしょうか。	・防災ラジオの導入についてですが、現時点では導入の予定はございません。防災行政無線ですが、住宅環境や社会環境等の変化により、聞こえない、聞き取りにくいなどのご指摘もございます。お手数でも防災行政無線の放送内容が確認できるフリーダイヤル0120-002-220にてご確認願います。また、災害時においては、佐野市ホームページや佐野市防災・気象情報メール、佐野ケーブルテレビ、とちぎテレビなど様々な方法で避難情報等の発信をしておりますので、平時よりご確認くださいようお願いします。 【危機管理課】

272	<p>市内にある国道、県道、市道など管轄の違う道路がありますが、最近気になるのがセンターラインはまあまあ判別できますが、片道2車線の分離ラインや右折ラインなどのラインが薄くなっているところや完全に消えてるところが結構あります。慣れた道でも雨の夜などでは、どこを走っているか分からなくなることがあります。やはり予算の関係ですぐにできないのでしょうか。市では道路のパトロールをしていると聞いていますが、ラインなどの点検はどうなっているのでしょうか。市道以外でも判ったら国や県に報告してどう直すのか聞いて頂きたいと思います。事故防止の為に道路管理をしっかりやって頂きたいと思います。</p>	<p>・市道のライン(区画線)の点検は、パトロール等で確認しておりますが、把握できない場合がありますので、具体的な要望箇所があれば、予算の範囲内で対応します。【道路河川課】</p>
273	<p>令和2年11月8日、現在の佐野市における新型コロナの感染者は93名で宇都宮市に次いで、多い市になっています。感染が拡大すれば例年、行われている行事が中止・規模縮小となります。新型コロナの感染拡大阻止に万全の対策を講じて下さい。</p>	<p>・ご意見ありがとうございます。今後も、感染拡大防止策を講じてまいりますので、ご協力お願いいたします。【感染症対策室】</p>
274	<p>昨年は、台風19号による、大雨により河川の堤防の決壊、越水及び溢水により県内の多くの市町に於いて甚大な被害が発生しました。当町会においても町会内を流れる一級河川(小曾戸川)が溢れて床上浸水5世帯、床下浸水8世帯及び護岸の破損等の被害が発生しました。今後も、更なる大きな災害の発生が予想されますので、河川を管理している栃木県に対して、治水の徹底を要望下さるようお願いします。</p>	<p>・栃木県の事業に対しましては、可能な範囲で、協力してまいります。【道路河川課】</p>
275	<p>「避難所・避難経路の見直し」について 水害時の避難場所について、市有施設にこだわらず、安全な所を設定して欲しいと思います。そのためには、民間施設の避難場所としての使用許諾が必要なので難しいところもあるかと思いますが、よろしくをお願いします。</p>	<p>・避難所の見直しについては、令和元年東日本台風後の各地区毎の意見交換会を開催し、最終的には現在の55か所に新たに3か所を加えた58か所としたところです。民間施設を避難場所にということですが、令和元年東日本台風を教訓にし、屋上・立体駐車場の使用に関する災害協定を佐野プレミアム・アウトレット様やイオン佐野新都市店様と締結し、台風等の風水害時には、使用できることとなっております。今後におきましても、屋上・立体駐車場がある民間施設等を活用させていただけるよう協議してまいります。【危機管理課】</p>

276	<p>廃校の跡地利用について、財源不足の折とはいえ民間払下げは行わないよう希望します。平地の少ない山間部では校庭は利用価値が高く、特に災害(地震など)時は避難場所或は救護所、基地等になるので貴重です。公共施設として利用しながら非常時のために空けておいていただきたいです。</p>	<p>・閉校後の跡地活用につきましては、「あそ野学園義務教育学校及び葛生義務教育学校の開校に伴う学校跡地の個別活用方針」により、民間等施設として活用する施設8校を選定したところですが、現在、市の指定避難所となっている学校施設につきましては、今後も避難場所としての機能を有する施設として利用していきます。事業者募集の際には、事業者の活用計画等を踏まえながら、避難所としての利用形態を具体的に検討し、地域住民の方々や事業者と調整を図ってまいります。【財産活用課】</p>
277	<p>少子・高齢化が進行している中で、地域コミュニティや連携共生の体制、自主防災の充実と地域の自治会(町内会)に課せられた役割は現在重要になってきている。しかし、自治会の組織内容を見ると高齢化や年齢構成のひずみによる役員のなり手が無く、組織の継承がスムーズに行えない状況に来ている。行政が提唱している「自助・共助」も世代格差により難しさも出ている。今後、高齢者でも地域活動が気楽にできるような方策、仮に、自家用車に頼らなくとも可能な移動手段や連絡・確認が取れる方法の確立。自治会活動の分散化(近隣自治会との共同・合同活動)。自治会活動運営の委託化等の検討を要望したい。</p>	<p>・町会には、防災、防犯、環境の美化、地域の支え合い等、様々な活動をしていただいております。また、佐野市の協働のパートナーとしても重要な役割を担っていただいております。少子高齢化や人口減少が進んでおり、町会運営について、担い手不足、役員の固定化又は高齢化等の課題が発生しております。これらの課題につきましては、全市的な課題であり、町会、佐野市町会長連合会、佐野市が共に検討していく課題であると考えております。【市民活動促進課】</p>
278	<p>今回作成された「第2期佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、作成にあたり各方面の有識者や市民による議論がなされ作成されたようであるが、今回の資料からは、第1期施策、方策において何が良かったのか悪かったのかの「評価・反省」が見えない。また、PDCAがどのように回っていたかも判らない。</p>	<p>・第1期総合戦略の「評価・反省」については、「第1期総合戦略の振り返り」として第2期総合戦略の10ページから14ページに記載しております。また、効果検証につきましては、ホームページに掲載しております。市民の皆様にとりまして、よりわかりやすい公表の仕方につきましては、研究をしてまいりたいと考えております。【総合戦略推進室】</p>

279	<p>第2期佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略が成功するには、今後、急速に進む少子・高齢化を迎えて、バランスの取れた年齢構成で「2060年人口85,000人」を達成することが重要ではないかと思う。そのためには、市民一人ひとりが今回の創生総合戦略の中身を理解し取り組まなければ達成は困難であると思う。そのためには、施策や活動の周知が大切ではないか、今後、どのように市民に判り易く協力をお願いしていくのかを明記すべきではないか。</p>	<p>・ご指摘のとおり、総合戦略に掲げる目標を達成するためには、市民の皆様のご理解とご協力が不可欠となりますので、市民の皆様にとりまして、よりわかりやすい公表の仕方につきましては、研究をしてみたいと考えております。【総合戦略推進室】</p>
280	<p>佐野市東部幹線道路の早期完成に向けて県に働きかけて頂きたい。</p>	<p>・栃木県の事業に対しましては、可能な限り、協力してまいります。【道路河川課】</p>
281	<p>災害時の避難場所の確保について ②避難所に備蓄する物品の拡充をお願いしたい。 毛布の数を増やしてほしい。 感染症対策用品の追加、車イス、簡易ベッド等最低限の配置をお願いしたい。</p>	<p>・各避難所に毛布や簡易トイレ等を備蓄し、飲食料については、避難所開設担当職員が開設時に持ち込むものとしております。また、令和2年度に感染症対策として、段ボールパーテーションや段ボールベッド等の衛生用品を購入し、配置いたしました。【危機管理課】</p>
282	<p>市営住宅の今後の方針を示して頂きたい。 できれば若者が住める形で整備をお願いしたい。</p>	<p>・今後、入居者に対して意見交換・合意形成を図った上で廃止に向け進めていきたいと考えています。【建築住宅課】</p>
283	<p>現在、日本は行政も民間もIT化に向けて力を入れています。今後も豊かな生活を維持していくためにはIT化は不可欠であります。そこでIT技術に関わる人材を育てる教育の場を佐野市が提供したらどうかと思う。ITに関わる人材は主に若者であり、若者が集まって来れば佐野市全体が活気に満ち、都市としてのポテンシャルも高まるでしょう。その為には5Gをはじめとした高速通信網の整備は必須であり閉校する小中学校の利活用や若者のUJターンの推進に繋げることができるのではないだろうか。 現在の佐野市の立地は首都圏に位置し、交通の要衝であり、災害の少ない地域でもあり、佐野市を活性化させる絶好のチャンスであると捉えるときと考えます。</p>	<p>・5Gを利用することで、高速で低遅延かつ同時に多くの情報機器をネットワークに接続できるようになります。5Gについては、NTTなどの企業が今年の春から商用サービスを開始していて、現在は東京等の都市部に限定されており、今年の夏以降、佐野市でも葛生地区を含む一部の地域でサービスが開始される予定となっております。市民の皆様がより快適で豊かな生活に、ITは益々不可欠なものになっていくと考えておりますので、本市としても5Gの市内の整備状況を注視し、必要とされる箇所に5Gが整備されるよう携帯電話会社や総務省をお願いをしてみたいと考えております。【情報政策課】</p>

284	災害時の避難場所の確保について ①閉校する南小学校について、今後も避難場所としての機能を有する施設として利用することとありますが、垂直避難が可能となるような利用形態としていただきたい。校庭は車で避難者用として、又コロナ対策として重要な施設なので現状通り残してもらいたい。	・葛生南小学校については、民間等施設として活用するという方向性であり、その活用の中で、今後、避難場所としての利用形態を具体的に検討することになります。【危機管理課】
285	生活路線バスについて、バスの台数は足りているのか。デマンド運行になって、30分くらい遅れてくるような書込みがネット上に上がっていた。ご存じか。	・大きな遅延等の運行状況については交通事業者と情報共有をしているところです。路線バスでは道路状況等により、遅延が発生する場合がありますが、恒常的に遅延が発生する場合は運行ダイヤの見直しにより対応を行います。【市民生活課】
286	広報は文字を大きく、できるだけ詳しい情報をおねがいしたい。	・ご要望にお応えするためには、ページ数の増加が避けられませんが、文字の大きさを含め、見やすく、ポイントを押さえた分かりやすい広報紙の作成に努めたいと思います。【都市ブランド推進課】
287	令和元年台風19号の災害に対する復旧が進んでいることは喜ばしい事です。しかし末端に於いては困っている住民がいます。当地区では小曾戸川に掛る橋を昔から自前で渡しており、今回流された橋を掛け直したくとも許可が出ていません。早急な判断をお願いします。また、小曾戸川に掛かる市道の橋も未復旧であり住民・学生の生活にも支障をきたしておりこれも早期復旧をお願いしたい。	・小曾戸川に架かる私橋の復旧については、栃木県へ働きかけて許可されるよう調整しているところです。数枝橋の復旧については、建設業界の技術者が不足しているため、決定に至らない状況です。令和3年度の予算で対応します。【道路河川課】
288	当町会の道路状況ですが、大型化したダンプの往来で傷がひどいです。ひび割れ、穴あきは頻繁にあり部分舗装で直している状態です。大型ダンプが通っても大丈夫のように完全舗装で対応して頂けないでしょうか。	・大型ダンプが通行しても大丈夫な完全舗装の対応は困難です。当該地区は通常の舗装よりもグレードアップした舗装となっています。舗装の損傷がひどい箇所は、予算の範囲内で対応します。【道路河川課】
289	台風19号で小曾戸川の橋が崩落した橋を早急に直してほしいです。その橋の崩落により班が分断されて大変困っています。上記以外の被害箇所についてもまだ手つかずの所があります。これも早急に直して頂きたいと思います。	・数枝橋の復旧については、建設業界の技術者が不足しているため、決定に至らない状況です。令和3年度の予算で対応します。上記以外の被害箇所は、令和2年度(令和3年度へ繰越し予定)の普通河川等災害復旧事業にて対応します。【復興推進室・道路河川課】
290	新型コロナウイルス感染症対策をしっかりとやってほしいと思います。冬を迎えるにあたって感染拡大が報じられています。12月はどうなっているか不安です。	・ご意見ありがとうございます。今後も、感染拡大防止策を講じてまいりますので、ご協力お願いいたします。【感染症対策室】

291	<p>会沢地区コミュニティーセンターへの佐野市から補助金がないのですが、出して頂けないですか？地元町会の負担が多くなって大変苦慮しています。</p>	<p>・会沢地区コミュニティーセンターは、市有施設であるため補助金を交付することはできませんが、維持管理費等につきましては、市で予算化しております。【生涯学習課】</p>
292	<p>昨年の台風被害の復旧が一番の課題ではあるが、予算がないので各種の助成金祝い金が減額されたり、無くなってしまった。無駄な経費の見直しが必要ではないか。</p>	<p>・事務事業の事後評価、見直し、外部評価などとおおして、事業の統廃合や事業実施の効率化を進め、支出の削減に努めていきたいと考えています。【政策調整課】</p> <p>・令和元年東日本台風被害の復旧・復興及び新型コロナウイルス感染症への対応につきまして、最優先事項として予算の確保に取り組んでいるところでございます。そのような中で、歳入につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、市税の大幅な減収を見込んでおり、その後は生産年齢人口の減少に伴う市税の減収は避けられないものと考えております。一方で、歳出につきましては、少子高齢化の進行に伴う社会保障経費といった義務的経費の負担の増加が見込まれるとともに、市有施設の老朽化の進行など多くの課題が山積しております。今後も持続可能な財政運営を行うため、企業版ふるさと納税制度やネーミングライツといった新たな歳入の確保に努めるとともに、受益者負担の適正化や行政評価による事務事業の見直し、業務改善計画による行政改革、定員適正化計画に基づく職員数の削減などを進めることが必要であると考えております。【財政課】</p>
293	<p>住宅調整区域の見直しをする。特に葛生地区は地元の家が建てられない。田沼、佐野に引っ越してしまう。葛生地区の人口減少はこの他に原因はないと思う。これまで毎回、公約に上げてても何もできなかった。</p>	<p>・お話のとおり、葛生地区の人口減少は顕著です。しかしながら、人口減少、少子高齢化が進む社会情勢下においても、将来にわたり本市が存続するためには、駅やバス、道路等のインフラが一定程度整っていて、居住者も多いまちなかを中心としたエリアに、居住人口を維持していく必要があります。薄く広がった市街地のまま低密度化が進むと、商業施設や病院、福祉施設など生活に必要な様々な施設が撤退したり、電車やバス等の公共交通の存続が危ぶまれるためです。また、周辺地域や中山間地域の方も、まじうちに買い物する場所や大きな病院が存続すれば、引き続き利用することができます。このため、市街化調整区域の建築制限等は引き続き必要であると考えますが、同時に、周辺地域や中山間地域の方々の生活利便性を将来にわたり確保していくため、必要な方策について地域の皆様とよく話し合うことが重要であると考えます。【都市計画課】</p>
294	<p>台風19号の災害での復旧が大変かと思いますが、特に橋等の復旧を早急をお願い致します。</p>	<p>・数枝橋の復旧については、建設業界の技術者が不足しているため、決定に至らない状況です。令和3年度の予算で対応します。【道路河川課】</p>

295	<p>昨年の台風19号の洪水、土砂災害の復旧が進んでいるようですが、少し進捗状況が遅いようです。会沢の場合、会沢～仙波の林道が手つかずの通行止め、国道293号の抜け道の橋が通行止と不便をしています。優先順位は分かれますが、生活道路として利用していましたので早く通行できる事をお願いします。</p>	<p>・会沢と豊代を結ぶ林道小室正雲寺線については、令和2年度予算で災害復旧工事の実施を予定しております。【農山村振興課】 ・数枝橋の復旧については、建設業界の技術者が不足しているため、決定に至らない状況です。令和3年度の予算で対応します。【道路河川課】</p>
296	<p>各地域での空き家対策の件について20年以上の空き家について、家主に解体、サラ地の方向で進めてほしい。場所によっては雑草の問題、又はイノシシやハクビシン、落葉の飛散等で大変である。宜しく！検討を！</p>	<p>・空き家の状態により、除草や木の伐採、空き家の解体を検討いただけるよう通知をさせていただいております。【空き家対策室】</p>
297	<p>コロナの影響により、給与や賞与が減ったり、もらえなくなっている現実、国会議員、地方議員を始め、市長、議員の給料の減額はないのか。愛知県沢村町で議長の公用車を廃止したが203万円、町の一般財源として活用されたそうだ。具体的に何かやってほしい。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症対策事業の財源に充てることを目的に、令和2年7月から12月分までの報酬月額を、市長にあつては10%、副市長及び教育長にあつては5%減額いたしました。【行政経営課】 ・佐野市議会では、令和2年7月分から令和2年12月分までの議員報酬の月額について、5%の削減を実施しました。また、議員の期末手当については、特別職の国家公務員の給与改定に準じ、令和2年分以降の支給割合について、0.05月の引下げを実施しました。【議事課】</p>
298	<p>クリケット振興に熱心に取り組んでいるが、一部の人間だけで多くの予算が使われ、維持費も高い。一般の人達の関心が低い。サッカー場がほしいと言っている。市に誘致した時は、市の体育指導員には何も話が無く、市長、自らの判断ではないか。若い考え、違った考えを取り入れて、今後の市の発展を望みたいと思う。</p>	<p>・現在進めているクリケットの事業は、単に競技スポーツとしてクリケットの振興を図るものではなく、クリケットをきっかけとして、国内外から大勢の人が本市を訪れる集客波及効果により、飲食や宿泊をはじめ本市の地域経済に良い影響をもたらす、地域に賑わいをもたらすことを目的にしております。ご指摘のとおり、クリケットに対しては、一般市民の関心はまだ低く市民スポーツとしてより多くの市民にクリケットに親しんでもらうことも大切だと考えております。今後の進め方については、これまでの経過と効果等を検証しながら進めたいと考えております。【スポーツ立市推進課】</p>

299	<p>合併後の住民の意見です。合併して良い事がない。人口減少のスピードが上がった。佐野市内に予算が多く使われ、田沼、葛生地区が忘れられている。コンパクトシティ計画は、理想論では最高だと思います。住民を一ヶ所に集め、商店街、病院、スーパーが集まれば便利になり、行政の無駄が省ける。しかし過疎地に住んでいても不便と感じないので、一ヶ所に集めなくても良いと思う。</p>	<p>・中山間地域など住み慣れた地域での生活が維持できるように生活支援機能や交通手段を確保しながら、「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。【政策調整課】</p>
300	<p>資料の内容は理想論を語っているとしか言えません。国の方針そのものの様に思う。具体的に何をするのか行動が見えません。例として人口減少は全国的な課題であるが、まだまだ一局に集中している。誕生する子供が増加しない限り、人口は増加しないと思う。おもいきった宅地造成(閉校になった学校跡地の利用)をし、条件付きで、格安で、新婚世帯を優先に住んでもらう。結婚、妊娠、出産、子育てに対しては助成になると思うがまだまだ成果が出ていないので、二人目の子供に10万円、三人目に20万円祝い金を出す(例として他地区から転入し家を新築したら祝い金を出すとか、具体的にやらないと成果が出ない。</p>	<p>・人口減少問題は、一朝一夕で解決できるものではありませんが、佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた4つの基本目標に基づき、着実かつ息の長い取組を実施することにより、人口減少に歯止めをかけるよう努めてまいりたいと考えております。学校跡地利用については、地元住民の皆様のご意向を尊重しながら活用方針を定めてまいりたいと考えております。また、出産祝い金につきましては、今年度、国の特別定額給付金の支給対象とならなかった令和2年4月28日から令和3年3月31日までに出生した児童の養育者に対して、児童1人につき5万円を支給する「赤ちゃん応援給付金給付事業」を実施し、好評でございましたので、限られた財源となりますが、子宝祝金支給事業において、何らかの支援ができないか、検討を進めてまいりたいと考えております。【総合戦略推進室】</p>
301	<p>全国的に結婚しない、できない男女が増えているのが現状です。佐野地区でも同じです。男女の出会いの場、婚活の場を増して欲しいです。</p>	<p>・産業立市推進課では、中心市街地のにぎわいを創出しながら結婚願望のある男女に出会いの場を提供するため「まちなか婚活推進事業」を実施しております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、令和2年度の婚活イベントの開催は見送っておりますが、例年2回開催しており、毎回2～3組程度のカップルが成立しているところです。新型コロナウイルス感染症の終息を見据え、中心市街地の活性化につながるような魅力的な婚活イベントが実施できるよう、引き続き調査・研究してまいります。【産業立市推進課】 ・農業委員会では、農業後継者の育成確保を図るため、農業後継者結婚推進協議会を支援し、協議会主催の婚活パーティーが開催されております。しかし、近年では参加者が少なく、開催方法等再検討が必要となっています。【農業委員会事務局】</p>

302	<p>当町会の市有施設の存続について、地区説明会の後、新しい説明を各集落ごとにすると断っていたが、その後何の音沙汰もないのですが、どうなっているのか？</p>	<p>・平成30年10月に懇談会を開催してから、令和元年東日本台風や新型コロナウイルス感染症などがあり、これまで具体的な説明などをできず、ご心配をおかけして大変申し訳ありませんでした。当該施設に係る貴町会の皆様との懇談会については、令和2年12月から始めさせていただきましたので、今後は町会の皆様との意見交換を行いながら、Aグループ(廃止・譲渡)としての取組を着実に進めてまいります。【行政経営課】</p> <p>・これまで、市では「佐野市市有施設適正化配置計画」で廃止や譲渡の方向性が示された各市有施設に共通した方針などを検討してきたところです。その後、令和元年東日本台風での緊急対応、復旧支援、新型コロナウイルス感染症の発生による拡大防止対策などもあり、各集落へのご説明が当初の計画より大幅に遅れた面はありますが、現在、関係する施設の対応を順次行っております。当該施設については、昨年の12月6日に現地を訪問し、町会役員の皆様に対して市の大まかな方針などをご説明させていただいたところです。今後も意見交換を重ねていきたいと計画しておりますので、ご都合くださいようようお願いいたします。【農政課】</p>
303	<p>中山間地域の問題に対してもっと力を注いで欲しい。(有害鳥獣の対策について)</p>	<p>・主に中山間地域においては、過疎化・高齢化により野生獣は生息域を拡げ、被害も拡大しております。有害鳥獣被害を軽減するためには、柵等で侵入を防ぐ被害防止対策、野生獣の生息地の環境を整備する生息環境整備、捕獲による個体数の管理を総合的に実施することが重要であります。市といたしましても、有害鳥獣による被害軽減を図るため、捕獲を含め被害防止対策を強化することで中山間地域の活性化に繋げてまいりたいと考えております。【農山村振興課】</p>
304	<p>秋山川内の樹木が大きくなり、台風などで大水が出た場合氾濫の危険があり、伐採してもらいたい。</p>	<p>・栃木県管轄となります。本市としては、可能な範囲で事業に協力させていただきます。【道路河川課】</p>

305	<p>昨年の台風19号上陸により各地で今までに無いような甚大な被害を受けましたが、当町会についても秋山川堤防の崩壊、生活道路への土砂崩れが発生し非常事態でした。ただ、佐野市危機管理課から避難指定場所の早期開設の連絡があり、常盤中学校体育館に町会全体で74名が避難しましたが、トイレが和式のみでありこの対応に難儀致しました。今後もこのような事象が発生する可能性もあるので、せめて1か所だけでも洋式便座型にとの避難者からの意見と、予算の関係もあると思わしますが要望します。</p>	<p>・常盤中学校体育館のトイレにつきましては、現在施工中の令和元年東日本台風による体育館改修工事の中でトイレの洋式化と多目的トイレの設置をいたします。【学校管理課】</p>
306	<p>当町会は、中山間地域にあり鳥獣被害が発生しており、特に、いのしし、鹿による被害が日常化しています。農家の方、各家庭の菜園等には自前でフェンス等設置し食害を防御していますが、他町会ではどうしているか。町会で取り組むときはどのような区域まで、設備について佐野市で設置していただけるのか参考に知りたいです。</p>	<p>・国庫補助を活用し侵入防止策を設置するには、連坦した3戸以上農地があり、農作物被害額に対し整備する侵入防止柵の導入効果について、費用対効果を分析するとともに、投資効果が十分に発揮されることが補助採択要件を満たします。要件を満たさない場合でも、農作物被害を防止するために、地域ぐるみで設置する侵入防止策について、市有害鳥獣被害対策協議会より予算の範囲内で支給することもできますので、ご相談ください。【農山村振興課】</p>
307	<p>害獣による被害が毎年増えて困っている。</p>	<p>・主に中山間地域においては、過疎化・高齢化により野生獣は生息域を拡げ、被害も拡大しております。有害鳥獣被害を軽減するためには、柵等で侵入を防ぐ被害防止対策、野生獣の生息地の環境を整備する生息環境整備、捕獲による個体数の管理を総合的に実施することが重要であります。市といたしましても、有害鳥獣による被害軽減を図るため、捕獲を含め被害防止対策を強化してまいりたいと考えております。【農山村振興課】</p>
308	<p>沢の堀をU字溝などで補修をしてもらいたい。</p>	<p>・今のところ、沢の堀を整備する計画はございませんので対応は困難です。【道路河川課】</p>
309	<p>農業の成長産業化 農業の成長産業化について行けない。中山間地の農業、農地を如何するか、経済だけで考えるのではなく、国土保全の面で中山間地の農業・農地を考えていただきたい。</p>	<p>・本市の中山間地域には豊かな自然、美しい景観、地域の伝統文化、魅力ある農産物などの多様な地域資源が存在するものと認識しております。ご指摘のように、中山間地域においては、国土保全の面でも地域農業の果たすべき役割は大きいものと考えておりますので、地域資源を活用する農業生産活動を支援してまいります。【農政課】</p>

310	<p>獣害対策のお願い 地元では、今まで、自助、共助、公助で獣害対策を行ってきたが、現時点での自助・共助・公助が難しくなってきたので、今までにまして公助をお願いして、三位一体での取り組みで何とか耕作放棄地の拡大を先送りしたいので、公助の力添えをお願いします。</p>	<p>・関係機関、団体と連携しながら、鳥獣害対策による農作物の被害軽減等を効果的に実施できるよう努めてまいります。また、農業者と地域が協力した畦畔や水路などの保全活動に対する多面的機能支払制度は耕作放棄地の拡大抑制ばかりでなく農業、農村の持つ多面的機能の維持・発揮にも有効であると期待されますので、当事業の活用についてもご検討いただきたいと考えております。【農政課】</p>
311	<p>昨年7月第一回佐野市立葛生義務教育学校開校準備委員会に出席しました所、会場のテーブルが2つつけて有り、対人者と1mと離れていなくてびっくりしました。開催者に言いました。これでは、市長から春、各町会長あてに、町会イベントなど開催について、中止又は延期してくださいと3密にならないようにと言いつつ、市役所会議に、これではあきれられるばかりです。現在コロナ感染が増して来ています。感染拡大防止の注意喚起を実施するよう市職員こそ守るべきと思います。</p>	<p>・ご指摘をいただいた際にも対応させていただきましたが、それ以降の会議につきましてもできる限り席の間隔を取れるようにしております。さらに感染予防対策を考慮し、当委員会・部会の運営に努めてまいります。【学校管理課】</p>
312	<p>氷室小学校の廃校後の利用について、避難施設として利用できないか検討していただきたい。</p>	<p>・氷室小学校については、土砂災害警戒区域内に位置しており、避難者の絶対的な安全を確保できない施設については、避難所として使用することは難しいと考えております。【危機管理課】</p>
313	<p>観光として広報している場所の整備をお願いしたい。五丈の滝など荒れたままになっている。</p>	<p>・駐車場は月一で清掃しています。駐車場から滝までは林道(みかも森林組合管理)が閉鎖となっています。【観光立市推進課】</p>
314	<p>基本目標3の働く女性の子育て出産が安心してできる為、保育所の充実、学童保育の充実を整えてもらいたい。 まだゼロ歳児の待機児童の扱い不安がある。</p>	<p>・現在、氷室小学校区には、学校規模の観点から公立のこどもクラブを設置しておりませんが、令和5年度の葛生義務教育学校の開校に合わせてこどもクラブを整備するよう計画を進めております。地域の方々にはご不便をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。【こども課】 ・老朽化した公立保育園は、第2次佐野市保育所整備運営計画に基づいた民間移管、施設整備を行い公立保育園と民間保育園等のバランス良い配置に努めてまいります。また、市内の保育需要を把握し待機児童対策に努めてまいります。なお、令和2年4月1日現在待機児童はゼロとなりました。【保育課】</p>
315	<p>基本目標2の移住者受け入れの前に環境の整備が必要であると思う。街中の空屋の増加に伴い荒地が増え近隣への迷惑はもちろんイメージが悪くなっている。</p>	<p>随時空き家対策室へご連絡いただければ、職員による現場確認と所有者への通知をさせていただきます。【空き家対策室】</p>

316	<p>最近熊の目撃情報が何件もあり、又、鹿、猿、猪等の出没が毎日の様に見られます。獣害の対策をお願いします。</p>	<p>・クマ出没の背景には、森林等の生息環境の変化や中山間地域の社会環境の変化があり、直接の要因として堅果類の凶作が作用していると考えております。里山の森林環境の改善、中山間地域の活性化対策が不可欠であると考えます。また、イノシシ、シカ、サル等の野生獣についても、捕獲による個体群の管理を強化してまいります。捕獲だけでは被害軽減に繋がらないことから、防除による被害地管理、環境整備による生息地管理、を総合的にバランスよく実施していくことが重要であると考えております。【農山村振興課】</p>
317	<p>市有施設の町会への譲渡の話が進んでいますが、町会としても地域の集会所と今年の台風の時のように指定の避難場所に道路寸断で行けなくなった場合に、臨時の避難所として使用又防災拠点に活用したいので、町会としても過疎と高齢化で年々運営費も減少していますので、長期間メンテナンスの必要のない様にリフォームをしっかりとって譲渡をお願いします。</p>	<p>・今後も地域で有効活用していただくため、施設の状態や今後の維持管理などについて町会の皆様と意見交換を行い、譲渡前に市が一定の基準で施設の点検及び修繕を行った上で譲渡したいと考えております。しかしながら、長期間ご使用いただく間にはどんな建物でも不具合が発生することはありますので、譲渡後の定期的な清掃や点検、早めのメンテナンスはお願いしたいと思います。なお、大規模な改修が必要な場合には、自治公民館整備費補助金制度をご活用いただきたいと考えております。【行政経営課】</p> <p>・本市におきましては、現在大変厳しい財政状況にありますが、可能な限りで最善を尽くし、適切で効果的な修繕を施したいと計画しております。こうした修繕の実施により、できるだけ長く、安心してご利用いただけるよう努力してまいりますので、今後ともご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。【農政課】</p>